北九州市子ども・子育て支援に関する
市民アンケート調査

報　告　書

北九州市子ども家庭局

目次

Ⅰ．調査の概要

1. 調査の目的 1
2. 調査対象 1
3. 調査方法 1
4. 調査期間 1
5. 回収結果 1
6. 調査実施機関 1
7. 集計・分析上の注意 2

Ⅱ．調査の概要

〔就学前児童の保護者（調査票A）〕

1. 子どもと家族の状況等 3
   （1） 居住区（問 1） 3
   （2） 子どもの年齢（問 2） 3
   （3） 子どもの人数と平均年齢（問 3） 3
   （4） 調査票の回答者（問 4） 4
   （5） 調査票の回答者の配偶者（問 5） 4
   （6） 住民税の課税状況（問 6） 4
   （7） 子育て（教育を含む）を主に行っている人（問 7） 5
2. 子どもの育ちをめぐる環境 6
   （8） 子育て（教育を含む）に日常的に関わっている人や施設（問 8）【複数回答】 6
   （9） 子育て（教育を含む）に影響すると思われる環境（問 9）【複数回答】 6
   （１０）日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無（問 10）【複数回答】 7
3. 保護者の就労状況 8
   （１１）現在の就労状況（問 11(1)、問 11(2)） 8
   （１２）仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じること（問 11(1)-1、問 11(2)-1）【複数回答】 9
   （１３）１週当たりの就労日数、１日当たりの就労時間（問 11(1)-2、問 11(2)-2） 10
      ① １週当たりの就労日数 10
      ② １日当たりの就労時間 10
   （１４）家を出る時刻と帰宅時刻（問 11(1)-3、問 11(2)-3） 11
      ① 家を出る時刻 11
      ② 帰宅時刻 11
   （１５）フルタイムへの転換希望（問 12(1)、問 12(2)） 12
   （１６）今後の就労予定（問 13(1)、問 13(2)） 13
      ① 予定している就労時の子どもの年齢（母親） 13
      ② １週当たりの希望就労日数（母親） 14
      ③ １日当たりの希望就労時間（母親） 14
   （１７）就労希望がありながら現在働いていない理由（問 13-1(1)、問 13-1(2)） 15
   （１８）家事・子育てをする時間（問 14(1)、問 14(2)） 16
      ① 母親 16
      ② 父親 17
4. 平日の定期的な教育・保育施設の利用状況 18

（１９）定期的な教育・保育施設の利用状況（問 15）.....18
（２０）平日に定期的に利用している教育・保育施設（問 15-1）【複数回答】.....19
（２１）平日に定期的に利用している教育・保育施設の利用時間と利用希望時間（問 15-2）.....20
① １週当たりの利用日数.....20
② １日当たりの利用時間.....20
③ 利用開始時間.....21
④ 利用終了時間.....21
（２２）平日に定期的に教育・保育施設を利用している理由（問 15-3）【複数回答】.....22
（２３）今後、平日に定期的に利用したい施設（問 16）【複数回答】.....23
（２４）幼稚園、幼稚園の預かり保育の利用を特に強く希望するか（問 16-1）.....24
（２５）平日に定期的に教育・保育事業を利用していない理由（問 17）【複数回答】.....24
（２６）平日の教育・保育の事業として「定期的に」利用したいと考える施設（問 17-1）【複数回答】.....26
（２７）今後利用したいと思った理由（問 17-2）.....27
（２８）定期的に施設を利用したいと思う子どもの年齢（問 17-3）.....27
（２９）今後、幼稚園、幼稚園の預かり保育の利用を特に強く希望するか（問 17-4）.....28
5. 地域の子育て支援事業の利用状況.....29
（３０）地域の子育て支援事業の利用状況（問 18）【複数回答】.....29
（３１）地域の子育て支援事業の今後の利用意向（問 19）.....31
（３２）各種事業の認知度（問 20）.....32
（３３）各種事業の利用経験（問 20）.....33
（３４）各種事業の今後の利用希望（問 20）.....34
6. 土曜日・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育施設の利用希望.....35
（３５）土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育施設の利用希望（問 21）.....35
① 土曜日の定期的な教育・保育施設の利用希望.....35
② 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望.....36
（３６）土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業をたまに利用したい理由（問 21-1）【複数回答】.....37
（３７）幼稚園を利用している人の長期休暇期間中の定期的な教育・保育施設の利用希望（問 22-1）38
（３８）長期休暇期間中に教育・保育事業をたまに利用したい理由（問 22-1）【複数回答】.....39
7. 子どもが病気の際の対応（平日の教育・保育を利用する人のみ）.....40
（３９）子どもの病気やケガで施設を利用できなかった経験の有無（問 23）.....40
（４０）子どもの病気やケガで平日の定期的な教育・保育施設の利用できなかった場合の対処方法（問 23-1）.....40
① 父親が休んだ日数.....41
② 母親が休んだ日数.....41
③ （同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった日数.....42
④ 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた日数.....42
⑤ 病児保育施設を利用した日数.....43
⑥ その他の日数.....43
（４１）病児保育施設の利用希望と利用希望日数（問 23-2）.....44
（４２）病気等の子どもを預ける場合、希望する事業形態（問 23-3）【複数回答】.....45
（４３）病児保育施設を利用しやすい地域（問 23-4）【複数回答】.....45

（４４）病児保育施設を利用する際の障害（問 23-5）【複数回答】 46
8. 不定期な教育・保育事業の利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用 47
（４５）不定期に利用している子育て支援事業（問 24）【複数回答】 47
① 一時預かり 47
② 幼稚園の預かり保育 48
③ ほっと子育てふれあいセンター 48
④ その他 49
（４６）不定期の教育・保育等の利用希望（問 24-1） 50
（４７）不定期の教育・保育等を利用していない理由（問 24-2）【複数回答】 51
（４８）現在、不定期の教育・保育等を利用していない人の利用希望（問 24-3） 52
（４９）不定期の教育・保育事業等を利用する場合の希望する事業形態（問 25）【複数回答】 53
（５０）子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった日の有無と日数（問 26） ... 53
① 親族・知人にみてもらった日数 54
② 仕方なく子どもを同行させた 55
9. 小学校就学後の放課後の過ごし方 56
（５１）子どもが小学校低学年（１～３年生）の間に放課後の時間を過ごさせたい場所（問 27）【複数回答】 56
① 自宅 56
② 祖父母宅や友人・知人宅 57
③ 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） 57
④ 児童館（「児童館」の放課後児童クラブの利用を希望する場合を除く） 58
⑤ 放課後児童クラブ〔学童保育〕（「児童館」にある放課後児童クラブの利用を希望する場合を含む） 58
⑥ ほっと子育てふれあいセンター 59
⑦ その他（市民センター、公民館、公園など） 60
（５２）子どもが小学校高学年（４～６年生）になった時に、放課後の時間を過ごさせたい場所（問 28）【複数回答】 61
① 自宅 61
② 祖父母宅や友人・知人宅 62
③ 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） 62
④ 児童館（「児童館」にある放課後児童クラブの利用を希望する場合を除く） 63
⑤ 放課後児童クラブ〔学童保育〕（「児童館」にある放課後児童クラブの利用を希望する場合を含む） 63
⑥ その他（市民センター、公民館、公園など） 64
（５３）土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブ〔学童保育〕の利用希望（問 29） 65
① 土曜日 65
② 日曜日・祝日 66
（５４）長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望（問 30） 67
10. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度 68
（５５）育児休業の取得状況（問 31） 68
（５６）育児休業を取得していない理由（問 31）【複数回答】 69
（５７）育児休業後の職場への復帰状況（問 31-1（1）、問 31-1（2）） 70
（５８）育児休業後に職場への復帰したタイミング（問 31-2(1)、問 31-2(2)） 70

（５９）育児休業後に職場復帰した時期（子どもの年齢）（問 31-3(1)、問 31-3(2)）.....71
① 実際の職場復帰時期（子どもの年齢）.....71
② 職場復帰したかった時期（子どもの年齢）.....71
（６０）北九州市の子育ての環境や支援への満足度（問 32）.....72
〔就学前児童の保護者（調査票Ｂ）〕
1. 子どもと家族の状況等.....73
（1） 子どもと回答者の続柄（問 1）.....73
（2） 居住区（問 2）.....73
（3） 子どもの年齢（問 3）.....73
（4） 子どもの人数と平均年齢（問 4）.....74
（5） 同居（近居）の状況（問 5）【複数回答】.....75
（6） 同居している家族の人数（問 5）.....75
（7） 平日、父母が１日あたりに家事・育児をしている時間（問 6）.....76
① 母親.....76
② 父親.....76
（8） 父母以外が１日あたりに家事・育児をしている時間（問 6-1）.....77
① 祖母.....77
② 祖父.....77
③ おば.....78
④ その他.....78
2. 子どもの生活状況.....79
（9） 子どもの起床時刻（問 7）.....79
（１０）子どもの就寝時刻（問 7）.....79
（１１）子どもの平均睡眠時間（問 7）.....80
（１２）一週間の朝食を食べる頻度（問 8）.....80
（１３）一週間の歯磨きの頻度（問 9）.....81
（１４）絵本の読み聞かせの頻度（問 10）.....81
（１５）テレビやインターネット等を見る時間（問 11）.....82
3. 教育・保育施設の利用状況.....83
（１６）定期的な教育・保育施設の利用状況（問 12）.....83
（１７）平日に定期的に利用している教育・保育施設（問 12-1）【複数回答】.....83
（１８）現在利用している施設のある場所（問 12-2）.....84
（１９）利用施設を選ぶ際に重視すること（問 12-3）【複数回答】.....84
（２０）現在利用している施設の満足度（問 12-4）.....85
（２１）保育所の入所選考についての意見（問 13）.....86
4. 子ども医療費支給制度について.....87
（２２）子どもの年齢区分（問 14）.....87
（２３）子ども医療証の提示による医療費の助成制度についての満足度（問 15）.....87
（２４）１ヶ月の平均通院回数（問 16）.....88
5. 子育てに関する悩みや不安について.....89
（２５）子育てに関する悩みや不安の有無（問 18）.....89
（２６）子育てに関して、日常悩んでいることや気になること（問 19）【複数回答】.....90
（２７）子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる人（場所）（問 20）.....91

（２８）子育てに関する悩みや不安を相談する先（問 20-1）【複数回答】 92
（２９）子育てを楽しいと感じるか（問 21） 93
（３０）子育てに関する情報の入手先（問 22）【複数回答】 94
（３１）より力を入れてほしい行政の子育てに関する情報発信の手段（場所）（問 23）【複数回答】 ...95
（３２）希望する情報発信の内容（問 23-1）【複数回答】 96
6. 今後の北九州市の子育て支援 97
（３３）より力を入れてほしい子育て支援策（問 24）【複数回答】 97
（３４）産後半年の間に利用できる育児・家事サービスでほしいと思うもの（問 25）【複数回答】 98
（３５）産後半年くらいの間に利用できる育児・家事サービスの希望利用料金（問 26） 99
① 育児・家事ヘルパー 99
② 上の子どもの世話 99
③ 助産所などで日中、親子が休める所 99
④ 助産所などで宿泊して親子が休める所 100
⑤ 助産師による訪問母乳ケア・育児指導 100
⑥ 子どもを預かってくれる所 100
⑦ その他 101
（３６）子育てが地域の人に支えられていると感じるか（問 27） 102
（３７）子育てを支えてくれる人（場所）の有無（問 28） 102
（３８）子育てを支えてくれる人・取組み（問 29）【複数回答】 103
7. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス） 104
（３９）仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の認知度（問 30） 104
（４０）仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の状況（問 31） 104
〔小学生の保護者〕
1. 子どもと家族の状況等 105
（1） 子どもと回答者の続柄（問 1） 105
（2） 居住区（問 2） 105
（3） 子どもの年齢と学年（問 3） 105
（4） 子どもの人数と平均年齢（問 4） 106
（5） 同居（近居）の状況（問 5）【複数回答】 107
（6） 同居している家族の人数（問 5） 107
（7） 子育て（教育を含む）を主にしている人（問 6） 108
（8） 平日、父母が 1 日当たりに家事・育児をしている時間（問 7） 109
① 母親 109
② 父親 109
（9） 父母以外が 1 日あたりに家事・育児をしている時間（問 7-1） 110
① 祖母 110
② 祖父 110
③ その他 111
2. 子どもの生活状況 112
（１０）子どもの起床時刻（問 8） 112
（１１）子どもの就寝時刻（問 8） 112
（１２）子どもの平均睡眠時間（問 8） 113
（１３）一週間の歯磨きの頻度（問 9） 113

（１４）家族との会話（問 10）.....114
（１５）子どもの話をよく聞けているか（問 11）.....114
（１６）テレビやインターネット等を見る時間（問 12）.....115
（１７）子どもと近隣の大人とのコミュニケーションの状況（問 13）.....116
（１８）子どもが近隣の大人とコミュニケーションをとる機会（問 13-1）【複数回答】.....116
（１９）子どもと、異年齢の子どもたちとの活動（問 14）.....117
（２０）子どもが異年齢の子どもたちとコミュニケーションをとる機会（問 14-1）【複数回答】.....117
（２１）子ども会の入会状況（問 15）.....118
（２２）子ども会に入って良かったこと（問 15-1）【複数回答】.....118
（２３）子ども会に入らなかった（退会させた）理由（問 15-2）【複数回答】.....119
（２４）子どもが放課後等で過ごすことが多い場所（問 16）【複数回答】.....120
3. 放課後児童クラブの利用.....121
（２５）放課後児童クラブの利用状況（問 17）.....121
（２６）放課後児童クラブの利用日数（問 17-1）.....121
（２７）放課後児童クラブを利用している理由（問 17-1）.....122
（２８）現在利用している放課後児童クラブの満足度（問 17-2）.....123
（２９）放課後児童クラブを利用していない理由（問 17-3）【複数回答】.....124
（３０）放課後児童クラブの利用希望（問 17-4）.....125
① 平日.....125
② 土曜日.....126
③ 日曜日・祝日.....127
④ 長期休暇.....128
（３１）高学年になってからの放課後児童クラブの利用希望（問 18）.....129
① 平日.....129
② 土曜日.....130
③ 日曜日・祝日.....131
④ 長期休暇.....132
4. 病時保育について.....133
（３２）子どもが病気やケガで学校を休んだ日の有無（問 19）.....133
（３３）子どもが病気やケガで学校を休んだ場合の対処方法（問 19-1）【複数回答】.....133
① 父親が休んだ日数.....134
② 母親が休んだ日数.....134
③ （同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった日数.....134
④ 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた日数.....135
⑤ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数.....135
⑥ その他の日数.....135
（３４）病児保育施設の利用希望と利用希望日数（問 19-2）.....136
（３５）病気等の子どもを預ける場合、希望する事業形態（問 19-3）【複数回答】.....137
（３６）病児保育を利用しやすい地域（問 19-4）【複数回答】.....137
（３７）病児保育施設を利用する際の障害（問 19-5）【複数回答】.....138
5. 子ども医療費支給制度について.....139
（３８）子ども医療証の提示による医療費の助成制度についての満足度（問 20）.....139
（３９）１ヶ月の平均通院回数（問 21）.....139

6. 子育てに関する悩みや不安について.....140
（４０）子育てに関する悩みや不安の有無（問 23）.....140
（４１）子育てに関して、日常悩んでいることや気になること（問 24）【複数回答】.....141
（４２）子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる人（場所）（問 25）.....142
（４３）子育てに関する悩みや不安を相談する先（問 25-1）【複数回答】.....143
（４４）子育てを楽しいと感じるか（問 26）.....144
（４５）子育てに関する情報の入手先（問 27）【複数回答】.....145
（４６）より力を入れてほしい行政の子育てに関する情報発信の手段（場所）（問 28）【複数回答】.146
（４７）希望する情報発信の内容（問 28-1）【複数回答】.....147
7. 今後の北九州市の子育て支援.....148
（４８）より力を入れてほしい子育て支援策（問 29）【複数回答】.....148
（４９）子育てが地域の人に支えられていると感じるか（問 30）.....149
（５０）子育てを支えてくれる人（場所）の有無（問 31）.....149
（５１）子育てを支えてくれる人・取組み（問 31-1）【複数回答】.....150
（５２）小学生（高学年）が希望する子育て支援策（問 32）【複数回答】.....151
8. 子どもの保護者の就労状況.....152
（５３）現在の就労状況（問 33(1)、問 33(2)）.....152
（５４）仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じること（問 33(1)-1、問 33(2)-1）【複数回答】 153
（５５）保護者の 1 週当たりの就労日数及び 1 日当たりの就労時間（残業時間を含む）（問 33(1)-2、問 33(2)-2）.....154
① 1 週当たりの就労日数.....154
② 1 日当たりの就労時間（残業時間を含む）.....154
（５６）保護者の家を出る時刻及び帰宅時刻（問 33(1)-3、問 33(2)-3）.....155
① 家を出る時刻.....155
② 帰宅時刻.....155
9. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）.....156
（５７）仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の認知度（問 34）.....156
（５８）仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の状況（問 35）.....156
〔中学・高校生の保護者〕
1. 子どもと家族の状況等.....157
（1） 子どもと回答者の続柄（問 1）.....157
（2） 居住区（問 2）.....157
（3） 子どもの年齢・性別（問 3）.....157
（4） 子どもの状況（問 4）.....158
（5） 子どもの人数と平均年齢（問 5）.....158
（6） 同居（近居）の状況（問 6）【複数回答】.....159
（7） 同居している家族の人数（問 6）.....159
2. 子どもの生活状況.....160
（8） 子どもの起床時刻（問 7）.....160
（9） 子どもの就寝時刻（問 7）.....160
（１０）子どもの平均睡眠時間（問 7）.....161
（１１）一週間の歯磨きの頻度（問 8）.....161
（１２）家族との会話（問 9）.....162

（１３）子どもの話をよく聞けているか（問 10）.....162
（１４）テレビやインターネット等を見る時間（問 11）.....163
（１５）子どもの生活上で気になること（問 12）【複数回答】.....163
（１６）子どもが放課後等で過ごすことが多い場所（問 13）【複数回答】.....164
（１７）子どもの放課後や休日の活動（問 14）.....165
① 放課後（平日）.....165
② 休日.....166
3. 子ども医療費支給制度について.....167
（１８）子ども医療証の提示による医療費の助成制度についての満足度（問 15）.....167
（１９）1ヶ月の平均通院回数（問 16）.....167
4. 子育てに関する悩みや不安について.....168
（２０）子育てに関する悩みや不安の有無（問 18）.....168
（２１）子育てに関して、日常悩んでいることや気になること（問 18-1）【複数回答】.....168
（２２）子育てに関する悩みや不安を相談できる人（場所）（問 19）.....169
（２３）子育てに関する悩みや不安を相談する先（問 19-1）【複数回答】.....170
（２４）子育てを楽しいと感じるか（問 20）.....171
（２５）子育てに関する情報の入手先（問 21）【複数回答】.....172
（２６）より力を入れてほしい行政の子育てに関する情報発信の手段（場所）（問 22）【複数回答】.173
（２７）希望する情報発信の内容（問 22-1）【複数回答】.....174
5. 今後の北九州市の子育て支援.....175
（２８）より力を入れてほしい子育て支援策（問 23）【複数回答】.....175
（２９）子育てが地域の人に支えられていると感じるか（問 24）.....176
（３０）子育てを支えてくれる人（場所）の有無（問 25）.....176
（３１）子育てを支えてくれる人・取組み（問 25-1）【複数回答】.....177
（３２）中学・高校生が希望する子育て支援策（問 26）【複数回答】.....178
6. 子どもの保護者の就労状況.....179
（３３）現在の就労状況（問 27（1）、問 27（2））.....179
（３４）仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じること（問 27(1)-1、問 27(2)-1）【複数回答】 180
（３５）保護者の１週当たりの就労日数（問 27(1)-2、問 27(2)-2）.....181
（３６）保護者の１日当たりの就労時間（残業時間を含む）（問 27(1)-2、問 27(2)-2）.....181
（３７）保護者の家を出る時刻と帰宅時刻（問 27(1)-3、問 27(2)-3）.....182
① 家を出る時刻.....182
② 帰宅時刻.....182
7. 仕事と生活の調和について.....183
（３８）仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の認知度（問 28）.....183
（３９）仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の状況（問 29）.....183
〔１８歳以上４０歳未満の男女〕
1. 回答者の属性.....185
（1） 性別（問 1）.....185
（2） 年齢（問 2）.....185
（3） 居住区（問 3）.....185
（4） 最終学歴（問 4）.....186
2. 回答者の生活状況.....187

（5） 同居の状況（問 5）【複数回答】 187
（6） 生活費の担い手（問 6） 187
（7） 近所づきあいの状況（問 7） 188
（8） 外出の頻度（問 8） 188
（9） 外出の頻度が減ってからの期間（問 8-1） 189
（１０）あまり外出しなくなったきっかけ（問 8-2）【複数回答】 189
（１１）人間関係の不信になったきっかけの人（問 8-2）【複数回答】 190
（１２）引きこもりに対する気持ち（問 9） 190
3. 就労状況について 191
（１３）現在の就労状況（問 10） 191
（１４）就労形態（問 10-1） 191
（１５）就労先での職種（問 10-2） 192
（１６）1 週間あたりの就労日数（問 10-3） 193
（１７）1 日当たりの就労時間（残業時間を含む）（問 10-4） 193
（１８）家を出る時刻と帰宅時刻（問 10-4） 194
① 家を出る時刻 194
② 帰宅時刻 194
（１９）年収（問 11） 195
① 回答者の年収 195
② 配偶者・パートナーの年収 195
（２０）仕事と仕事以外の生活（家事・育児、趣味やボランティア活動など）の優先度（問 12） 196
（２１）子どもができた（増えた）場合の就労意向（問 13） 197
（２２）子育てをしながら仕事を継続したい理由（問 13-1）【複数回答】 197
（２３）子どもができた（増えた）場合の配偶者への就労希望（問 14） 198
（２４）子育てしながら配偶者に仕事を続けてほしい理由（問 14-1）【複数回答】 198
（２５）働くことに対する考え（問 15）【複数回答】 199
4. 結婚や家庭のことについて 200
（２６）結婚の状況（問 16） 200
（２７）結婚に対する考え（問 16-1） 200
（２８）婚活への参加状況（問 16-2）【複数回答】 201
（２９）独身でいる理由（問 16-3） 202
（３０）結婚に対する国や市の支援について（問 17） 203
5. 出産や子育てについて 204
（３１）出産に対する考え（問 18）【複数回答】 204
（３２）妊娠や出産に関する知識の入手先（問 19）【複数回答】 205
（３３）子どもの人数（問 20） 206
（３４）今後子どもをほしいと思うか（問 21） 207
（３５）理想的な子どもの人数（問 21-1） 207
（３６）実際に持とうと考えている子どもの人数（問 21-2） 208
（３７）子どもの人数の理想と現実が違う理由（問 21-3）【複数回答】 208
（３８）子どもを欲しいと思わない理由（問 21-4） 209
（３９）不妊治療の受診意向（問 22） 210
（４０）「特定不妊治療」費用の助成制度の認知度（問 23） 210

6. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）.....211
（４１）仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の認知度（問 24）.....211
（４２）仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の状況（問 25）.....211

Ⅰ．調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、「元気発進！子どもプラン（第２次計画)」の次期計画【令和２～６年度】(「北九州市次世代育成行動計画」及び「北九州市子ども・子育て支援事業計画」）の策定にあたり、計画をより実効性のあるものとするため、家庭の状況や子育ての実態、保護者の意識などを把握することや、教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算定することを目的として実施した。

2. 調査対象

①就学前児童の保護者（調査票Ａを配布）　５，０００人
②就学前児童の保護者（調査票Ｂを配布）　３，０００人
③小学生の保護者　３，０００人
④中学・高校生の保護者　３，０００人
⑤１８歳から３９歳の男女　３，０００人
※対象者は、住民基本台帳より無作為抽出。

3. 調査方法

郵送調査

4. 調査期間

平成３０年１２月３日～平成３０年１２月２０日

5. 回収結果

	配布数	有効回収数	有効回収率
就学前児童の保護者（調査票Ａを配布）	５，０００	２，３１４	４６．３％
就学前児童の保護者（調査票Ｂを配布）	３，０００	１，５５９	５２．０％
小学生の保護者	３，０００	１，４９３	４９．８％
中学・高校生の保護者	３，０００	１，３９６	４６．５％
１８歳から３９歳の男女	３，０００	８６４	２８．８％
計	**１７，０００**	**７，６２６**	**４４．９％**

6. 調査実施機関

調査企画：北九州市 子ども家庭局子ども家庭部総務企画課
集計分析：株式会社日本統計センター

7. 集計・分析上の注意

・図表においては、サンプル数を「N」で表記した。

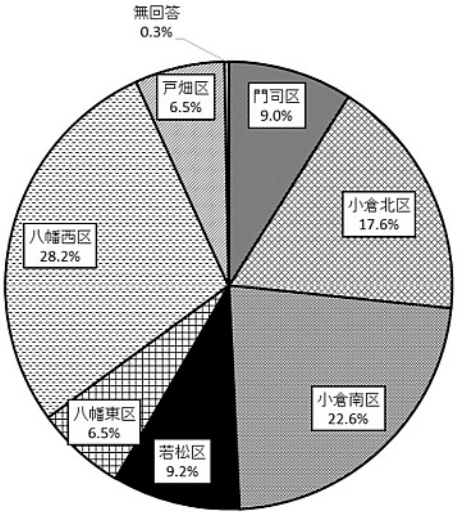
・比率は小数点第 2 位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合がある。また、複数回答の質問については、合計が 100%を超えることがある。

Ⅱ．調査結果

〔就学前児童の保護者（調査票Ａ）〕

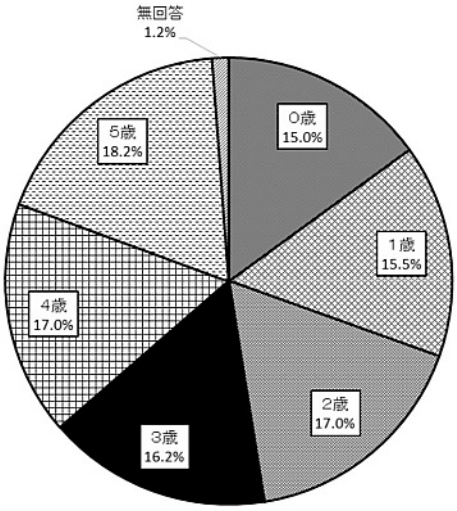
1. 子どもと家族の状況等

(１) 居住区（問 1）



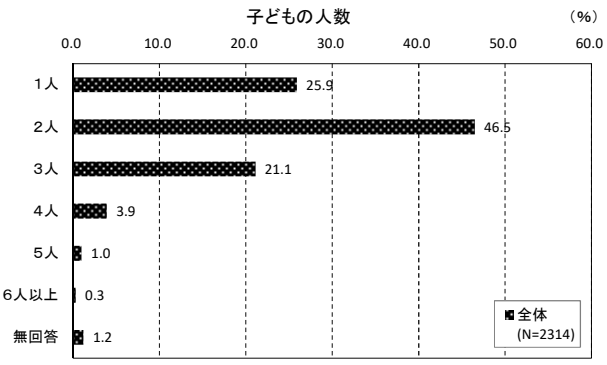
（N=2,314）

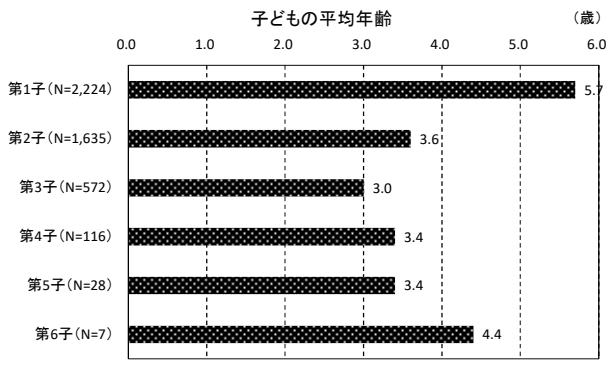
(２) 子どもの年齢（問 2）



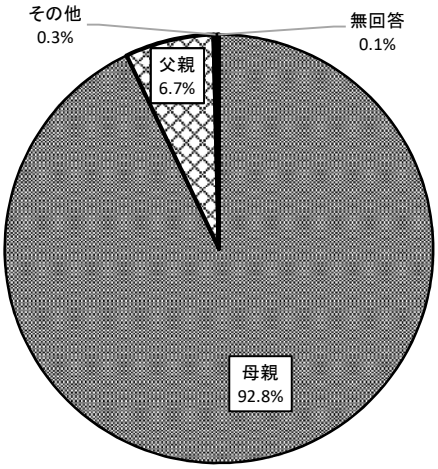
（N=2,314）

(３) 子どもの人数と平均年齢（問 3）



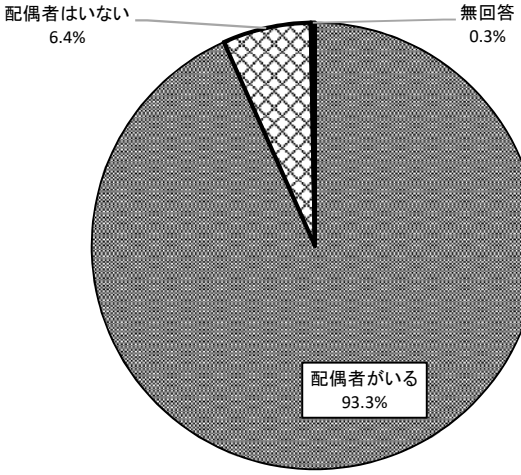


(４) 調査票の回答者（問 4）



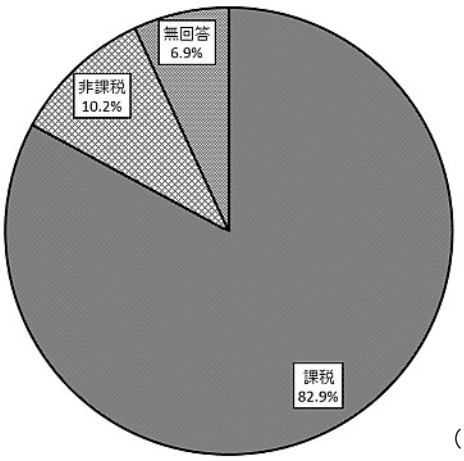
（N=2,314）

(５) 調査票の回答者の配偶者（問 5）



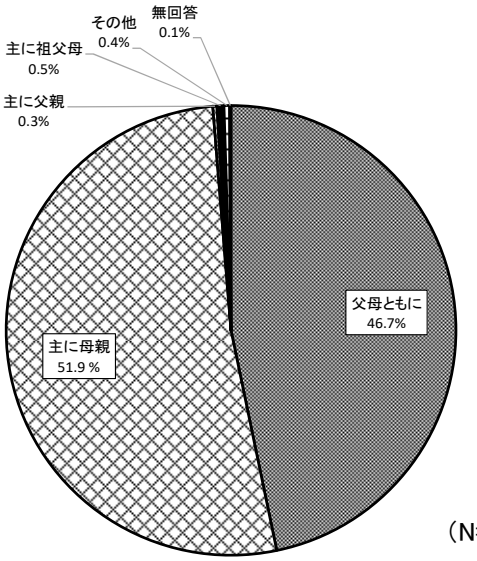
（N=2,314）

(６) 住民税の課税状況（問 6）



（N=2,314）

(７) 子育て（教育を含む）を主に行っている人（問 7）

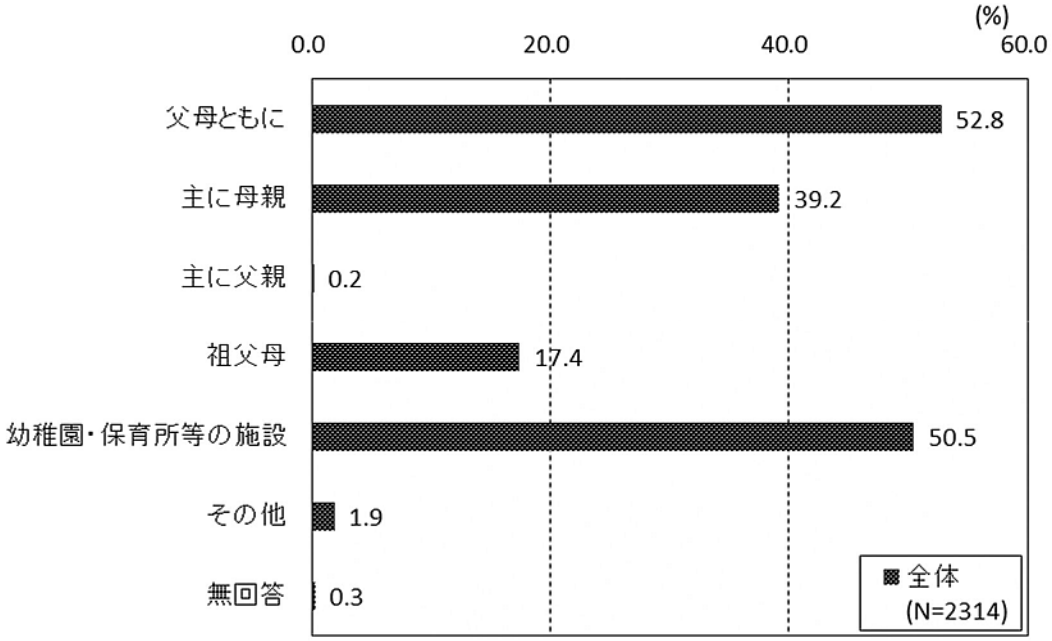


（N=2,314）

2. 子どもの育ちをめぐる環境

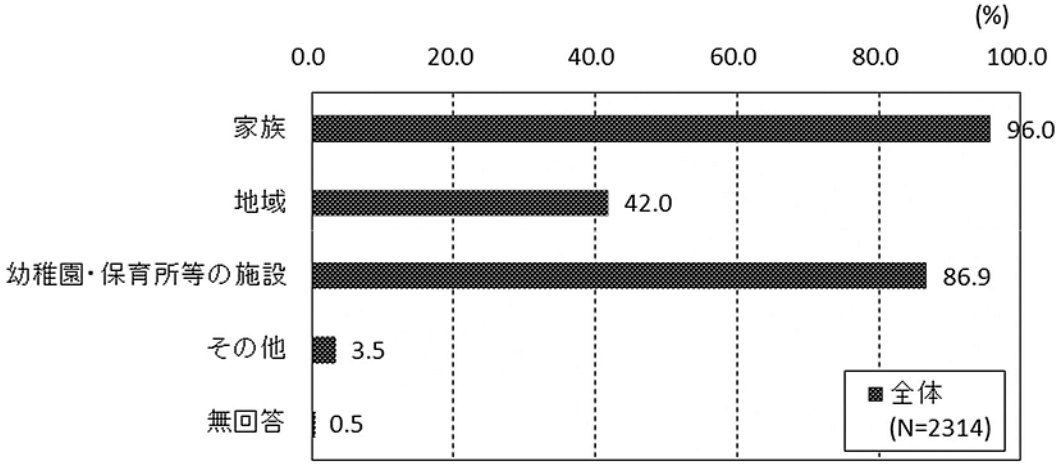
(8) 子育て（教育を含む）に日常的に関わっている人や施設（問 8）【複数回答】

子育て（教育を含む）に日常的に関わっている人や施設は、「父母ともに」が 52.8%で最も高く、次いで「幼稚園・保育所等の施設」50.5%、「主に母親」39.2%となっている。



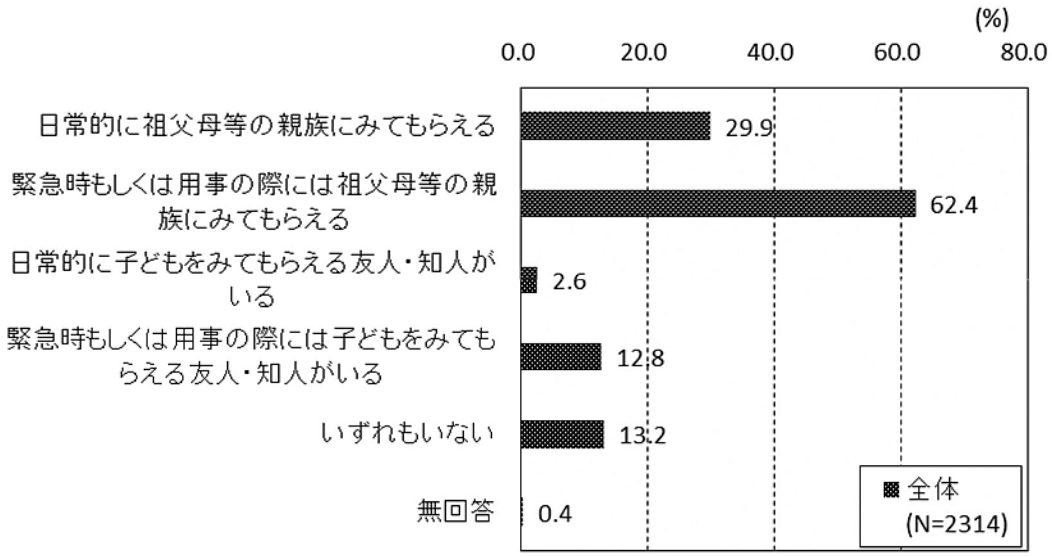
(9) 子育て（教育を含む）に影響すると思われる環境（問 9）【複数回答】

子育て（教育を含む）に影響すると思われる環境は、「家族」が 96.0%で最も高く、次いで「幼稚園・保育所等の施設」86.9%、「地域」42.0%となっている。



(１０)　日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無（問 10）【複数回答】

子どもをみてもらえる親族・知人の有無については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 62.4%で最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」29.9%、「いずれもいない」13.2%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」12.8%となっている。

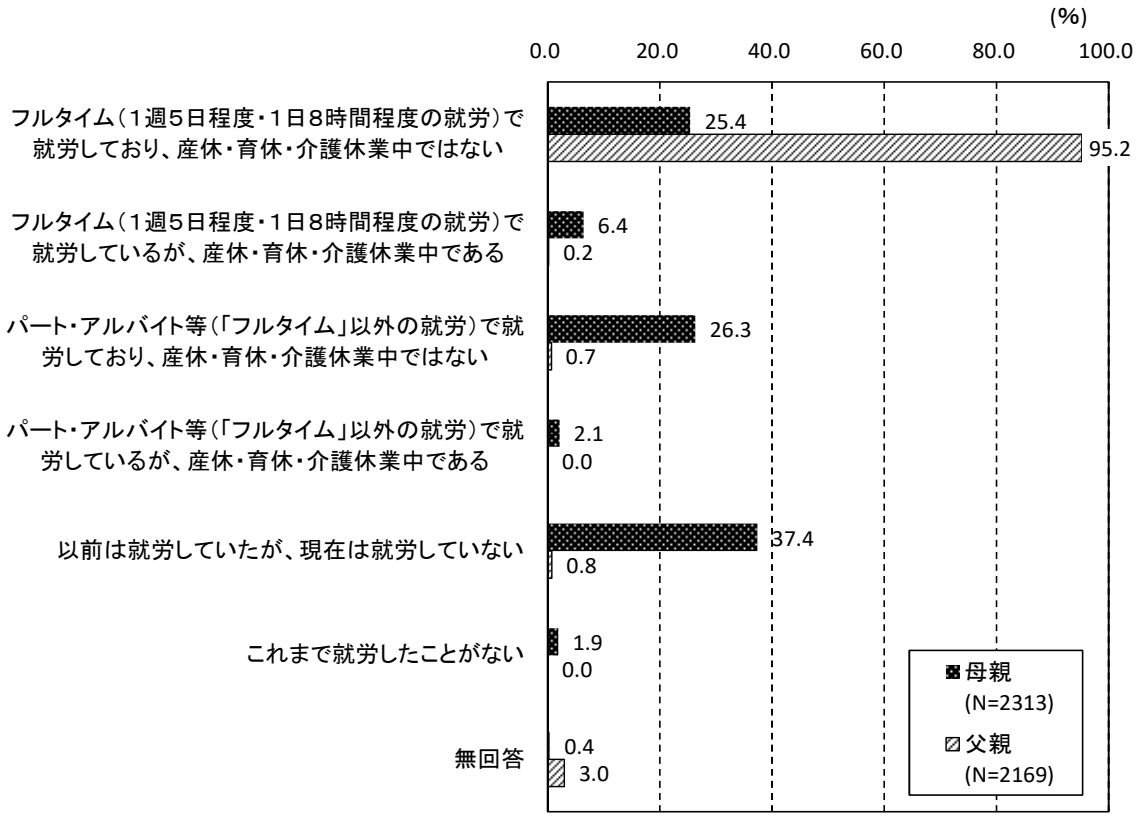


3. 保護者の就労状況

(１１)　現在の就労状況（問 11(1)、問 11(2)）

母親の就労状況は、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 37.4％で最も高く、次いで「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」26.3％、「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」25.4％となっている。

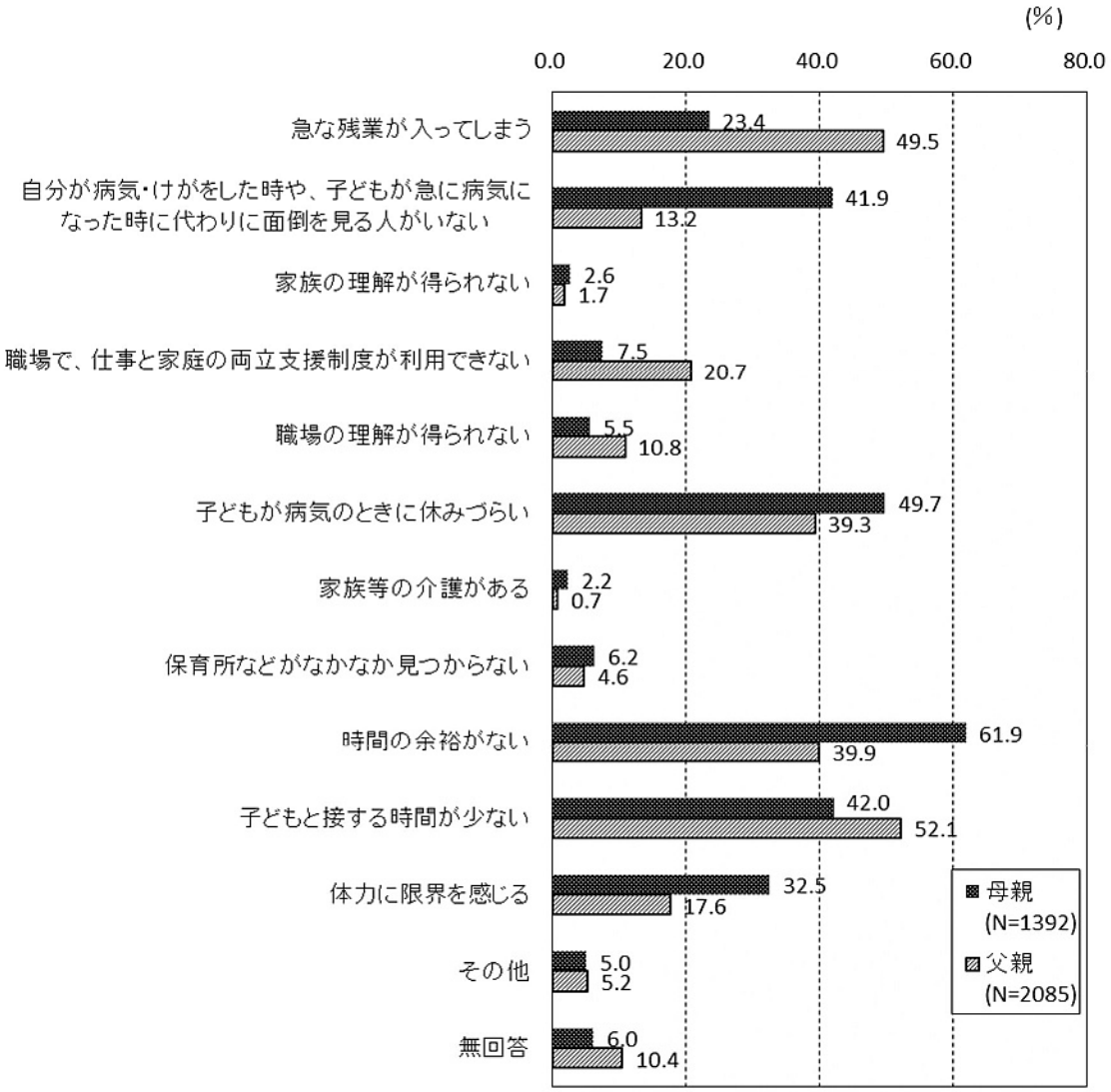
父親は、「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 95.2％で大多数である。



（１２） 仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じること（問 11(1)-1、問 11(2)-1）【複数回答】

現在就労している人が、仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じることを尋ねたところ、母親は「時間の余裕がない」が 61.9%で最も高く、次いで「子どもが病気のときに休みづらい」49.7%、「子どもと接する時間が少ない」42.0%、「自分が病気・けがをした時や、子どもが急に病気になった時に代わりに面倒を見る人がいない」が 41.9%となっている。

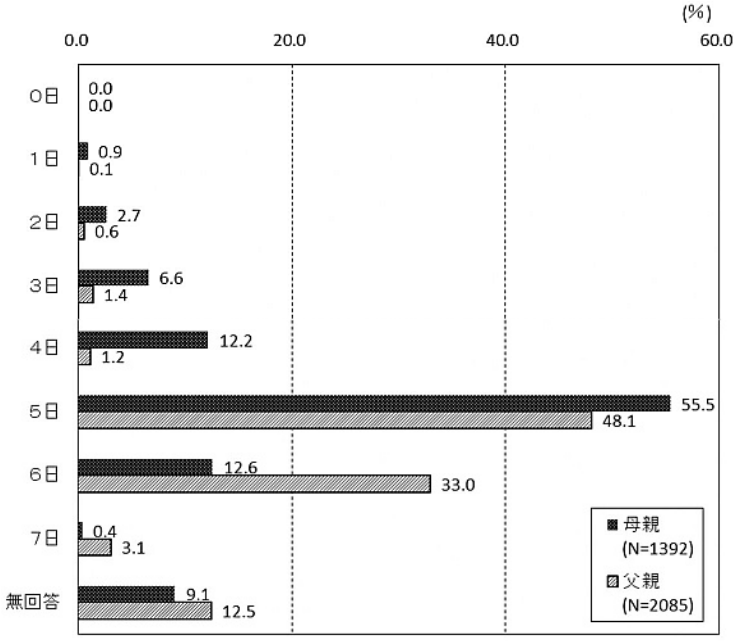
父親は、「子どもと接する時間が少ない」が 52.1%で最も高く、次いで「急な残業が入ってしまう」49.5%、「時間の余裕がない」39.9%、「子どもが病気のときに休みづらい」39.3%となっている。



(１３)　１週当たりの就労日数、１日当たりの就労時間（問 11(1)-2、問 11(2)-2）

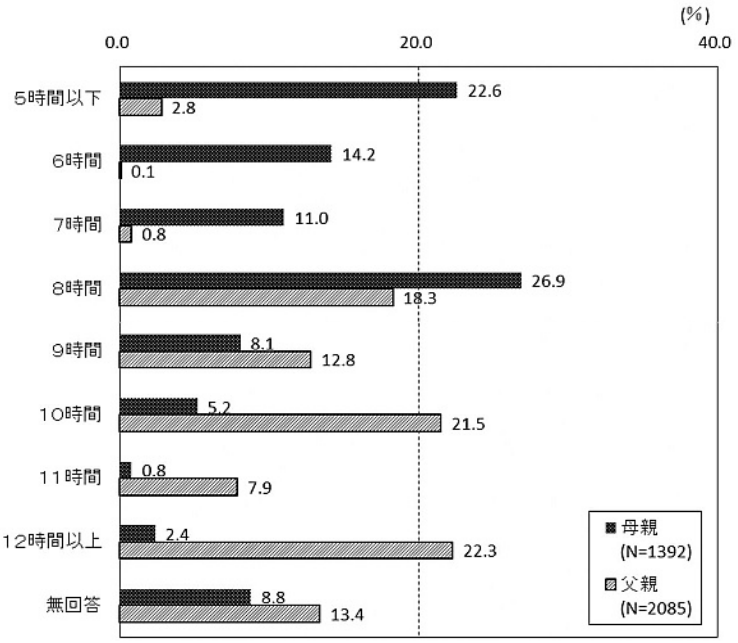
①　１週当たりの就労日数

母親の１週当たりの就労日数は、「５日」が 55.5%で最も高く、次いで「６日」12.6%、「４日」12.2%となっている。父親は、「５日」が 48.1%で最も高く、次いで「６日」33.0%となっており、この２つの割合が特に高くなっている。



②　１日当たりの就労時間

母親の１日当たりの就労時間（残業時間を含む）は、「８時間」が 26.9%で最も高く、次いで「５時間以下」22.6%、「６時間」14.2%となっている。父親は、「１２時間以上」が 22.3%で最も高く、次いで「１０時間」21.5%「８時間」18.3%となっている。

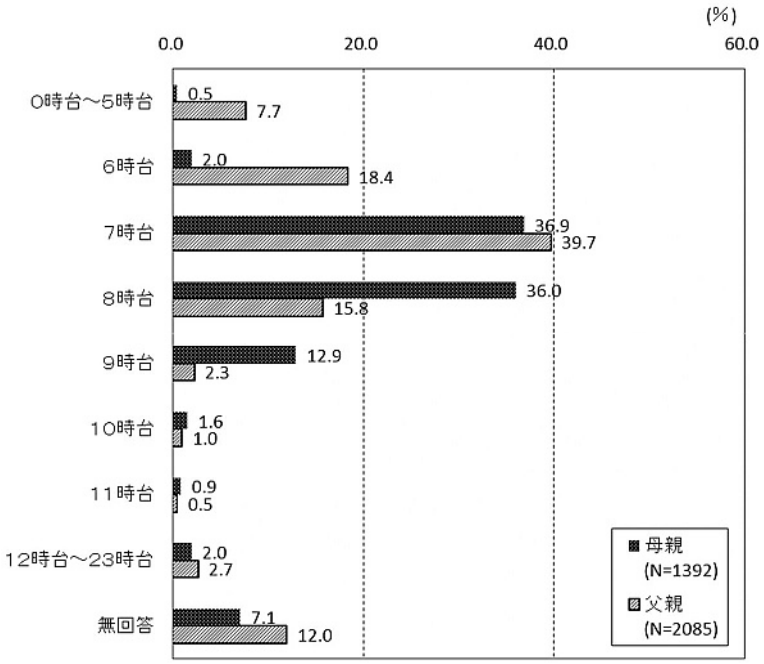


(１４)　家を出る時刻と帰宅時刻（問 11(1)-3、問 11(2)-3）

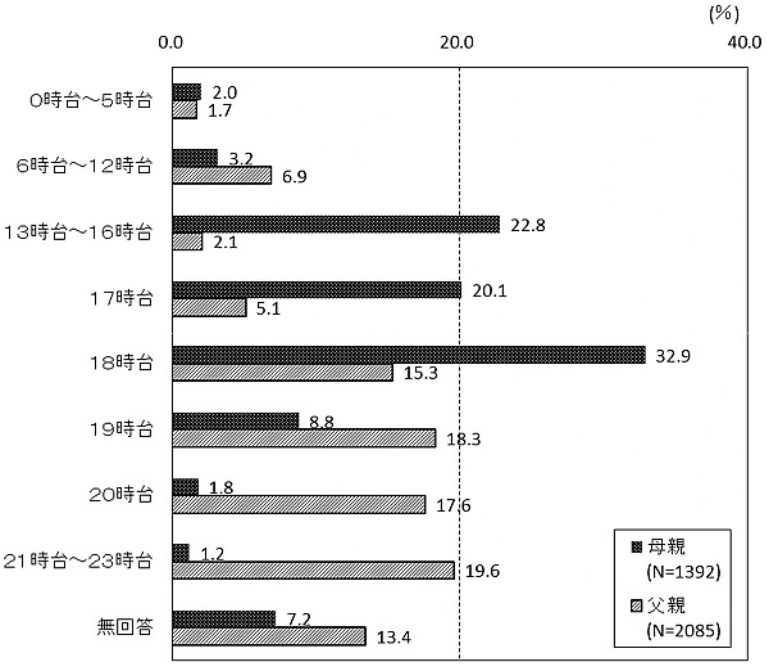
母親が家を出る時刻は、「７時台」が 36.9%で最も高く、次いで「８時台」36.0%、「９時台」12.9%となっている。帰宅時刻は、「１８時台」が 32.9%で最も高く、次いで「１３時台～１６時台」22.8%、「１７時台」20.1%となっている。

父親が家を出る時刻は、「７時台」が 39.7%で最も高く、次いで「６時台」18.4%、「８時台」15.8%となっている。帰宅時刻は、「２１時台～２３時台」が 19.6%で最も高く、次いで「１９時台」18.3%、「２０時台」17.6%となっている。父親は母親よりも家を早く出て、遅く帰宅する傾向が見られる。

①　家を出る時刻



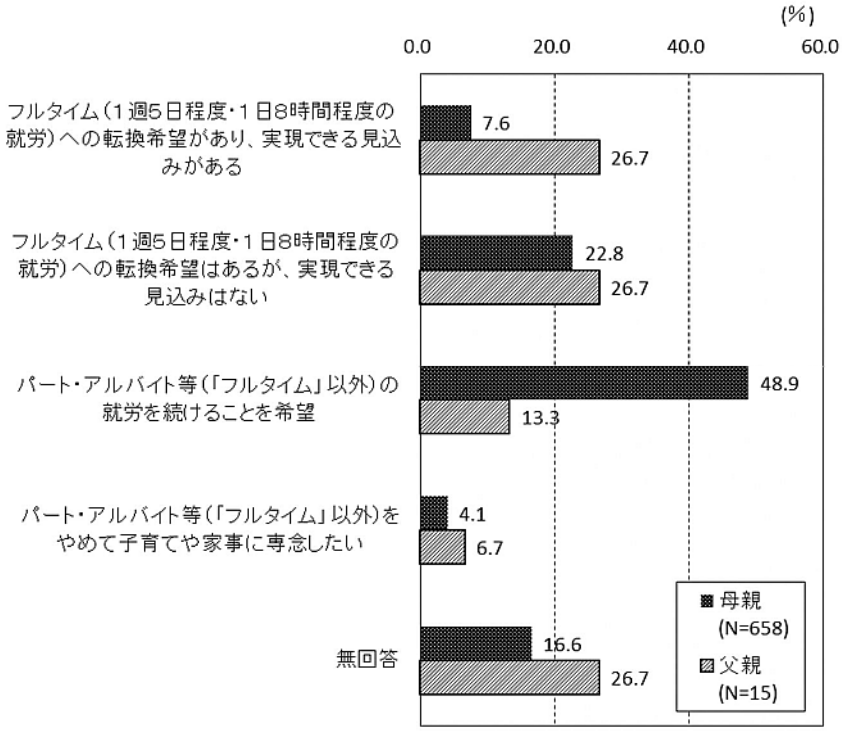
②　帰宅時刻



(１５)　フルタイムへの転換希望（問 12(1)、問 12(2)）

「(11) 現在の就労状況」で、パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労していると回答した人に、フルタイムへの転換希望を尋ねたところ、母親は「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が 48.9%と最も高く、次いで「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」22.8%、「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」7.6%となっている。

父親は、「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が同率 26.7%となっている。

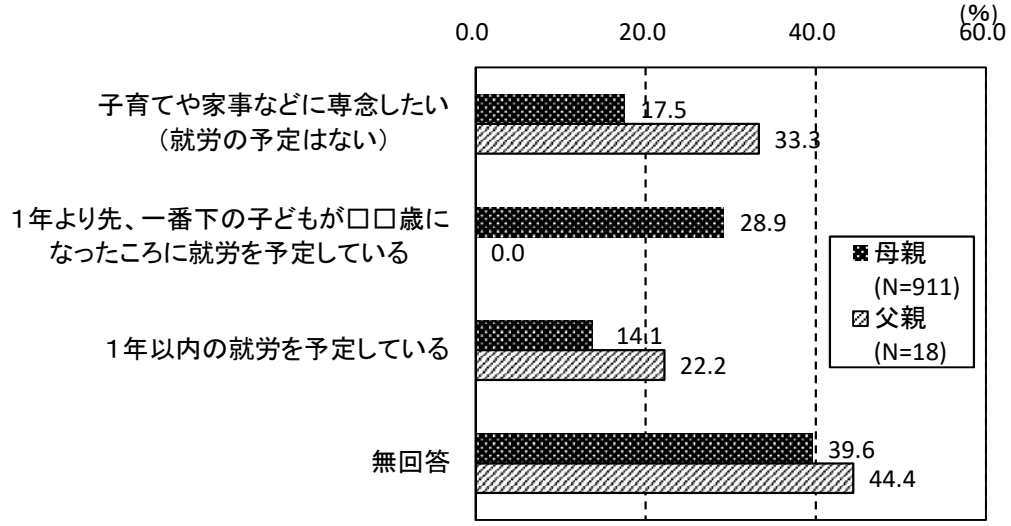


(１６)　今後の就労予定（問 13(1)、問 13(2)）

「(11) 現在の就労状況」で、現在は就労していない、就労したことがないと回答した人に今後の就労予定を尋ねたところ、母親、父親ともに無回答が最も高かった。

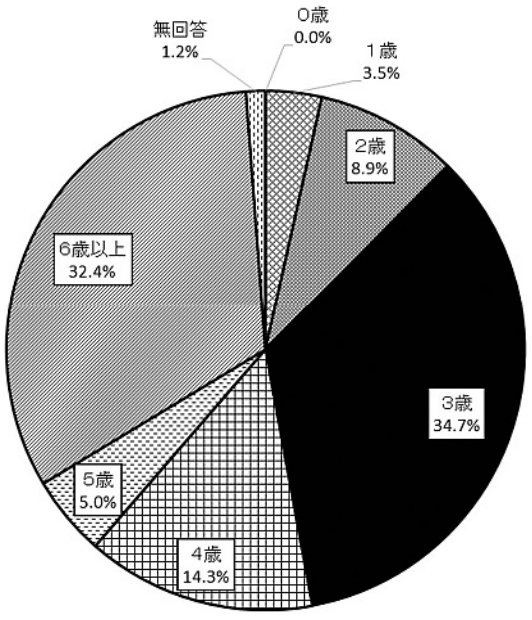
母親は「１年より先、一番下の子どもが□□歳になったころに就労を予定している」が 28.9%で、次いで「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない)」17.5%となっている。

父親は、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない)」が 33.3%で、次いで「１年以内の就労を予定している」22.2%となっている。



①　予定している就労時の子どもの年齢（母親）

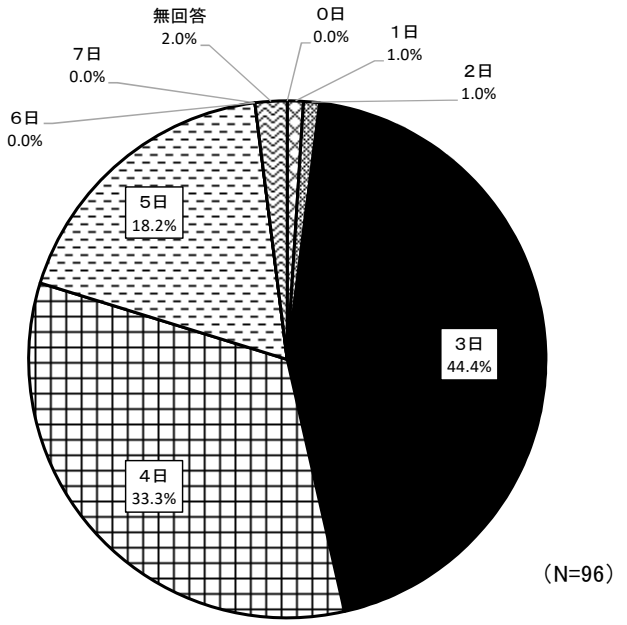
「１年より先、一番下の子どもが□□歳になったころに就労を予定している」と回答した母親に具体的な子どもの年齢を尋ねたところ、「３歳」が 34.7%で最も高く、次いで「６歳以上」32.4%、「４歳」14.3%となっている。



（N=259）

②　１週当たりの希望就労日数（母親）

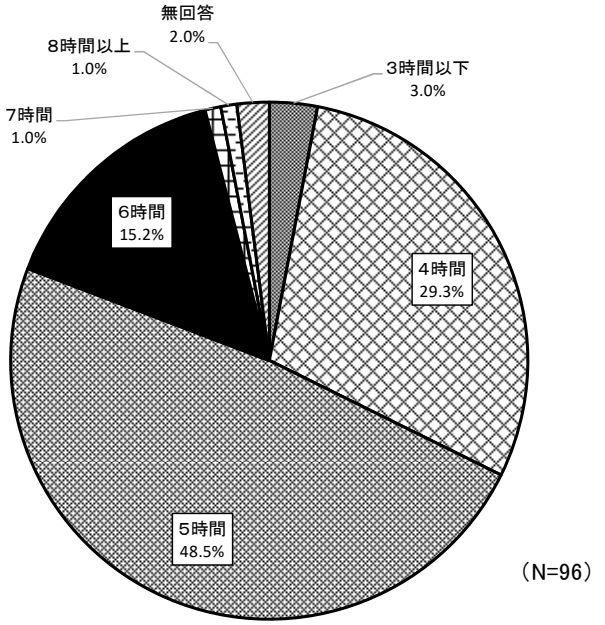
１年以内に就労する予定と回答し、希望する就労形態を「パートタイム・アルバイト等（「フルタイム」以外)」と回答した母親に希望する１週当たりの就労日数を尋ねたところ、「３日」が 44.4%で最も高く、次いで「４日」33.3%、「５日」18.2%となっている。



(注) １年以内に就労する予定と回答した父親で、希望する就労形態を「パートタイム・アルバイト等（「フルタイム」以外)」と回答した人数が 0 のため、図表は表記していない。

③　１日当たりの希望就労時間（母親）

１年以内に就労する予定と回答し、希望する就労形態を「パートタイム・アルバイト等（「フルタイム」以外)」と回答した母親に希望する１日当たりの就労時間を尋ねたところ、「５時間」が 48.5%で最も高く、次いで「４時間」29.3%、「６時間」15.2%となっている。

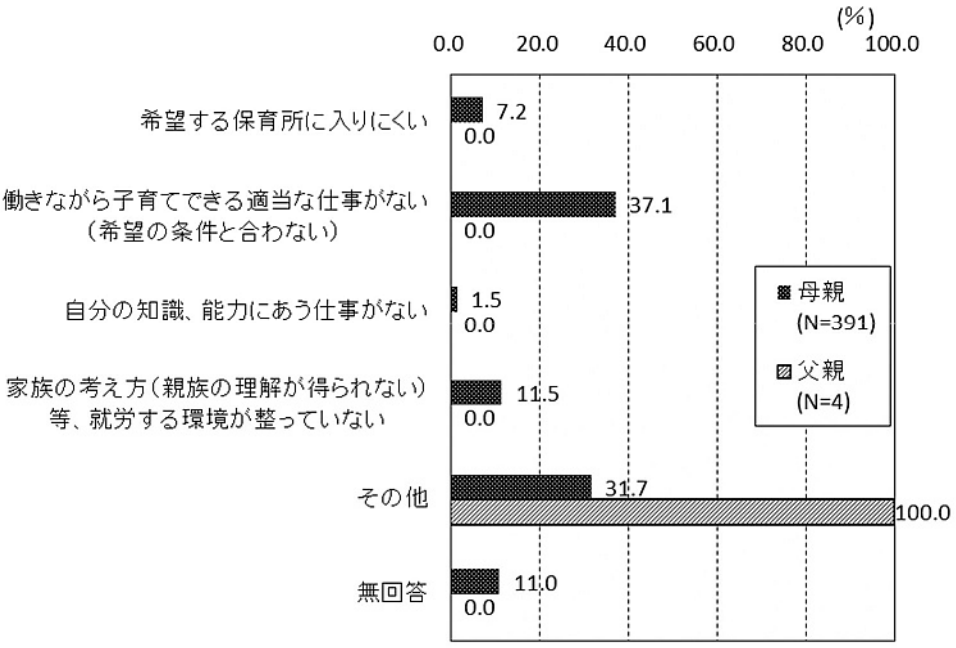


(注) １年以内に就労する予定と回答した父親で、希望する就労形態を「パートタイム・アルバイト等（「フルタイム」以外)」と回答した人数が 0 のため、図表は表記していない。

(１７)　就労希望がありながら現在働いていない理由（問 13-1(1)、問 13-1(2)）

「(16) 今後の就労予定」で１年より先もしくは１年以内に就労する予定の人が現在働いていない理由は、母親では「働きながら子育てできる適当な仕事がない（希望の条件と合わない)」が 37.1%で最も高く、次いで「家族の考え方（親族の理解が得られない）等、就労する環境が整っていない」11.5%で、「その他」が 31.7%である。

父親は、「その他」が 100.0%である。



(１８)　家事・子育てをする時間（問 14(1)、問 14(2)）

①　母親

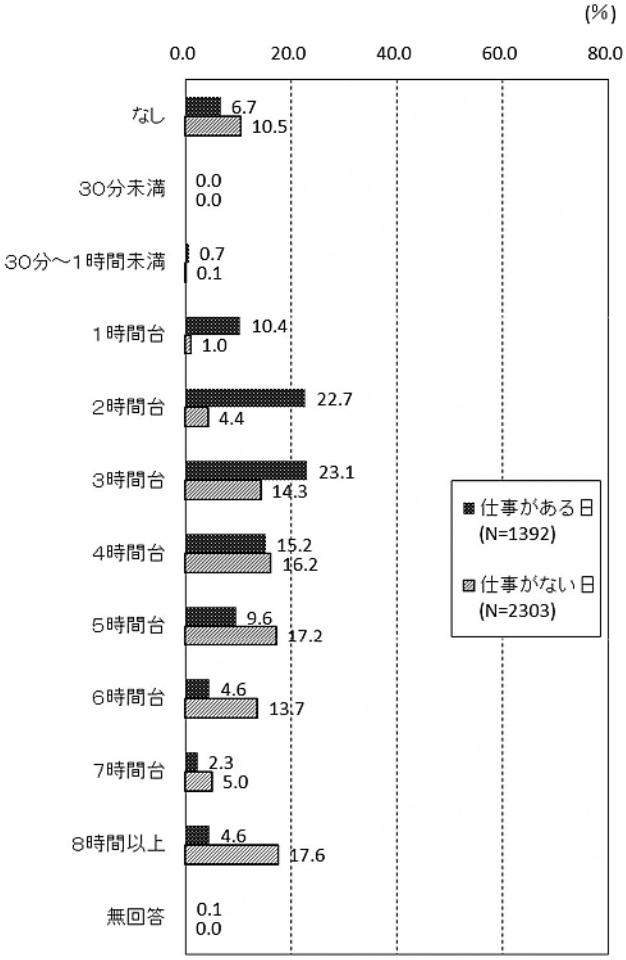
平均的な１日の中で家事（料理、洗濯、買物など）に費やす時間を母親に尋ねたところ、仕事がある日では、「３時間台」23.1%で最も高く、次いで、「２時間台」が 22.7%、「４時間台」15.2%となっている。

仕事がない日では「８時間以上」が 17.6%で最も高く、次いで「５時間台」17.2%、「４時間台」16.2%となっている。

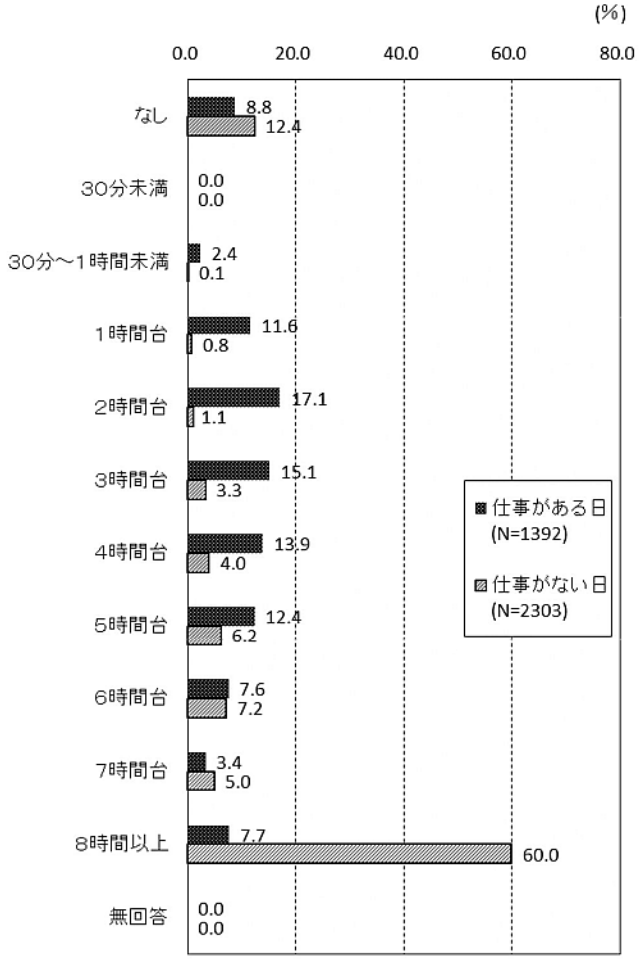
平均的な１日の中で子育てに費やす時間を尋ねたところ、仕事がある日では、「２時間台」が 17.1%で最も高く、次いで「３時間台」15.1%、「４時間台」13.9%となっている。

仕事がない日では「８時間以上」が 60.0%を占めている。

【家事】



【育児】



② 父親

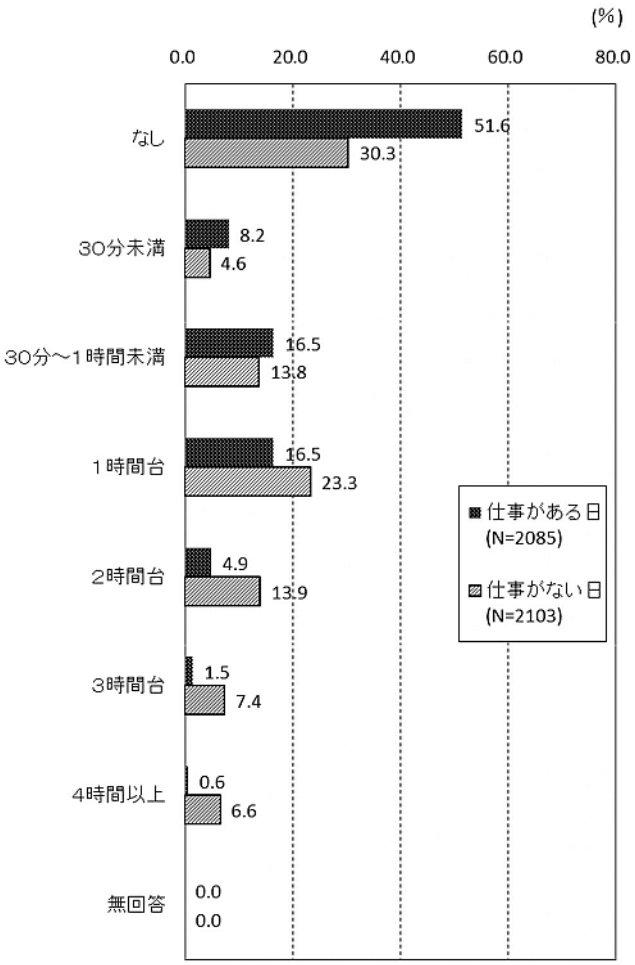
平均的な１日の中で家事（料理、洗濯、買物など）に費やす時間を父親に尋ねたところ、仕事がある日では、「なし」が 51.6%で最も高く、次いで「３０分～１時間未満」「１時間台」が同率 16.5%となっている。

仕事がない日でも、「なし」が 30.3%で最も高く、次いで「１時間台」が 23.3%、「２時間台」13.9%、「３０分～１時間未満」13.8%となっている。

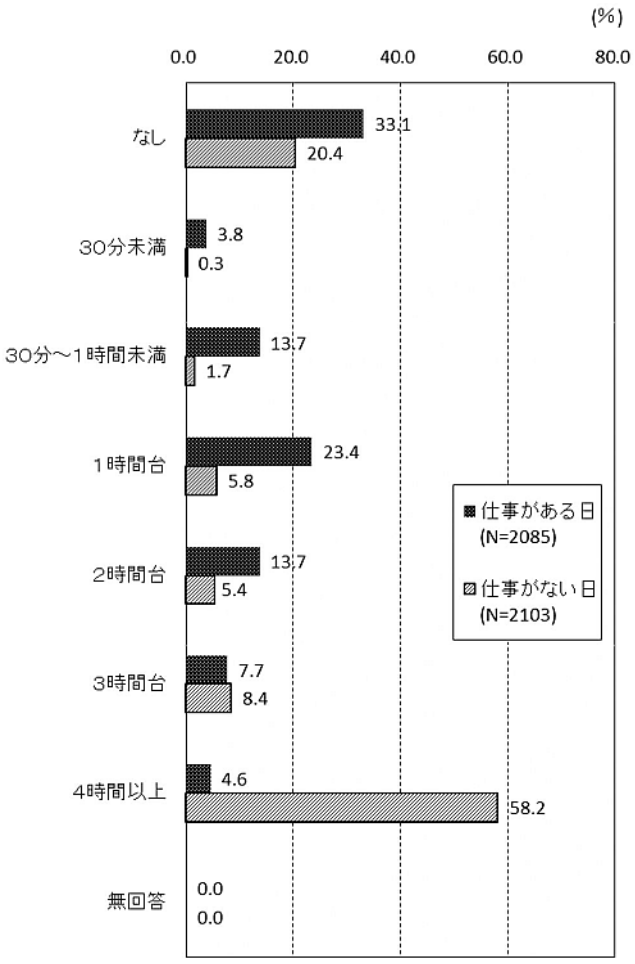
平均的な１日の中で子育てに費やす時間を尋ねたところ、仕事がある日では、「なし」が 33.1%で最も高く、次いで「１時間台」23.4%、「３０分～１時間未満」「２時間台」が同率 13.7%となっている。

仕事がない日では「４時間以上」が 58.2%を占め、「なし」は 20.4%となっている。

【家事】



【育児】

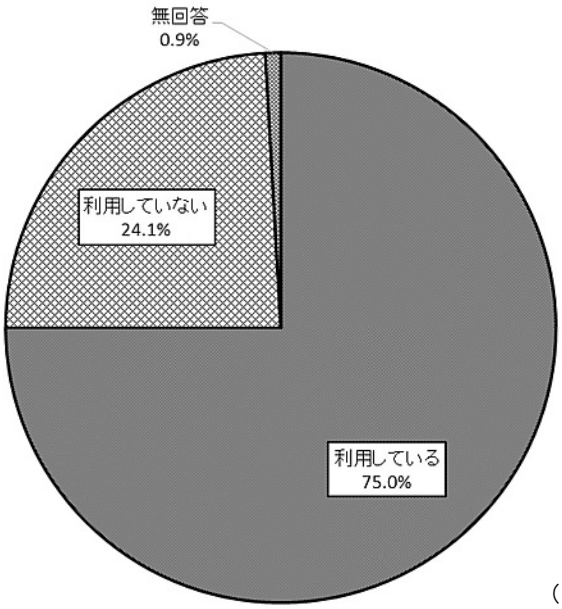


4. 平日の定期的な教育・保育施設の利用状況

(１９) 定期的な教育・保育施設の利用状況（問 15）

※「定期的な教育・保育施設」とは、月単位で定期的に利用しているものを指します。具体的には、幼稚園や保育所など(20)の図表に示した施設が含まれます。

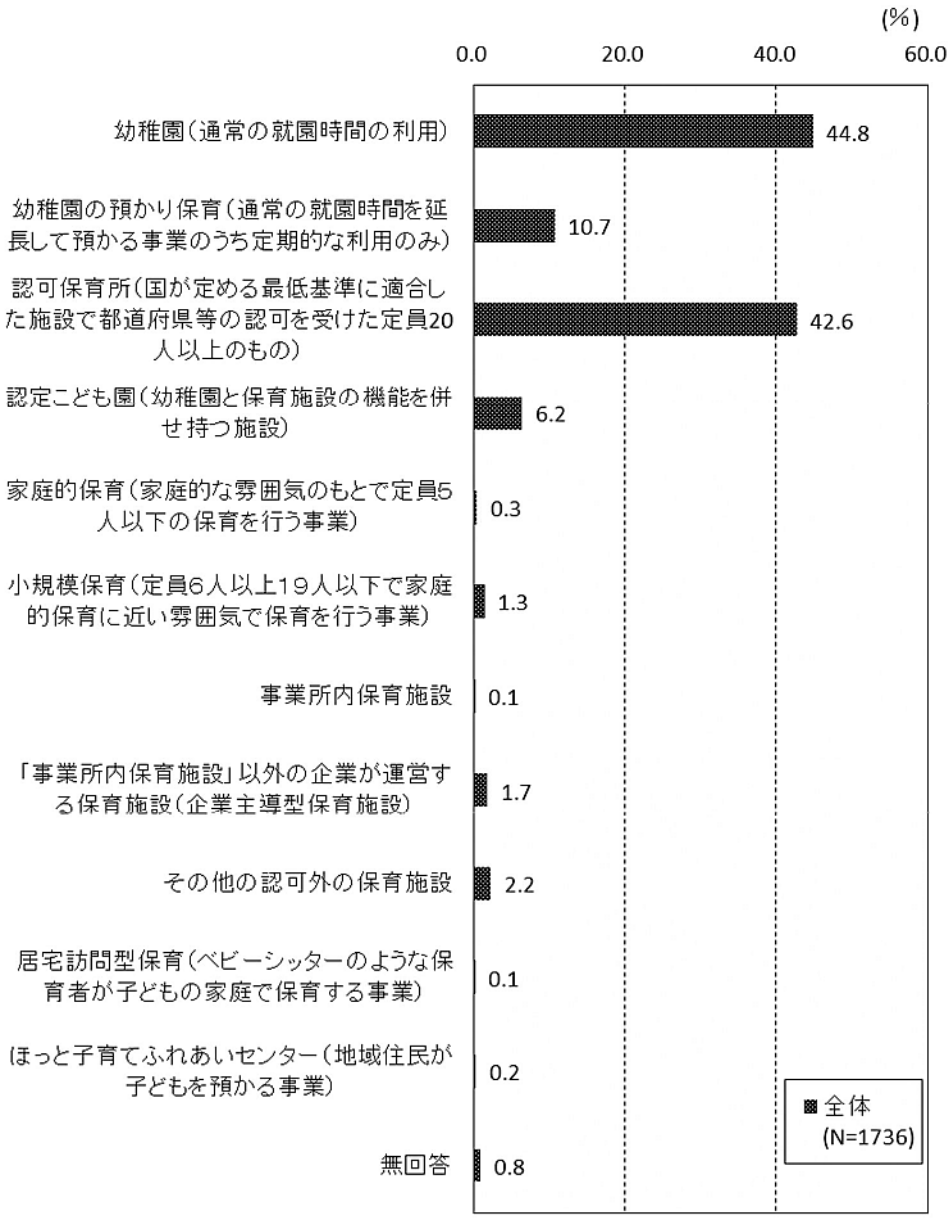
平日に定期的な教育・保育施設を「利用している」が 75.0%、「利用していない」が 24.1%となっている。



（N=2,314）

(２０)　平日に定期的に利用している教育・保育施設（問 15-1）【複数回答】

平日に定期的に利用している教育・保育施設は、「幼稚園（通常の就園時間の利用)」44.8%、「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの)」42.6%の割合が高い。

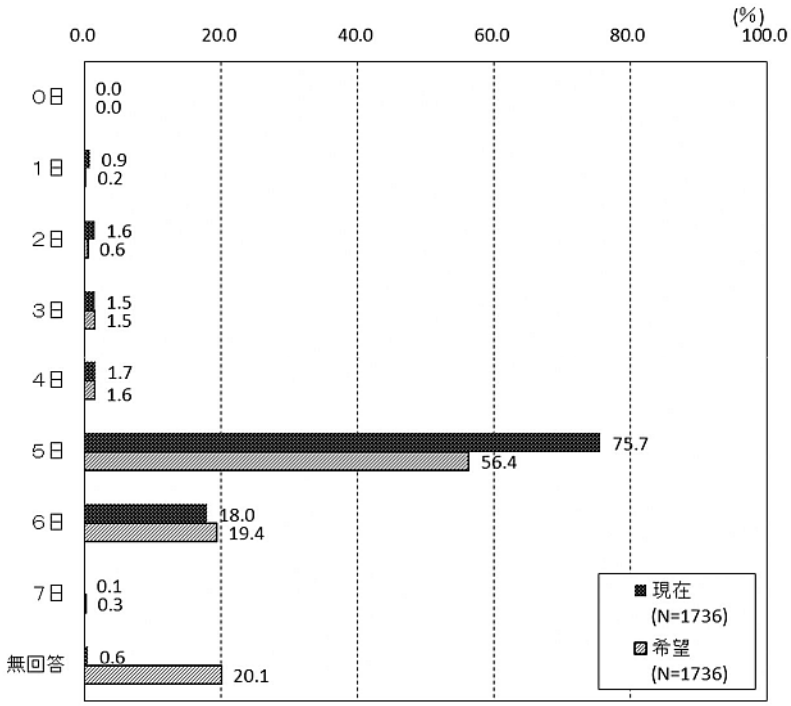


※事業所内保育施設に該当する施設
・キッズルーム・スマイル：小倉北区赤坂一丁目
・宇佐町さわやか保育園：小倉北区宇佐町二丁目
・うえっち保育園：小倉南区葛原本町一丁目
・なないろ保育園：小倉南区曽根北町
・キッズルーム・ハグ：小倉南区中曽根東二丁目
・ひかりと大地の保育園：若松区大字安屋
・さわやかくきのうみ保育園：若松区くきのうみ中央

(２１)　平日に定期的に利用している教育・保育施設の利用時間と利用希望時間（問 15-2）

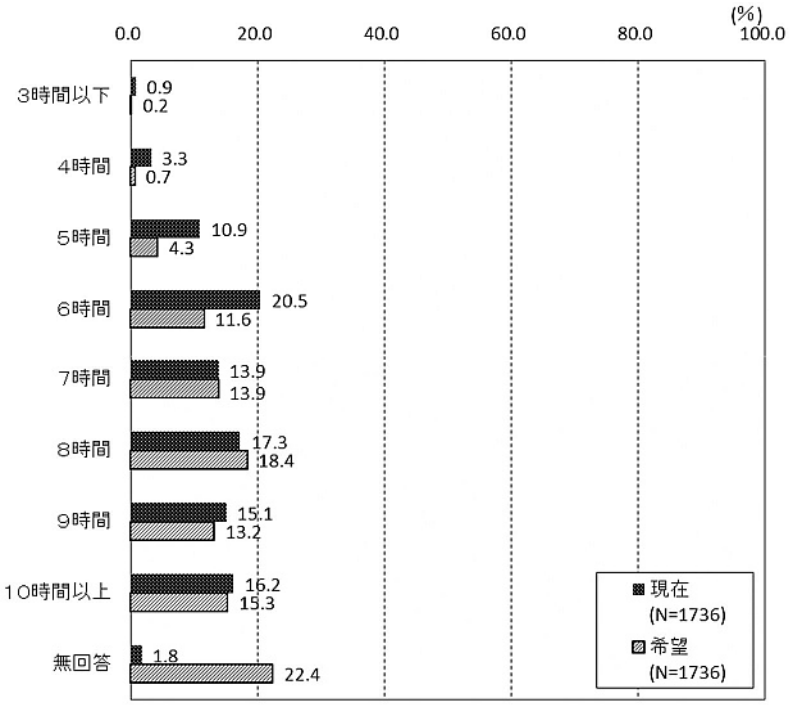
１週当たりの利用日数は、現在は「５日」が 75.7%、「６日」18.0%となっている。希望は「５日」が 56.4%、「６日」19.4%となっている。

①　１週当たりの利用日数



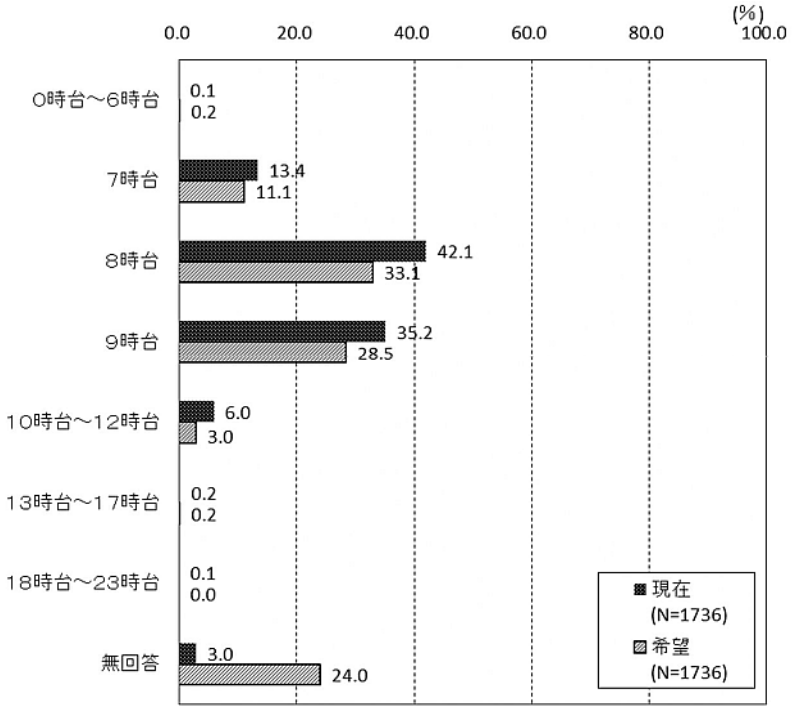
②　１日当たりの利用時間

１日当たりの利用時間は、現在は「６時間」が 20.5%で最も高く、次いで「８時間」17.3%、「１０時間以上」16.2%、「９時間」15.1%となっている。希望は「８時間」が 18.4%で最も高く、次いで「１０時間以上」15.3%、「７時間」13.9%となっている。



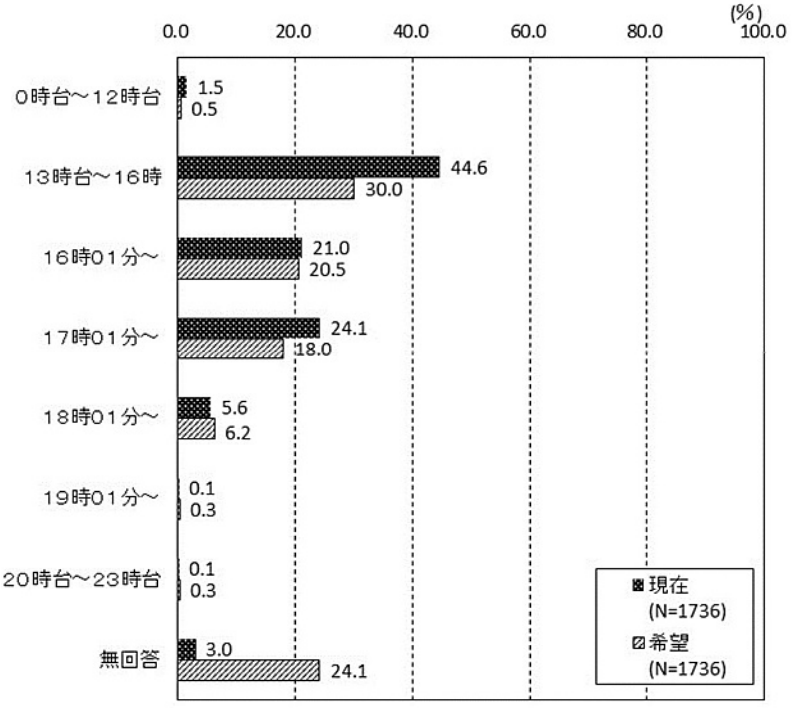
③　利用開始時間

利用開始時間は、現在は「８時台」が 42.1%で最も高く、次いで「９時台」35.2%、「７時台」13.4%となっている。希望は「８時台」が 33.1%で最も高く、次いで「９時台」28.5%、「７時台」11.1%となっている。



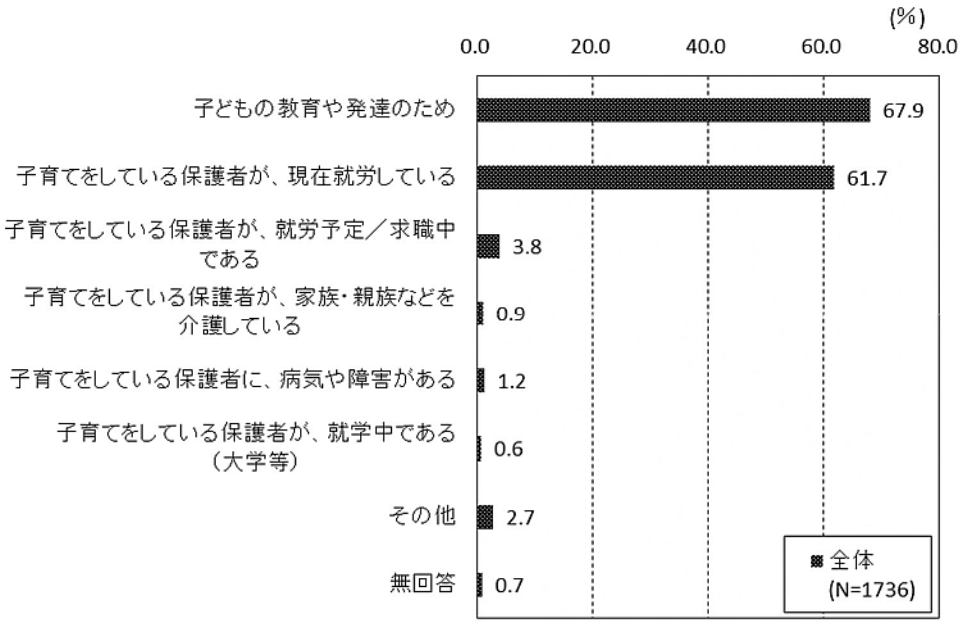
④　利用終了時間

利用終了時間は、現在は「１３時台～１６時」が 44.6%で最も高く、次いで「１７時０１分～」24.1%、「１６時０１分～」21.0%となっている。希望は「１３時台～１６時」が 30.0%で最も高く、次いで「１６時０１分～」20.5%、「１７時０１分～」18.0%となっている。



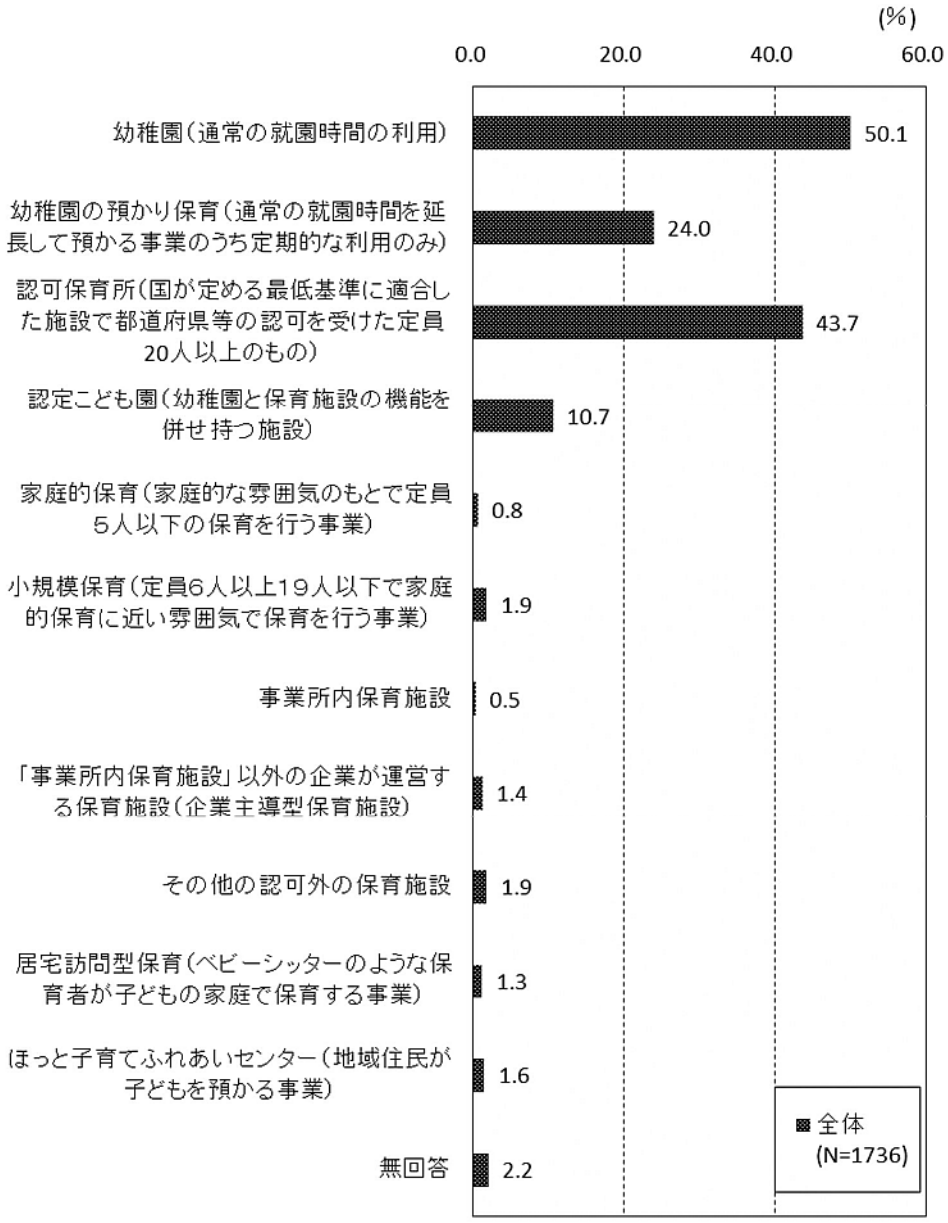
(２２)　平日に定期的に教育・保育施設を利用している理由（問 15-3)【複数回答】

定期的に教育・保育施設を利用している理由は、「子どもの教育や発達のため」67.9%、「子育てをしている保護者が、現在就労している」61.7%の割合が高い。



(２３)　今後、平日に定期的に利用したい施設（問 16)【複数回答】

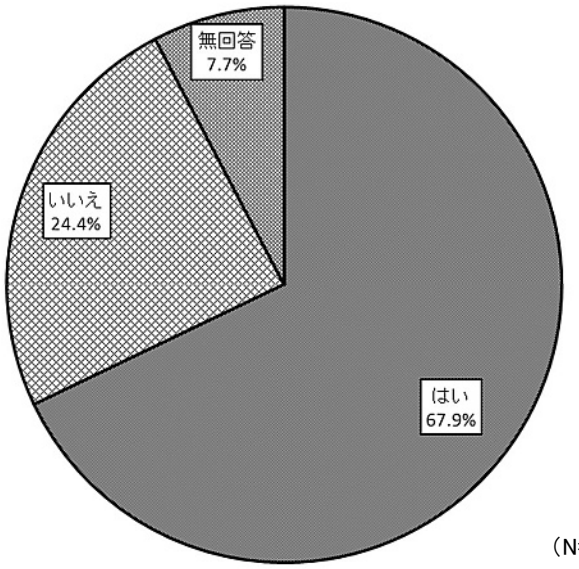
今後、平日に定期的に利用したい教育・保育施設は、「幼稚園（通常の就園時間の利用)」が 50.1%で最も高く、次いで「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの)」43.7%、「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)」24.0%、「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)」10.7%となっている。



※事業所内保育施設に該当する施設
・キッズルーム・スマイル：小倉北区赤坂一丁目
・宇佐町さわやか保育園：小倉北区宇佐町二丁目
・うえっち保育園：小倉南区葛原本町一丁目
・なないろ保育園：小倉南区曽根北町
・キッズルーム・ハグ：小倉南区中曽根東二丁目
・ひかりと大地の保育園：若松区大字安屋
・さわやかくきのうみ保育園：若松区くきのうみ中央

(２４)　幼稚園、幼稚園の預かり保育の利用を特に強く希望するか（問 16-1）

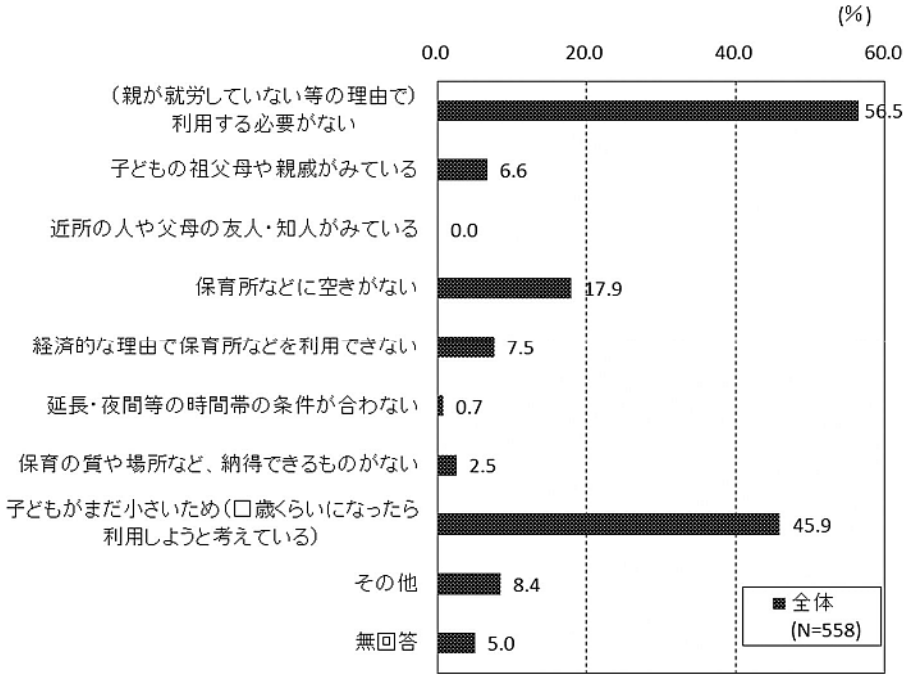
「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」と同時に他の施設を利用したいと回答した人に、「幼稚園（幼稚園の預かり保育も併用する場合も含む)」の利用を特に強く希望するかどうか尋ねたところ、「はい」が 67.9%、「いいえ」が 24.4%となっている。



（N=221）

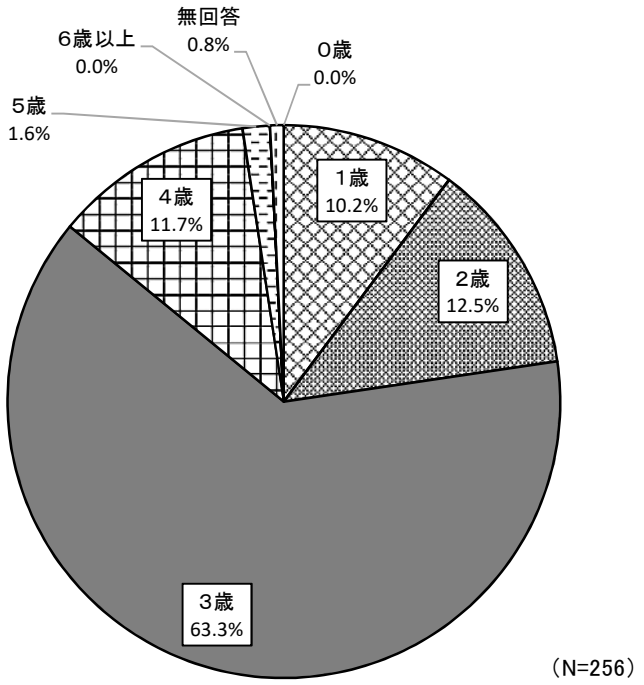
(２５)　平日に定期的に教育・保育事業を利用していない理由（問 17）【複数回答】

（19）で平日に定期的に教育・保育事業を「利用していない」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「(親が就労していない等の理由で）利用する必要がない」が 56.5%で最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため（□歳くらいになったら利用しようと考えている)」45.9%、「保育所などに空きがない」17.9%となっている。



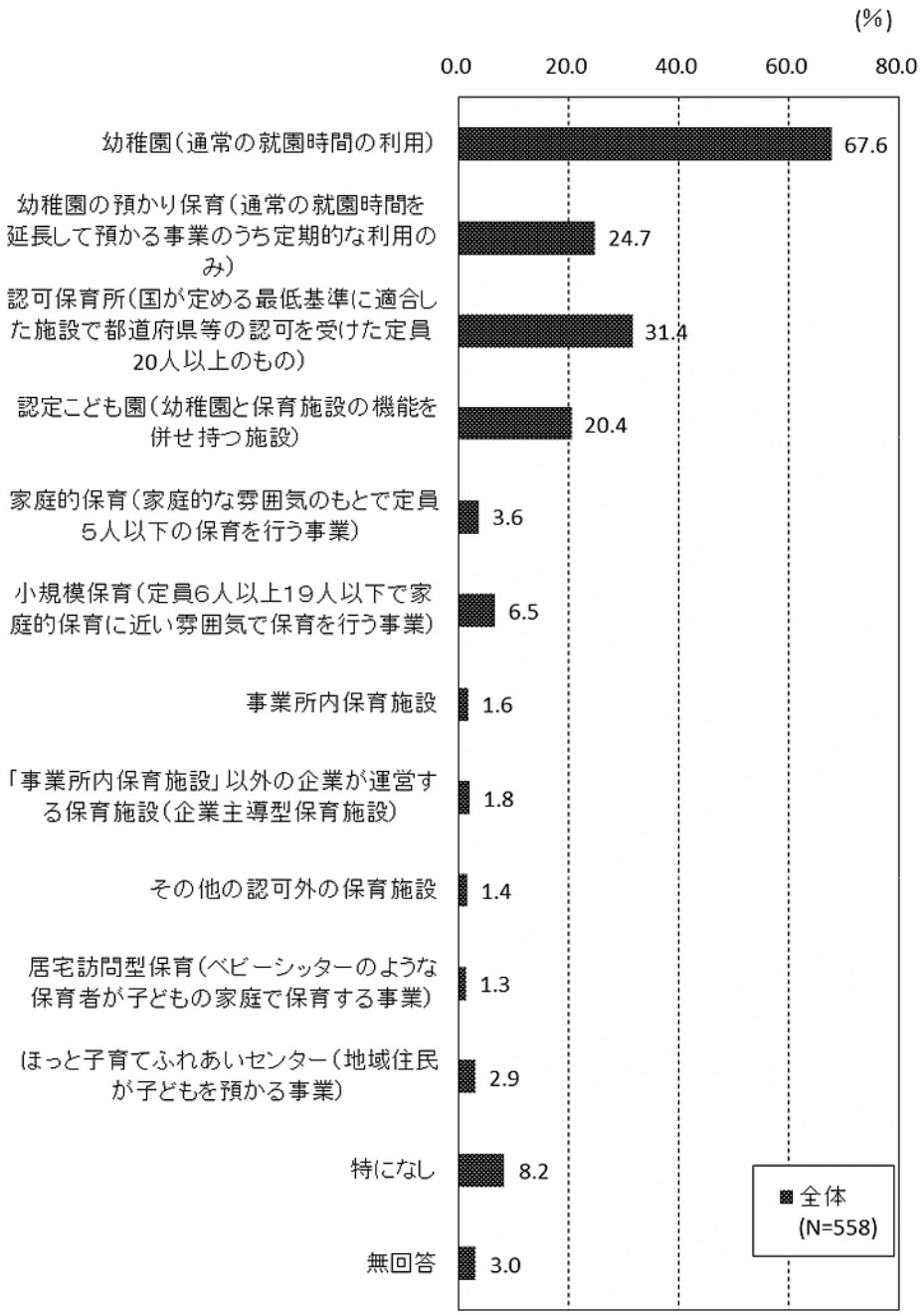
【利用しようと考えている子どもの年齢】

「子どもがまだ小さいため（□歳くらいになったら利用しようと考えている)」と回答した人に、利用しようと考えている子どもの年齢を尋ねたところ、「３歳」が 63.3%で最も高く、次いで「２歳」12.5%、「４歳」11.7%となっている。



（２６）　平日の教育・保育の事業として「定期的に」利用したいと考える施設（問 17-1）【複数回答】

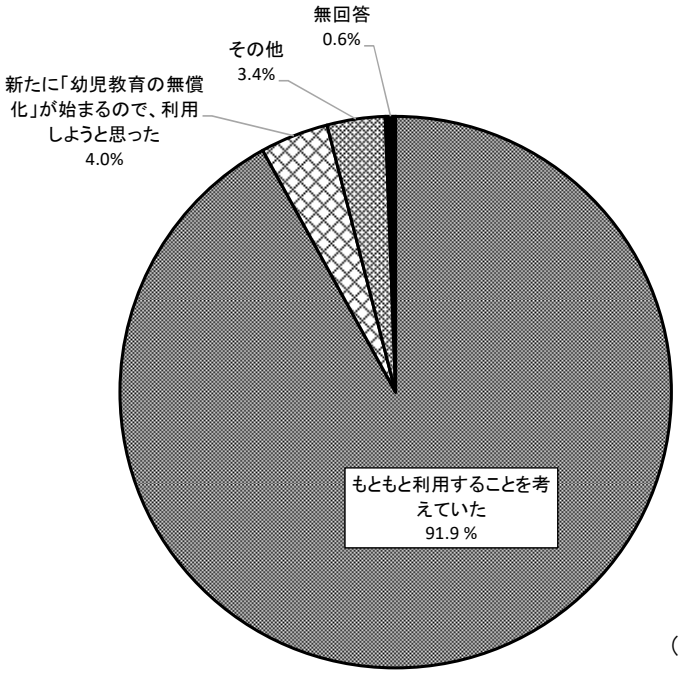
（19）で平日に定期的に教育・保育事業を「利用していない」と回答した人に、今後利用したい施設を尋ねたところ、「幼稚園（通常の就園時間の利用)」が 67.6%で最も高く、次いで「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの)」31.4%、「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ))」24.7%、「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)」20.4%となっている。



※事業所内保育施設に該当する施設
・キッズルーム・スマイル：小倉北区赤坂一丁目
・宇佐町さわやか保育園：小倉北区宇佐町二丁目
・うえっち保育園：小倉南区葛原本町一丁目
・なないろ保育園：小倉南区曽根北町
・キッズルーム・ハグ：小倉南区中曽根東二丁目
・ひかりと大地の保育園：若松区大字安屋
・さわやかくきのうみ保育園：若松区くきのうみ中央

(２７)　今後利用したいと思った理由（問 17-2）

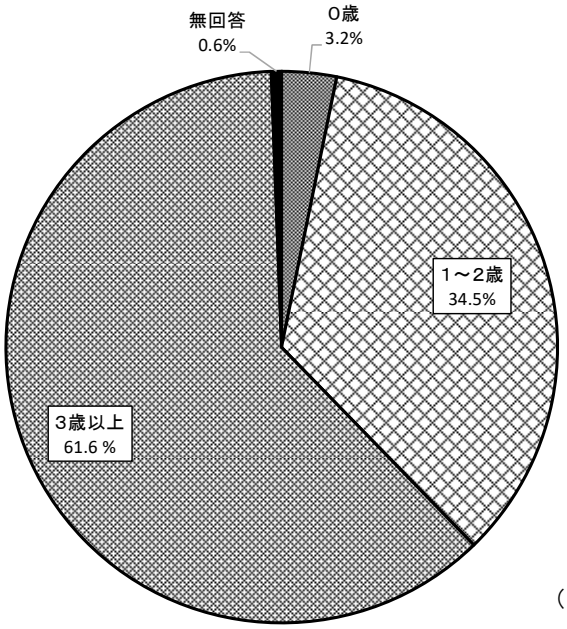
（26）で平日に定期的に利用したいと考える施設がある理由は、「もともと利用することを考えていた」が 91.9%で大多数である。



（N=495）

(２８)　定期的に施設を利用したいと思う子どもの年齢（問 17-3）

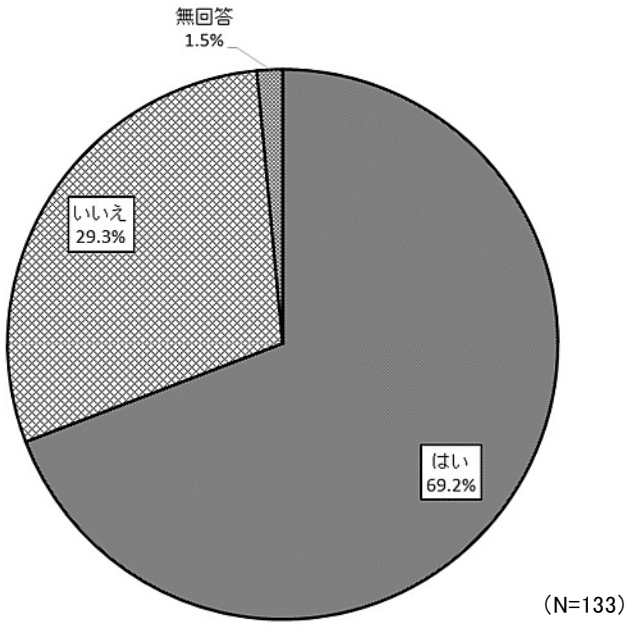
（26）で平日に定期的に利用したいと考える施設を利用したいと思う子どもの年齢は、「３歳以上」が 61.6%、「１～２歳」が 34.5%となっている。



（N=495）

(２９)　今後、幼稚園、幼稚園の預かり保育の利用を特に強く希望するか（問 17-4）

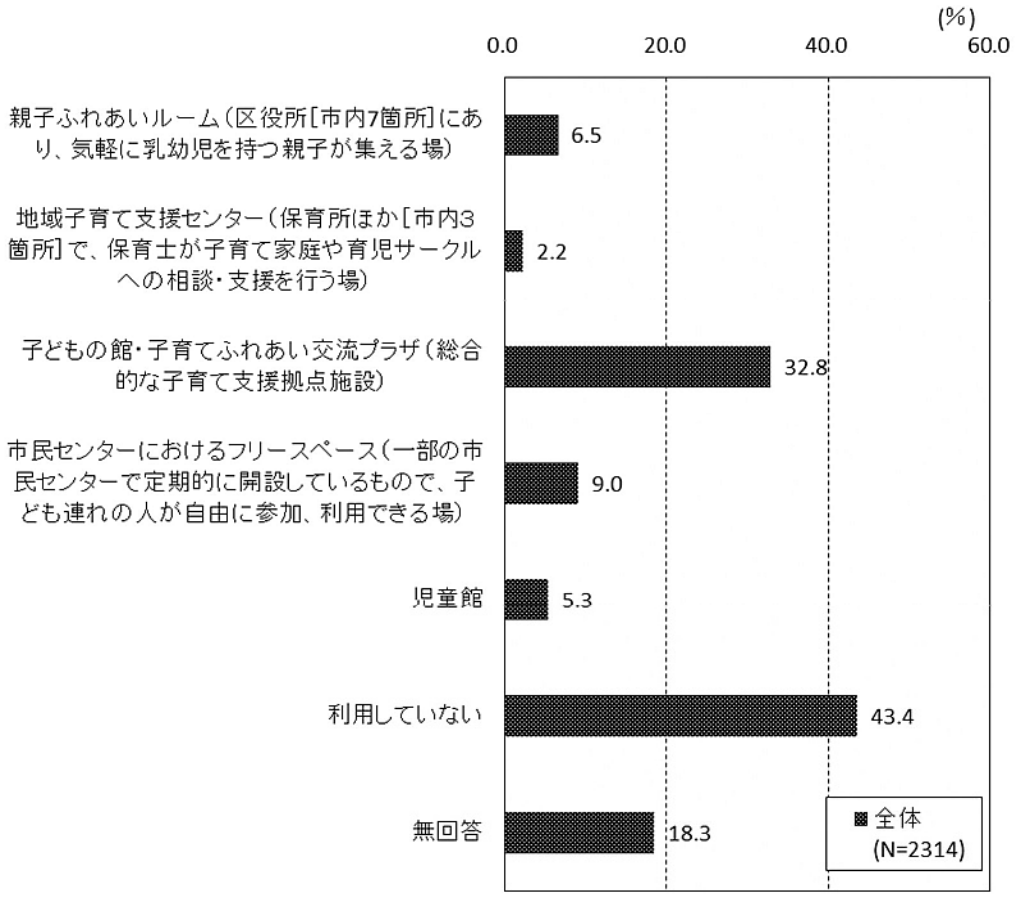
（26）で「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」と同時に他の施設を利用したいと回答した人に、今後「幼稚園（幼稚園の預かり保育も併用する場合も含む)」の利用を特に強く希望するかどうか尋ねたところ、「はい」が 69.2%、「いいえ」が 29.3%となっている。



5. 地域の子育て支援事業の利用状況

(３０) 地域の子育て支援事業の利用状況（問 18)【複数回答】

地域で行われる子育て支援事業の利用では、「利用していない」が 43.4%で最も高く、次いで「子どもの館・子育てふれあい交流プラザ（総合的な子育て支援拠点施設)」32.8%、「市民センターにおけるフリースペース（一部の市民センターで定期的に開設しているもので、子ども連れの人が自由に参加、利用できる場)」9.0%、「親子ふれあいルーム（区役所［市内 7 箇所］にあり、気軽に乳幼児を持つ親子が集える場)」6.5%となっている。



利用している子育て支援事業のおおよその利用回数（頻度）について、『週当たり』『月あたり』『年あたり』のいずれかで尋ねたところ、「親子ふれあいルーム」の利用頻度は「年１回」が 30 人で最も多く、次いで「年３回」が 23 人、「年２回」21 人、「月１回」20 人となっており、年単位での利用が中心となっている。

「地域子育て支援センター」の利用頻度は「月１回」が 16 人で最も多く、次いで「月２回」「年１回」が７人、「年２回」が６人となっている。

「子どもの館・子育てふれあい交流プラザ」は、『年あたり』での回答が多く、利用頻度としては「年２回」が 163 人で最も多く、次いで「年３回」が 160 人、「年１回」126 人、「月１回」84 人となっている。

「市民センターにおけるフリースペース」の利用頻度は「月１回」が 49 人で最も多く、次いで「月２回」35 人、「年２回」29 人、「年３回」が 20 人、「週１回」が 18 人となっている。

「児童館」の利用頻度は「月１回」「年１回」が 23 人で最も多く、次いで「年３回」19 人、「年２回」が 12 人、「週１回」が９人となっている。

【１週間あたりの利用回数】

（単位：人）	サンプル数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回
親子ふれあいルーム	151	2	3	1	0	1	0	0
地域子育て支援センター	52	3	1	0	0	0	1	0
子どもの館・子育てふれあい交流プラザ	759	2	0	1	0	0	0	0
市民センターにおけるフリースペース	209	18	2	1	0	0	0	0
児童館	123	9	0	0	1	0	0	0

【１ヶ月あたりの利用回数】

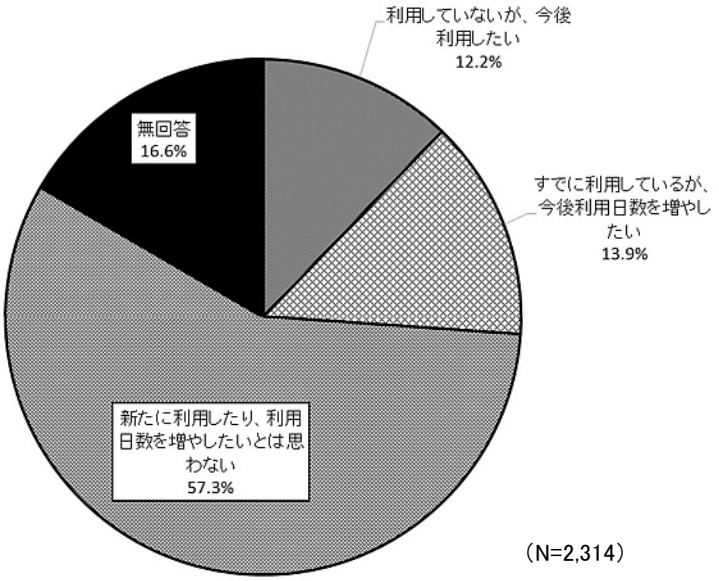
（単位：人）	サンプル数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回以上
親子ふれあいルーム	151	20	16	3	2	2	0	1
地域子育て支援センター	52	16	7	1	0	0	0	1
子どもの館・子育てふれあい交流プラザ	759	84	35	2	1	1	0	2
市民センターにおけるフリースペース	209	49	35	7	2	2	0	2
児童館	123	23	8	6	5	1	0	0

【１年あたりの利用回数】

（単位：人）	サンプル数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回以上
親子ふれあいルーム	151	30	21	23	5	6	9	4
地域子育て支援センター	52	7	6	2	0	3	1	2
子どもの館・子育てふれあい交流プラザ	759	126	163	160	58	59	34	25
市民センターにおけるフリースペース	209	17	29	20	7	3	6	4
児童館	123	23	12	19	6	6	0	2

(３１)　地域の子育て支援事業の今後の利用意向（問 19）

地域の子育て支援事業の今後の利用意向は、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 57.3%で最も高く、次いで「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」13.9%、「利用していないが、今後利用したい」12.2%となっている。



子育て支援事業の今後の利用回数（頻度）について、『週当たり』『月あたり』『年あたり』のいずれかで尋ねたところ、「現在は利用していないが、今後利用したい人」の利用頻度は「月１回程度」が 101 人で最も多く、次いで「月２回」が 41 人、「週１回」26 人となっている。

「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい人」の利用頻度は「月１回」が 102 人で最も多く、次いで「週１回」「月２回」がともに 39 人、「年３回」が 24 人となっている。

【１週間あたりの利用回数】

（単位：人）	サンプル数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回
現在は利用していないが、今後利用したい人	282	26	5	1	1	4	2	0
すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい人	322	39	7	3	2	2	0	0

【１ヶ月あたりの利用回数】

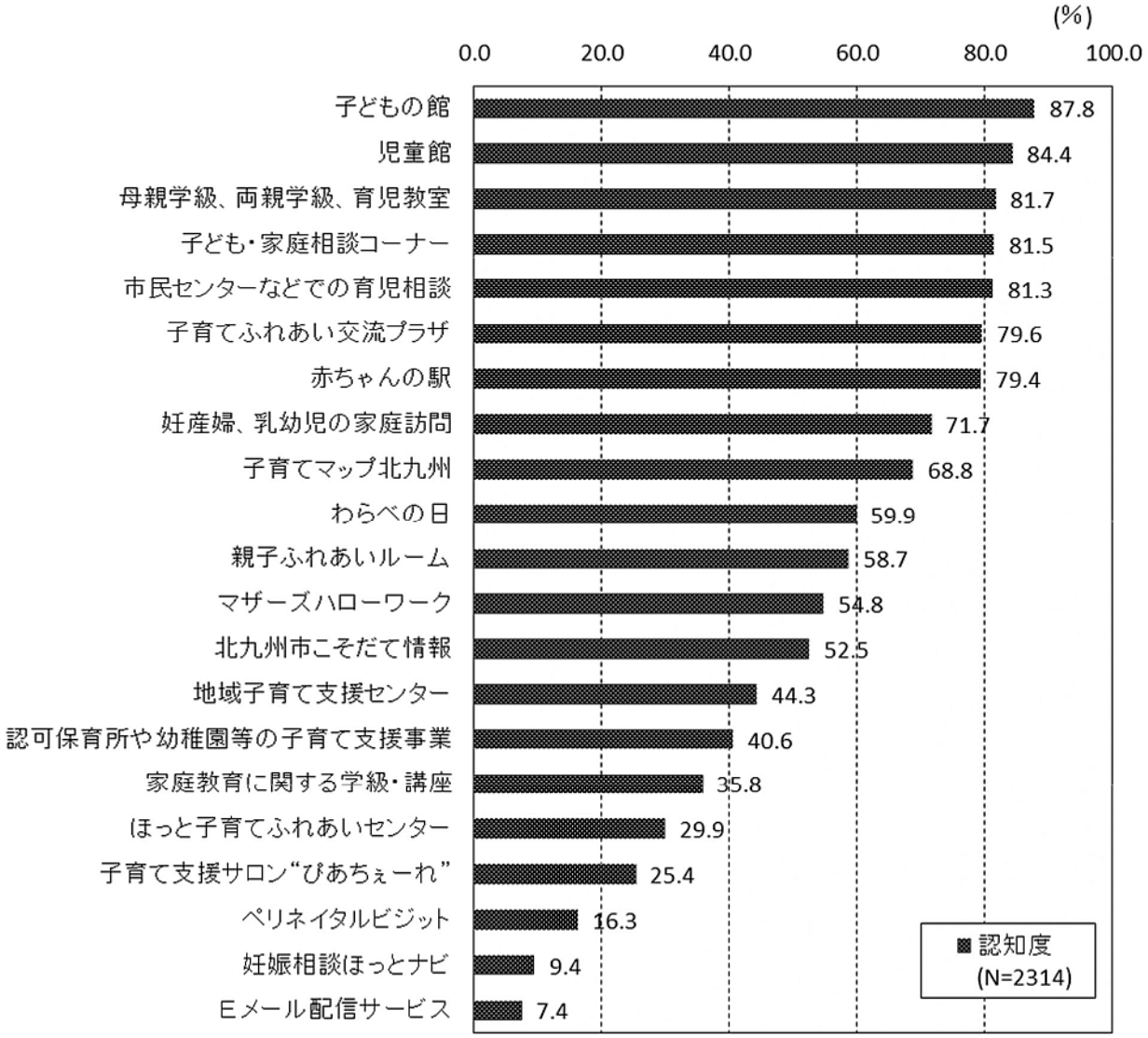
（単位：人）	サンプル数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回以上
現在は利用していないが、今後利用したい人	282	101	41	8	6	0	1	2
すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい人	322	102	39	12	12	5	1	1

【１年あたりの利用回数】

（単位：人）	サンプル数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回以上
現在は利用していないが、今後利用したい人	282	11	20	17	5	7	7	1
すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい人	322	1	16	24	7	20	12	13

（３２） 各種事業の認知度（問 20）

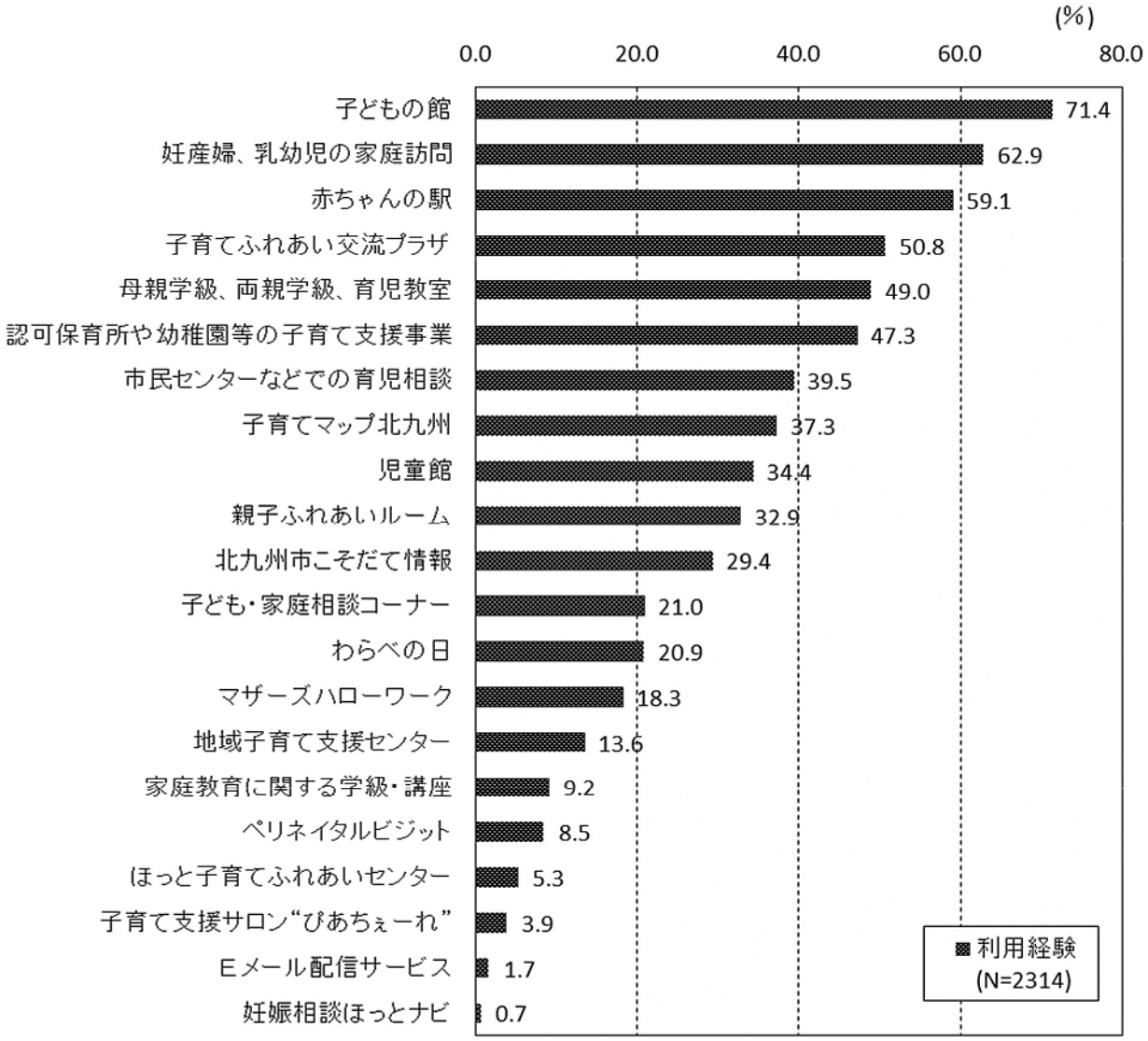
各種事業の認知度は、「子どもの館」が 87.8%で最も高く、次いで「児童館」84.4%、「母親学級、両親学級、育児教室」81.7%、「子ども・家庭相談コーナー」81.5%、「市民センターなどでの育児相談」81.3%、「子育てふれあい交流プラザ」79.6%、「赤ちゃんの駅」79.4%などとなっている。



※１　親子ふれあいルーム：区レベルでは区役所または近接した公共施設に、地域レベルでは９箇所の児童館（風師、中島、新政町、葛原、徳力、高須、楠橋、小嶺、夜宮）に設置している。
※２　地域子育て支援センター：市内３箇所にあり、主に保育所に併設されている。（小倉南区、若松区、八幡東区に各１箇所）
※３　北九州市こそだて情報：子育て支援に関する様々なサービス、制度、施策の情報を一冊にまとめた情報誌
※４　ほっと子育てふれあいセンター：地域で子育ての援助を行いたい者と、子育ての援助を受けたい者を会員とする相互援助組織。保育施設の開始前や終了後、急な残業などの際に子どもを預り、子育て家庭を支える事業（対象年齢：生後３ヶ月～小学６年生）。
※５　ペリネイタルビジット：産前・産後に、産婦人科からの紹介で小児科を訪問し、予防接種の受け方や育児の仕方など何でも相談できる事業。

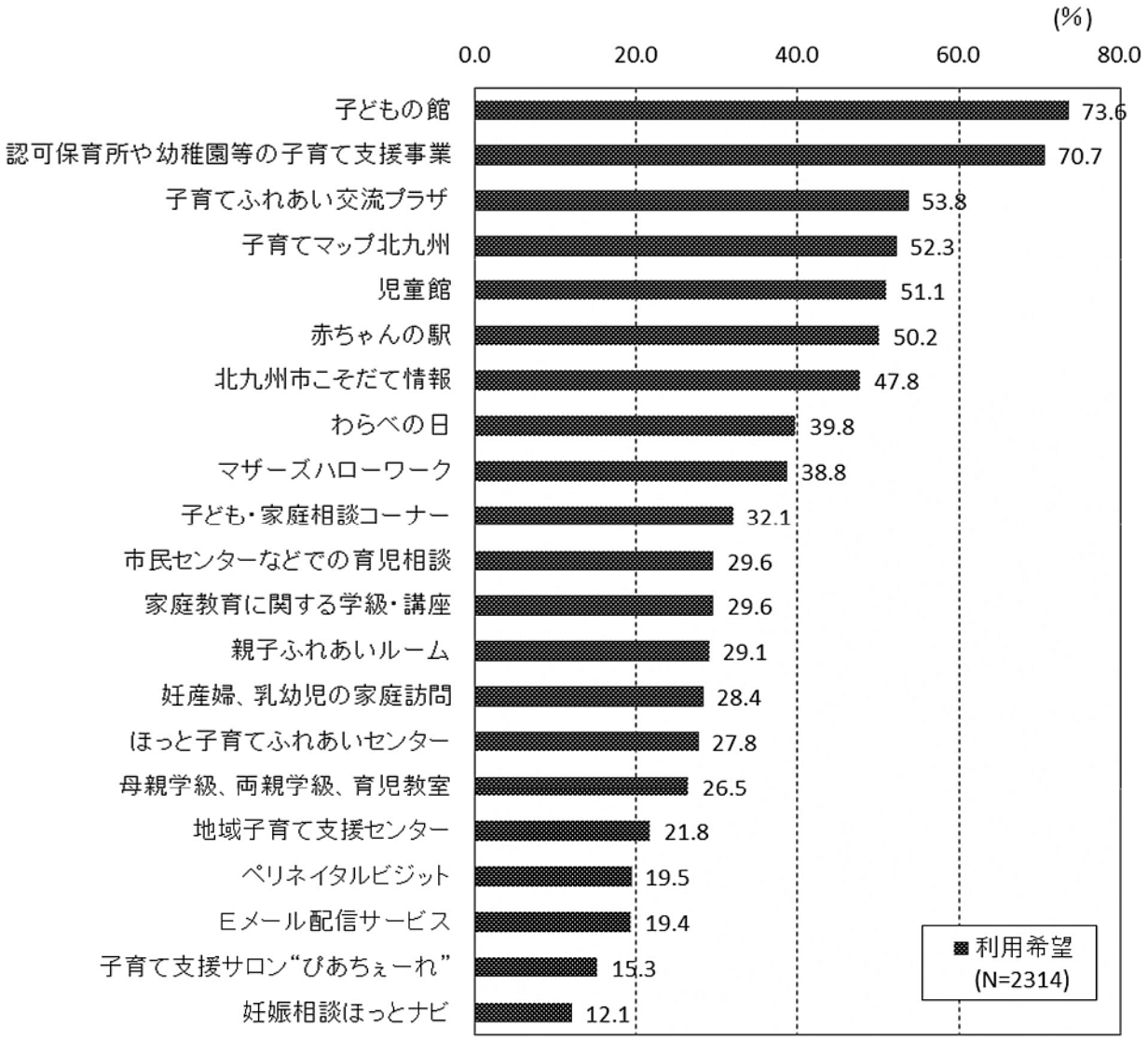
(３３)　各種事業の利用経験（問 20）

各種事業の利用経験は、「子どもの館」が 71.4%で最も高く、次いで「妊産婦、乳幼児の家庭訪問」62.9%、「赤ちゃんの駅」59.1%、「子育てふれあい交流プラザ」50.8%、「母親学級、両親学級、育児教室」49.0%、「認可保育所や幼稚園等の子育て支援事業」47.3%などとなっている。



(３４)　各種事業の今後の利用希望（問 20）

各種事業の今後の利用希望は、「子どもの館」が 73.6%で最も高く、次いで「認可保育所や幼稚園等の子育て支援事業」70.7%、「子育てふれあい交流プラザ」53.8%、「子育てマップ北九州（子育てに関する最新情報を提供するホームページ)」52.3%、「児童館」51.1%、「赤ちゃんの駅」50.2%などとなっている。



6. 土曜日・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育施設の利用希望

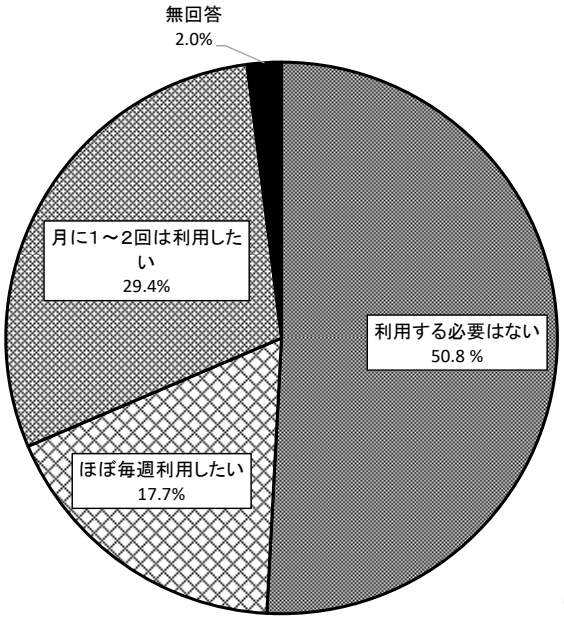
(３５)　土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育施設の利用希望（問 21）

①　土曜日の定期的な教育・保育施設の利用希望

土曜日の定期的な教育・保育施設の利用希望では、「利用する必要はない」が 50.8%、「月に１～２回は利用したい」29.4%、「ほぼ毎週利用したい」17.7%となっている。

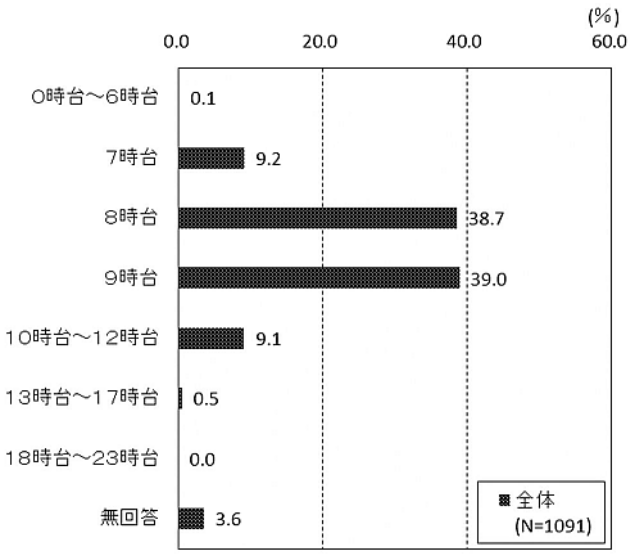
希望する利用開始時間は、「９時台」39.0%、「８時台」38.7%に回答が集中している。

希望する利用終了時間は、「１７時０１分～」が 32.9%で最も高く、次いで「１８時０１分～」22.2%、「１３時台～１６時」18.2%となっている。

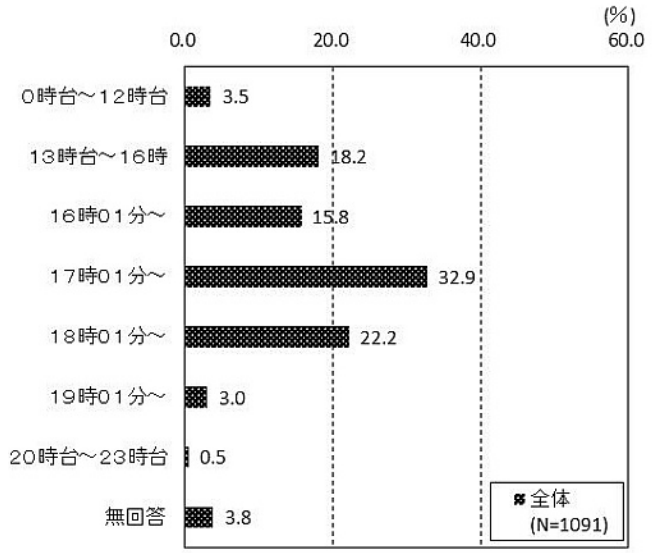


（N=2,314）

【希望する利用開始時間】



【希望する利用終了時間】

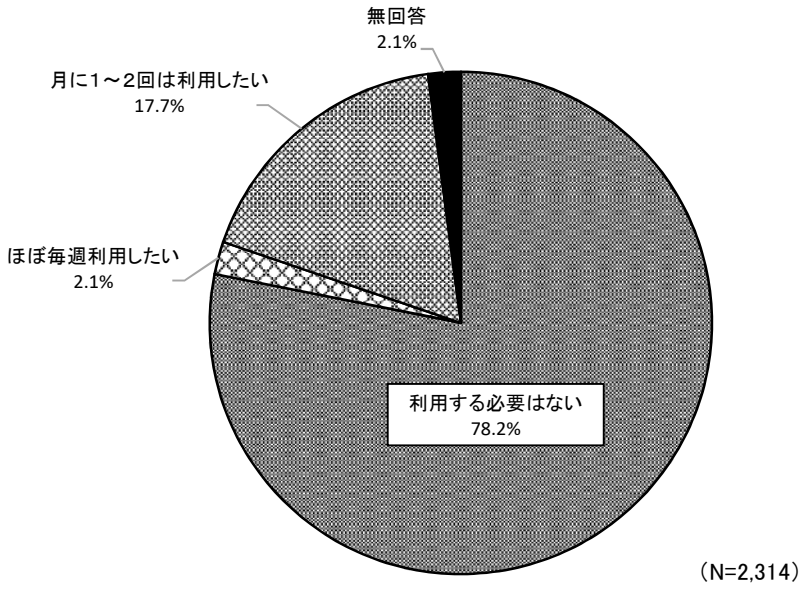


②　日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

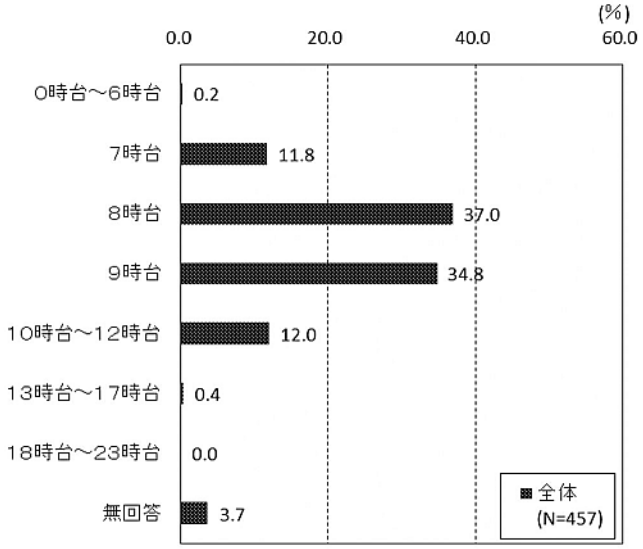
日曜日・祝日では、「利用する必要はない」が 78.2%、「月に１～２回は利用したい」17.7%、「ほぼ毎週利用したい」2.1%となっている。

希望する利用開始時間は、「８時台」が 37.0%、「９時台」が 34.8%と、土曜日同様、この時間帯に回答が集中している。

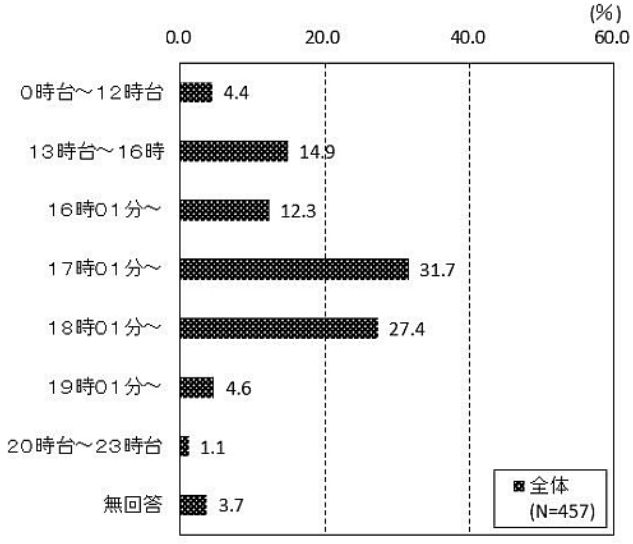
希望する利用終了時間は「１７時０１分～」が 31.7%で最も高く、次いで「１８時０１分～」27.4%、「１３時台～１６時」14.9%となっている。



【希望する利用開始時間】

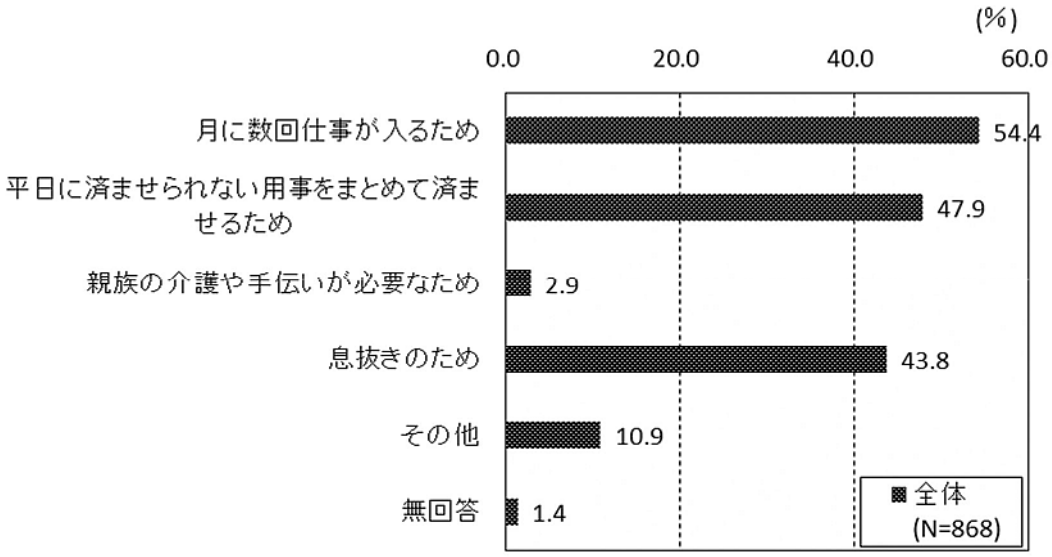


【希望する利用終了時間】



（３６） 土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業をたまに利用したい理由（問 21-1)【複数回答】

（35）で「月に１～２回は利用したい」と回答した人に、毎週ではなく、たまに利用したい理由を尋ねたところ、「月に数回仕事が入るため」が 54.4%で最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」47.9%、「息抜きのため」43.8%となっている。

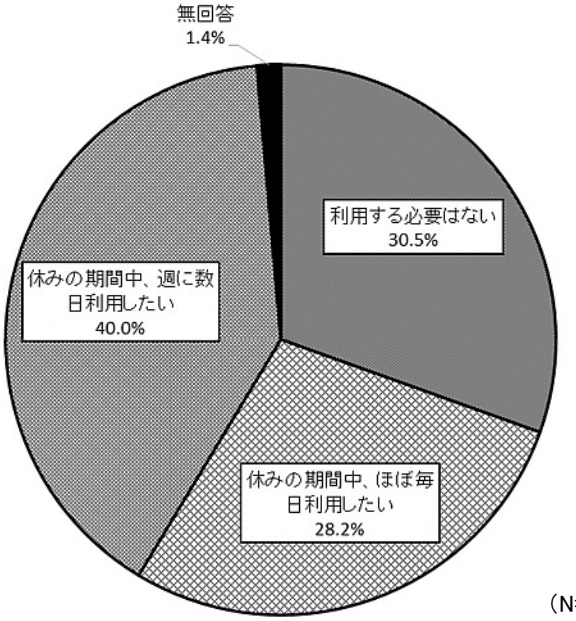


(３７)　幼稚園を利用している人の長期休暇期間中の定期的な教育・保育施設の利用希望（問 22-1）

４.（20）で「幼稚園」を利用している人に、夏休み・冬休みなど長期休暇期間中に教育・保育施設の利用を希望するか尋ねたところ、「休みの期間中、週に数日利用したい」が 40.0%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 28.2%、「利用する必要はない」が 30.5%である。

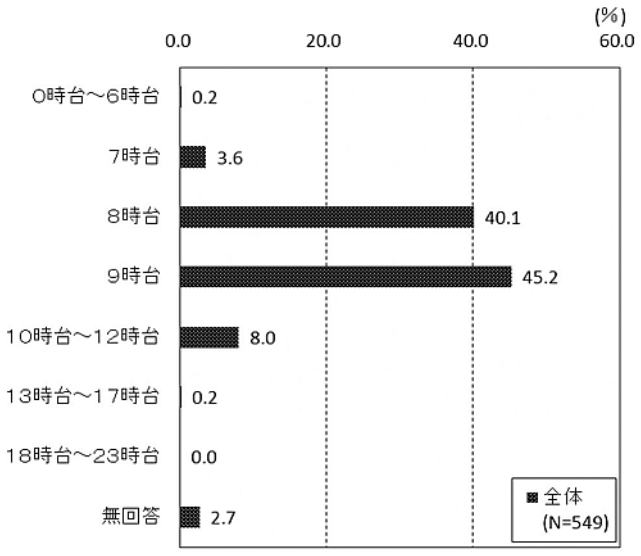
希望する利用開始時間は、「９時台」が 45.2%、「８時台」が 40.1%と、この時間帯に回答が集中している。

希望する利用終了時間は「１３時台～１６時」が 32.4%で最も高く、次いで「１７時０１分～」21.9%、「１８時０１分～」21.1%、「１６時０１分～」18.4%となっている。

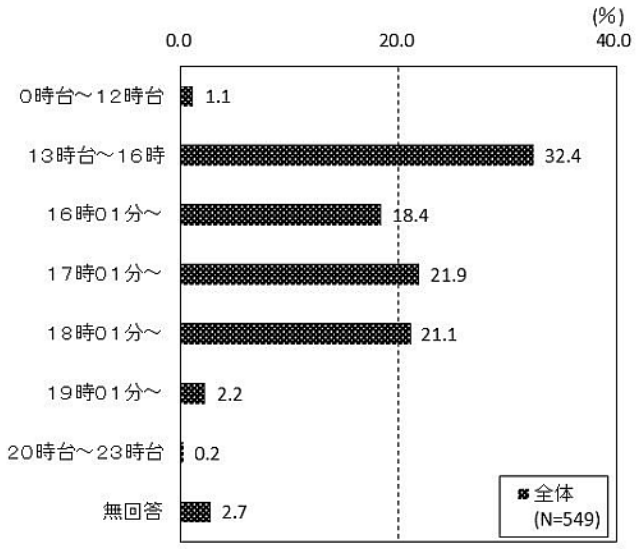


（N=806）

【希望する利用開始時間】

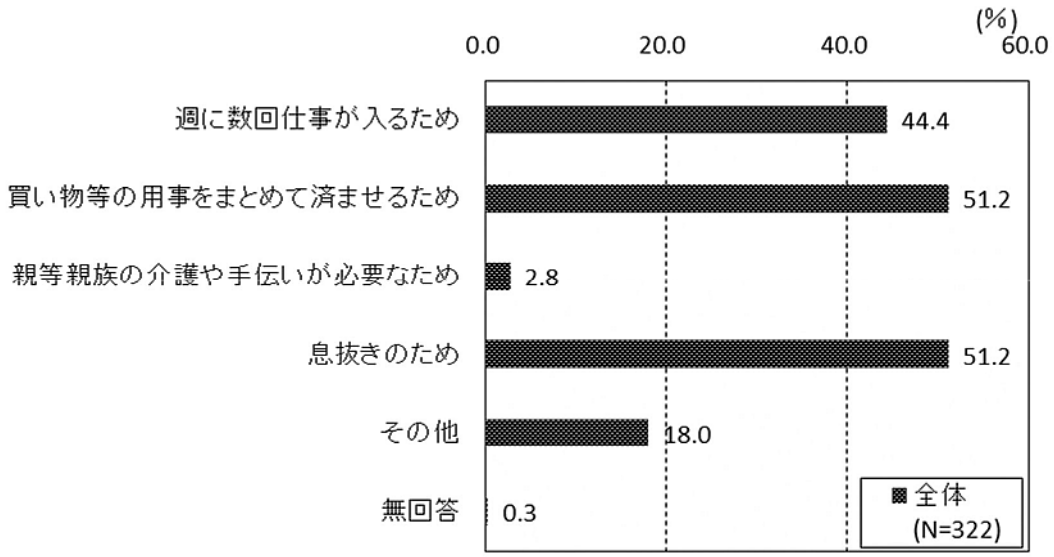


【希望する利用終了時間】



(３８)　長期休暇期間中に教育・保育事業をたまに利用したい理由（問 22-1）【複数回答】

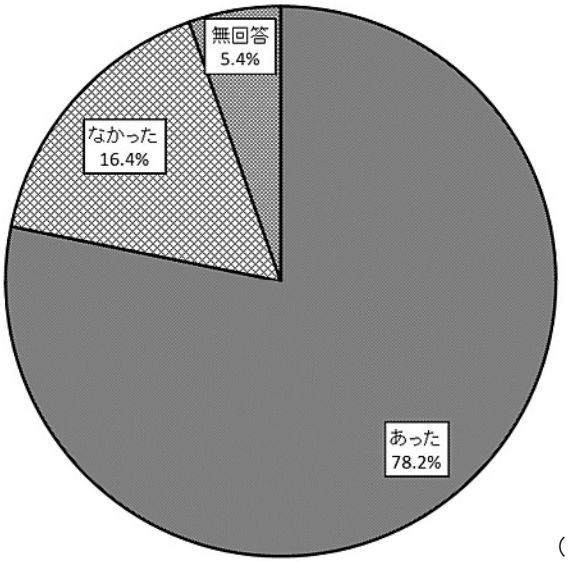
（37）で「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した人に、毎日ではなく、たまに利用したい理由を尋ねたところ、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」「息抜きのため」が同率 51.2%となっており、「週に数回仕事が入るため」が 44.4%となっている。



7. 子どもが病気の際の対応（平日の教育・保育を利用する人のみ）

(３９) 子どもの病気やケガで施設を利用できなかった経験の有無（問 23）

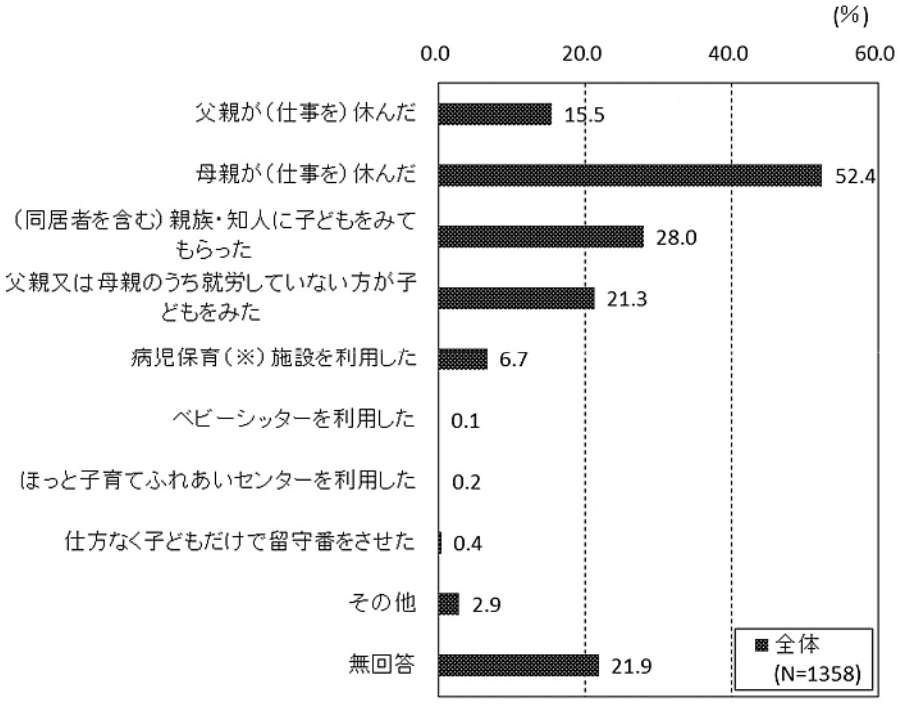
４.（19）で平日の定期的な教育・保育施設を「利用している」人で、この１年間に子どもが病気やケガのため利用できなかったことが「あった」が 78.2%、「なかった」が 16.4%となっている。



（N=1,736）

(４０) 子どもの病気やケガで平日の定期的な教育・保育施設の利用できなかった場合の対処方法（問 23-1）

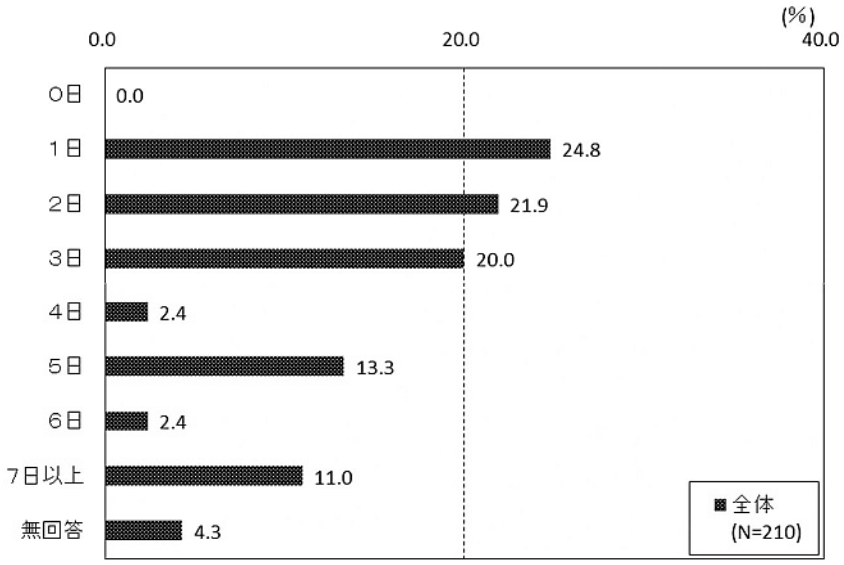
子どもの病気やケガで教育・保育施設が利用できなかった場合の対処方法は、「母親が（仕事を）休んだ」が 52.4%で最も高く、次いで「(同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」28.0%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」21.3%となっている。



※病児保育とは、保護者の仕事などの都合により、家庭での保育が困難な病気中の子どもおよび病気回復期にある子どもを一時的に預かるもの（重篤な病気の場合は、対応できません）

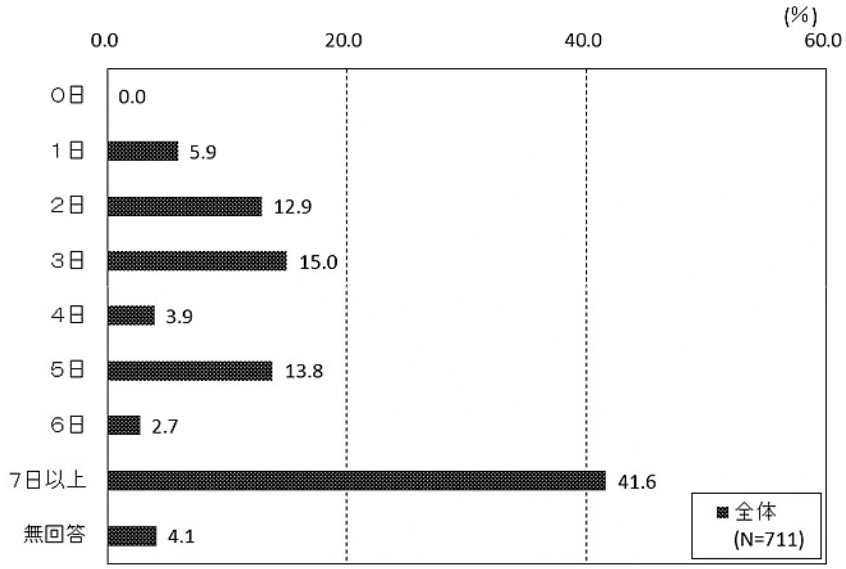
① 父親が休んだ日数

「父親が（仕事を）休んだ」日数は、「１日」が 24.8%で最も高く、次いで「２日」21.9%、「３日」20.0%となっている。



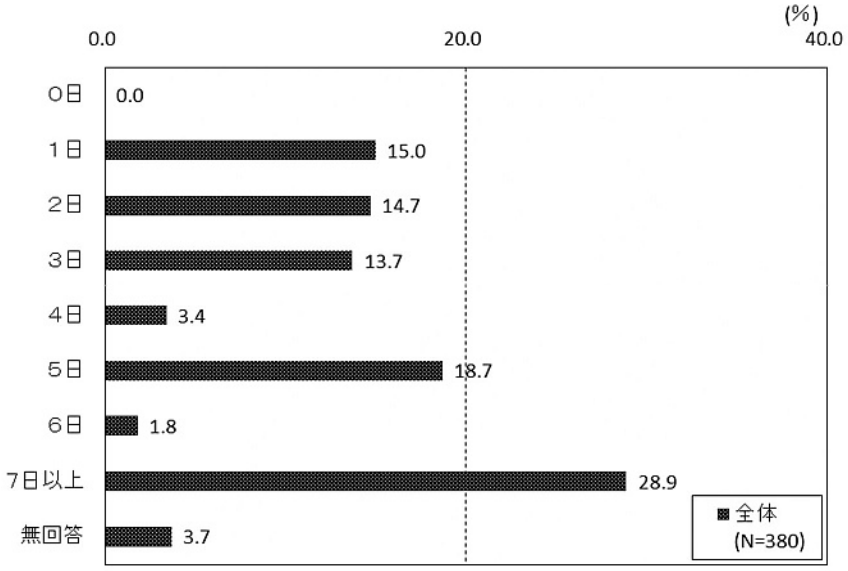
② 母親が休んだ日数

「母親が（仕事を）休んだ」日数は、「７日以上」が 41.6%で最も高く、次いで「３日」15.0%、「５日」13.8%、「２日」12.9%となっている。



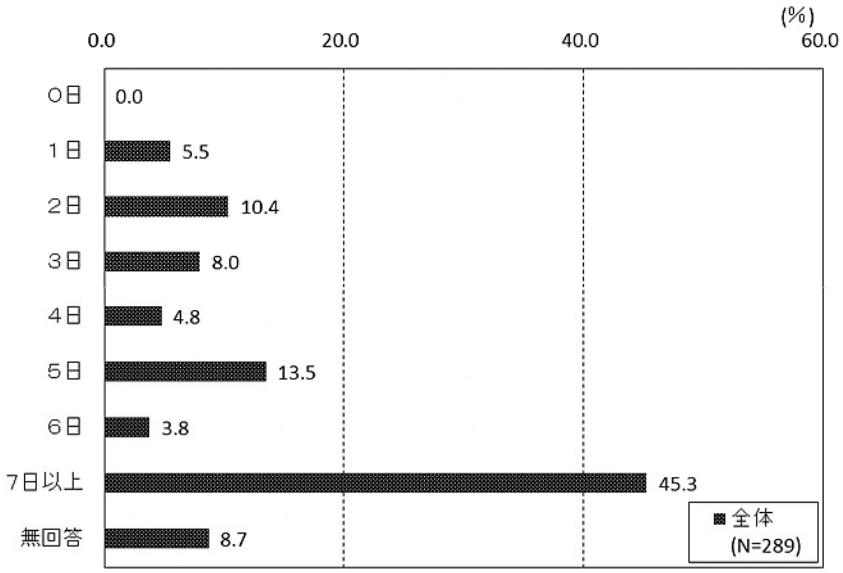
③　（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった日数

「(同居人を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」日数は、「７日以上」28.9%、「５日」18.7%、「１日」15.0%、「２日」14.7%、「３日」13.7%となっている。



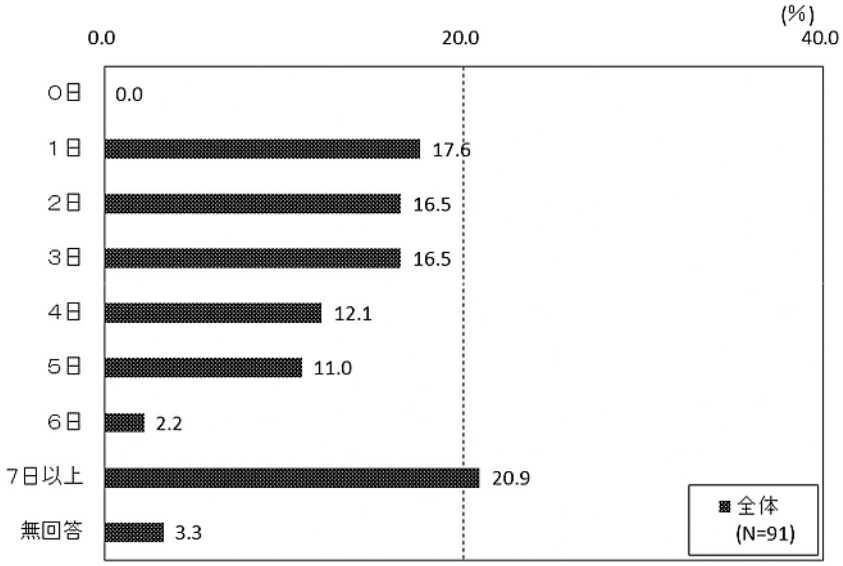
④　父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた日数

「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」日数は、「７日以上」45.3%、「５日」13.5%、「２日」10.4%となっている。



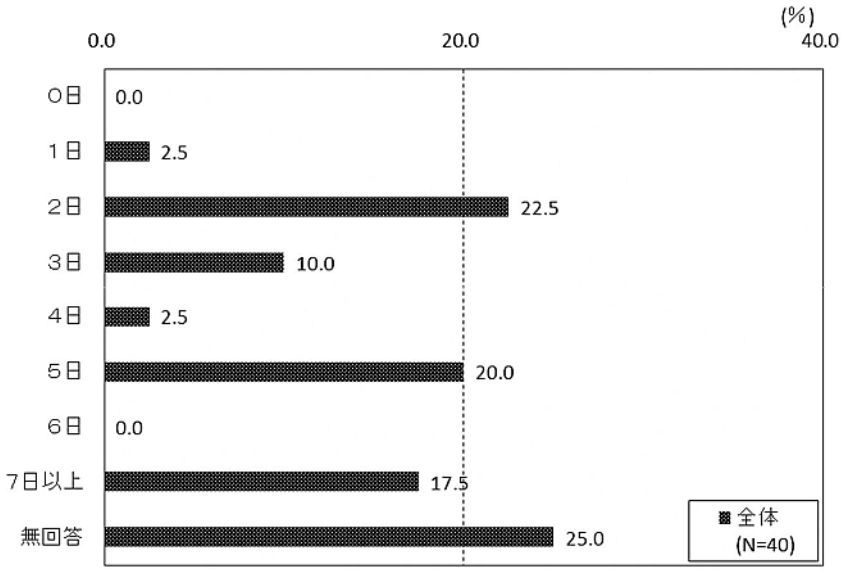
⑤　病児保育施設を利用した日数

「病児保育施設を利用した」日数は、「７日以上」20.9%、「１日」17.6%、「２日」「３日」が同率 16.5%となっている。



⑥　その他の日数

「その他」の日数は、「２日」22.5%、「５日」20.0%、「７日以上」17.5%となっている。

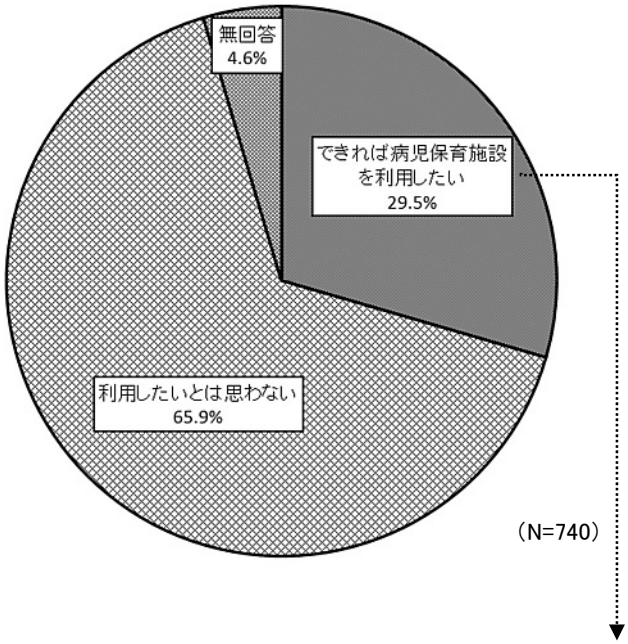


(注)「ベビーシッターを利用した」「ほっと子育てふれあいセンターを利用した」「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」は、回答数が９件以下のため、図表は表記していない。

(４１)　病児保育施設の利用希望と利用希望日数（問 23-2）

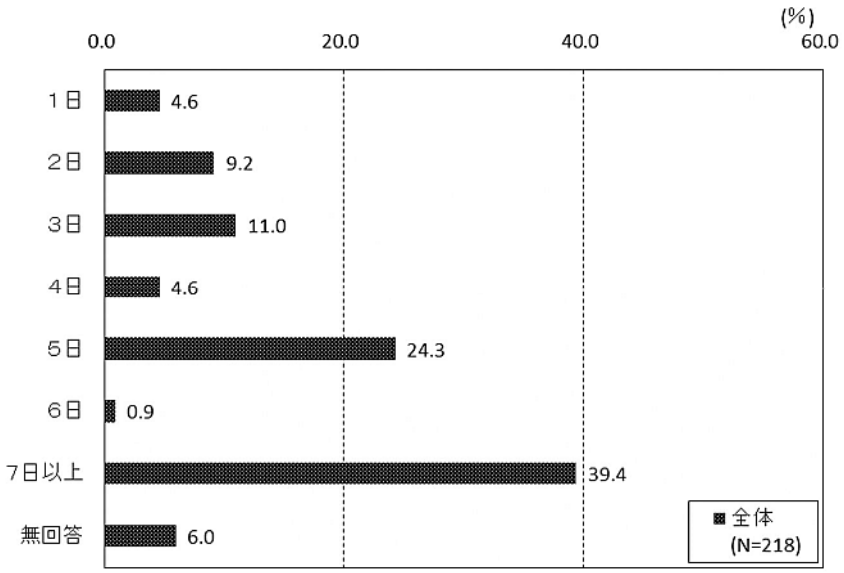
【利用希望】

（40）で「父親が（仕事を）休んだ」、「母親が（仕事を）休んだ」と回答した人に、病児保育施設を利用したいと思うか尋ねたところ、「できれば病児保育施設を利用したい」が 29.5%、「利用したいとは思わない」が 65.9%である。



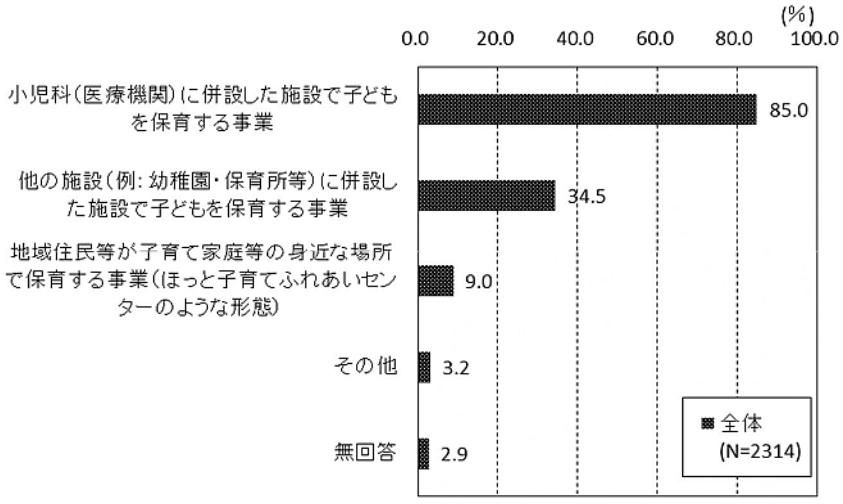
【利用希望日数】

病児保育施設を利用したい日数は、「７日以上」が 39.4%で最も高く、次いで「５日」24.3%となっている。



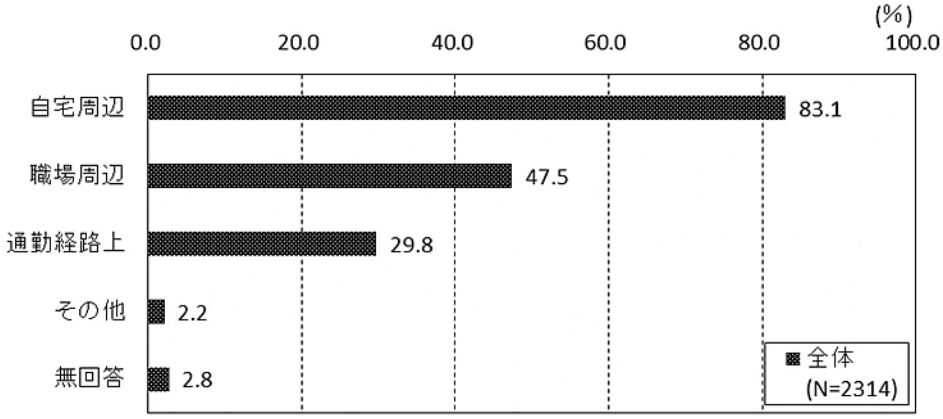
(４２)　病気等の子どもを預ける場合、希望する事業形態（問 23-3)【複数回答】

病気等の子どもの預け先として望ましい事業形態は、「小児科（医療機関）に併設した施設で子どもを保育する事業」が 85.0%で最も高く、次いで「他の施設（例：幼稚園、保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」34.5%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（ほっと子育てふれあいセンターのような形態)」9.0%となっている。



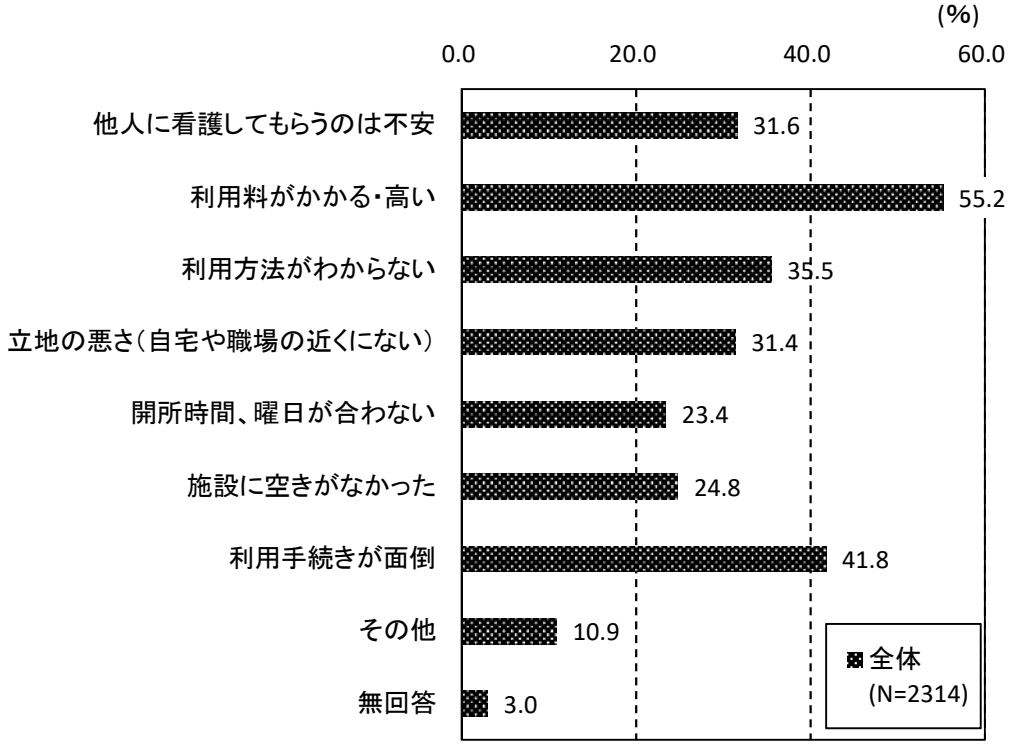
(４３)　病児保育施設を利用しやすい地域（問 23-4)【複数回答】

市内のどの地域に病児保育施設があると利用しやすいかについては、「自宅周辺」が 83.1%で最も高く、次いで「職場周辺」47.5%、「通勤経路上」29.8%となっている。



(４４)　病児保育施設を利用する際の障害（問 23-5）【複数回答】

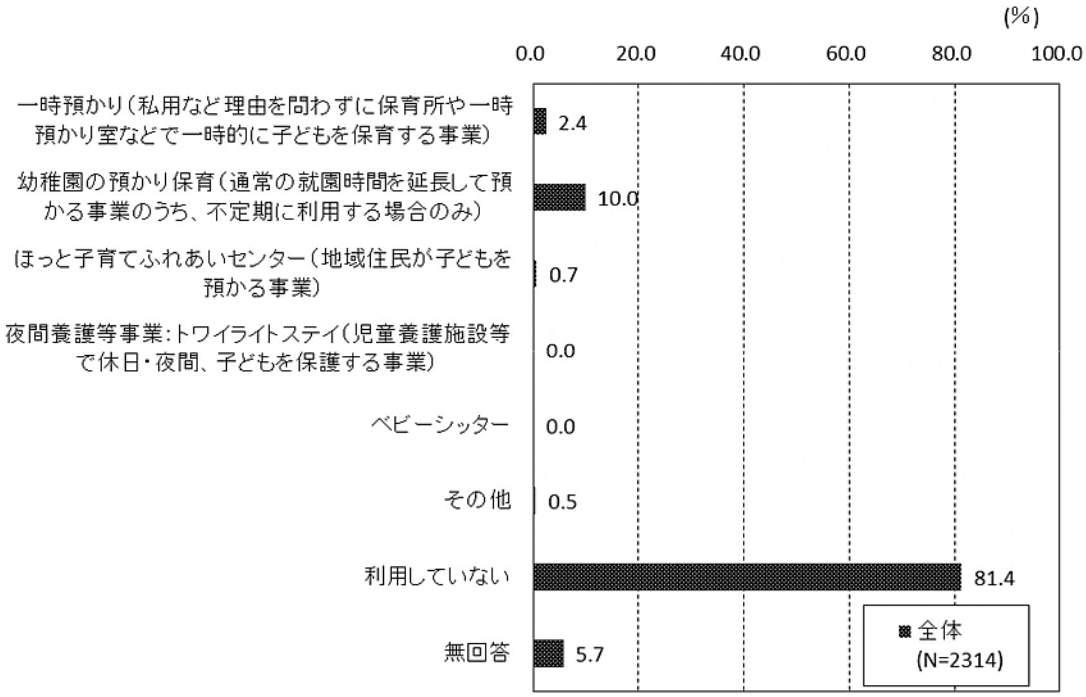
病児保育施設を利用する際の障害を尋ねたところ、「利用料がかかる・高い」が 55.2%で最も高く、次いで「利用手続きが面倒」41.8%、「利用方法がわからない」35.5%、「他人に看護してもらうのは不安」31.6%、「立地の悪さ（自宅や職場の近くにない)」31.4%となっている。



8. 不定期な教育・保育事業の利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用

(４５)　不定期に利用している子育て支援事業（問 24)【複数回答】

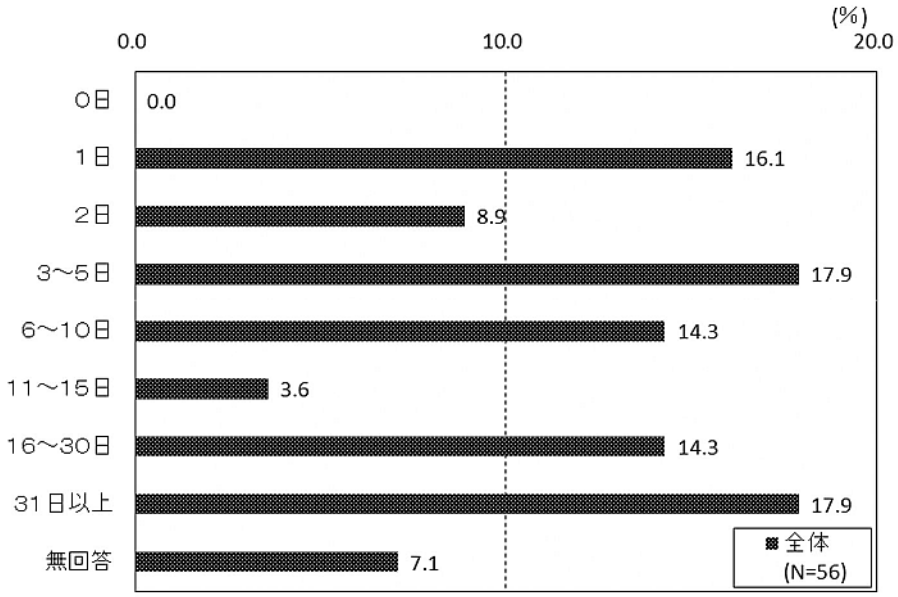
私用、親の通院、不定期の就労等による不定期の教育・保育事業等の利用状況は、「利用していない」が 81.4%を占め、「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、不定期に利用する場合のみ)」10.0%、「一時預かり（私用など理由を問わずに保育所や一時預かり室などで一時的に子どもを保育する事業)」2.4%となっている。



※「ベビーシッター」は、回答数が１件（0.04%）である。

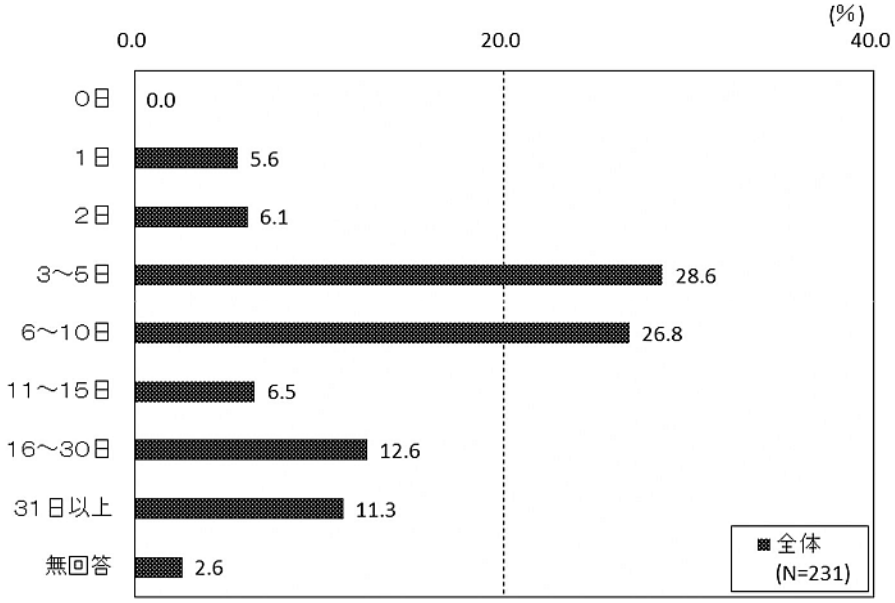
①　一時預かり

１年間の利用日数は、「３～５日」「３１日以上」が同率 17.9%で、次いで「１日」16.1%、「６～１０日」「１６～３０日」が同率 14.3%となっている。



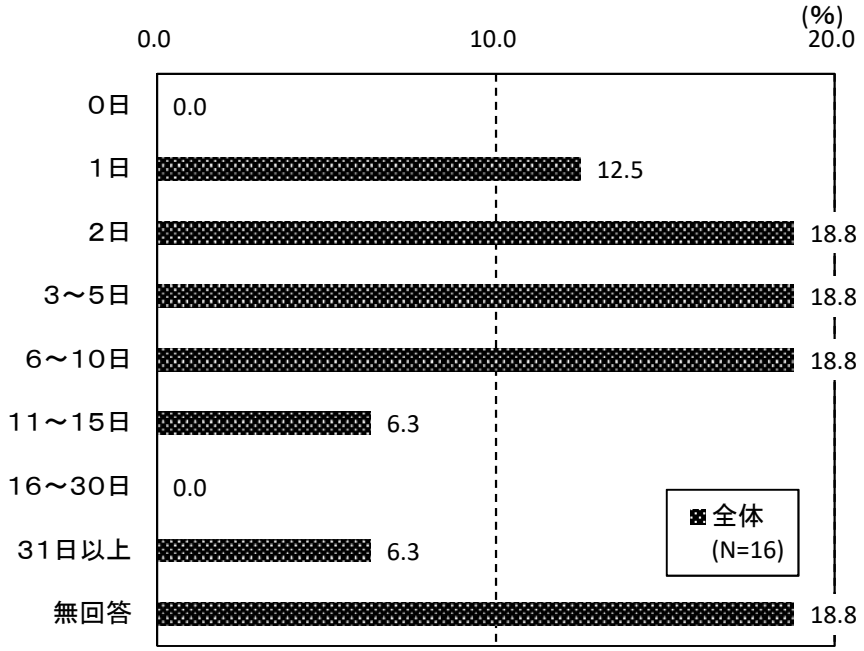
② 幼稚園の預かり保育

１年間の利用日数は、「３～５日」が 28.6%で最も高く、次いで「６～１０日」26.8%、「１６～３０日」12.6%、「３１日以上」が 11.3%となっている。



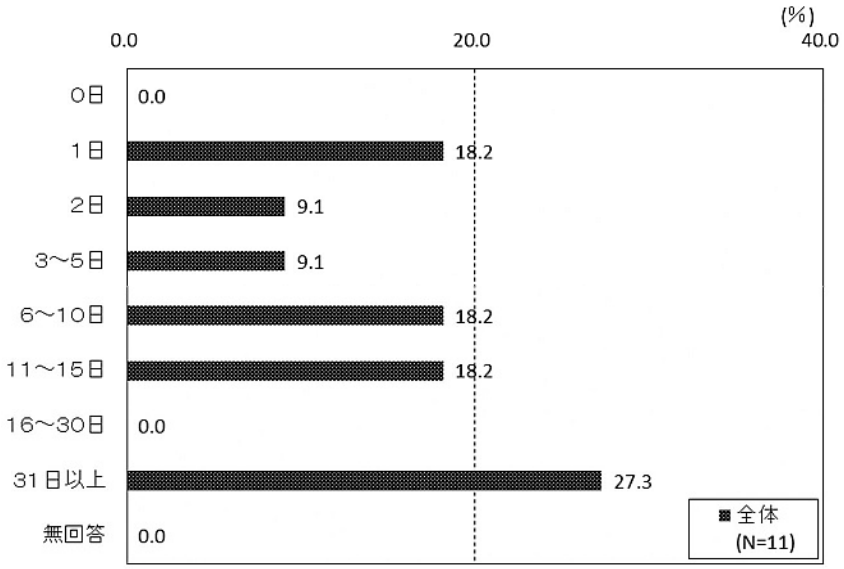
③ ほっと子育てふれあいセンター

１年間の利用日数は、「２日」「３～５日」「６～１０日」が同率 18.8%となっている。



④ その他

１年間の利用日数は、「３１日以上」が 27.3%で最も高い。

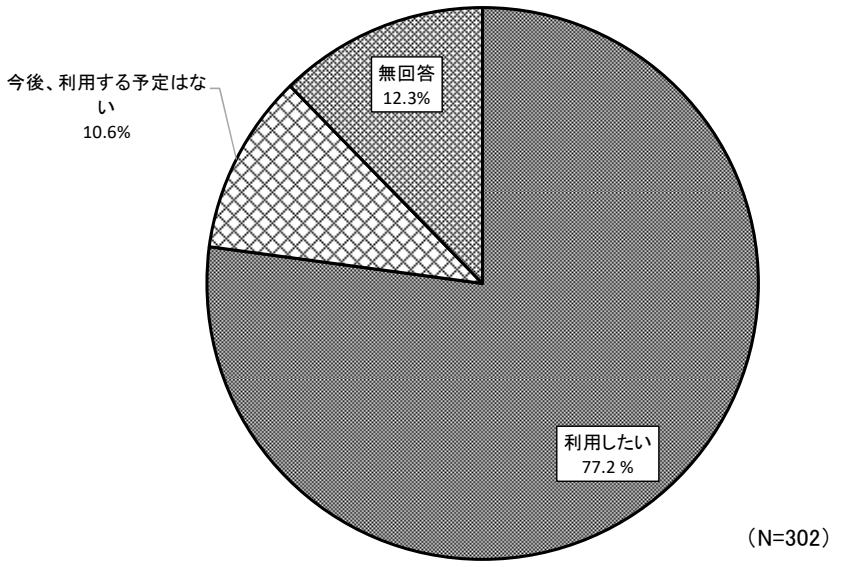


（注 1）「夜間養護等事業：トワイライトステイを利用している」は、回答数が０件のため、図表は表記していない。
（注 2）「ベビーシッターを利用している」は、回答数が１件のため、図表は表記していない。

(４６)　不定期の教育・保育等の利用希望（問 24-1）

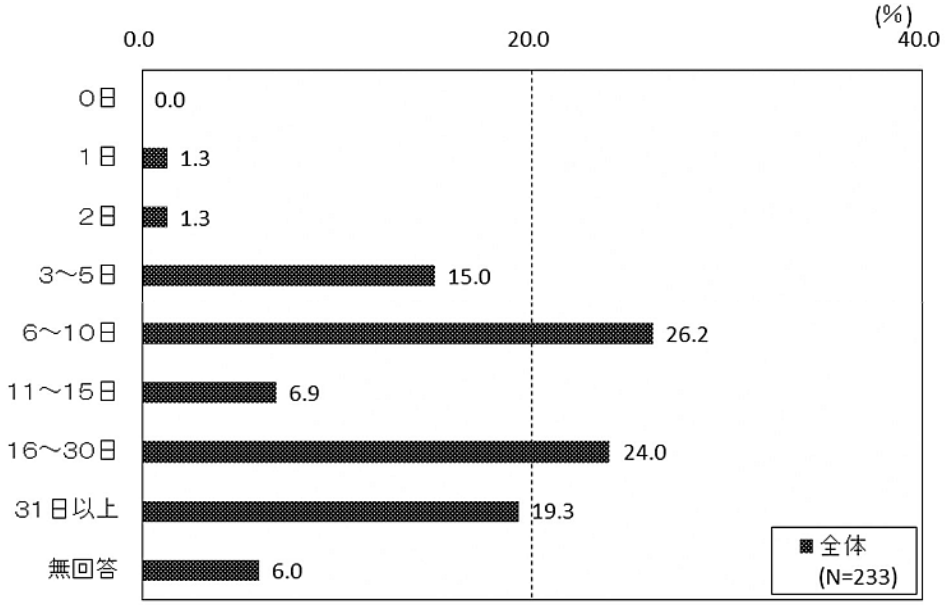
【利用希望】

私用、親の通院、不定期の就労等による不定期の教育・保育事業等を利用したことがある人の今後の利用希望は、「利用したい」が 77.2%で、「今後、利用する予定はない」が 10.6%である。



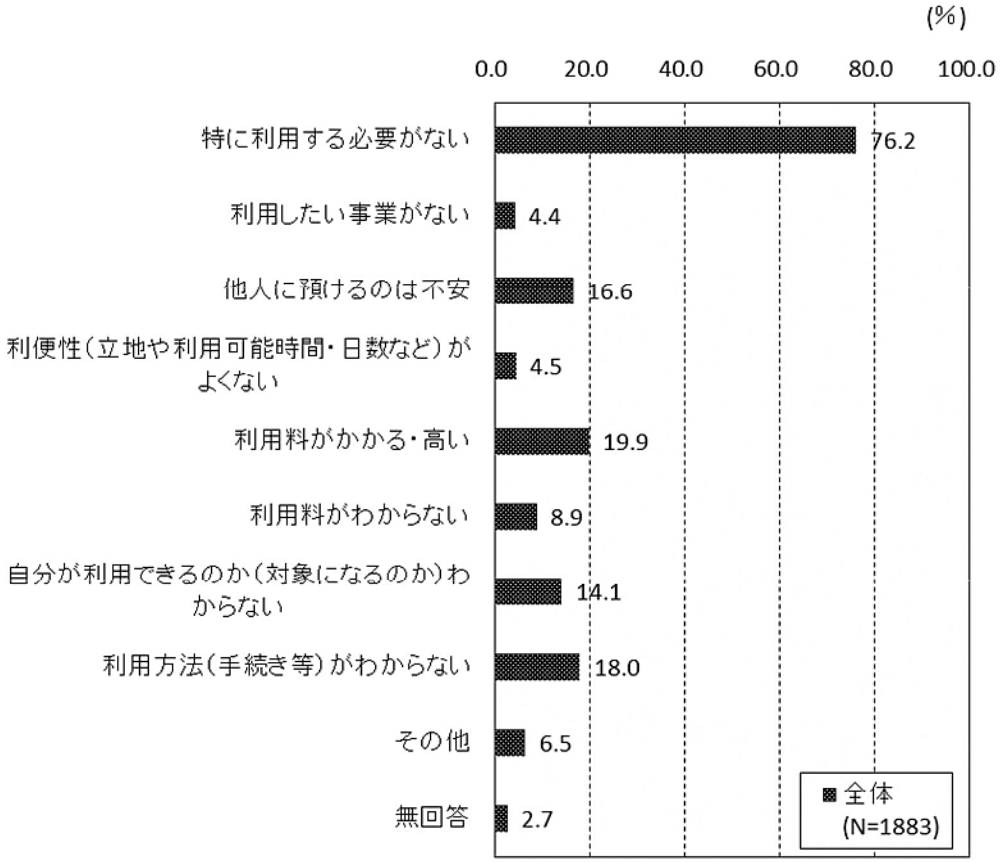
【利用希望日数】（利用している場合は、これまでの利用日数と今後の利用日数の合計を回答）

希望する１年間の利用日数は、「６～１０日」が 26.2%で最も高く、次いで「１６～３０日」24.0%、「３１日以上」19.3%、「３～５日」15.0%となっている。



(４７)　不定期の教育・保育等を利用していない理由（問 24-2）【複数回答】

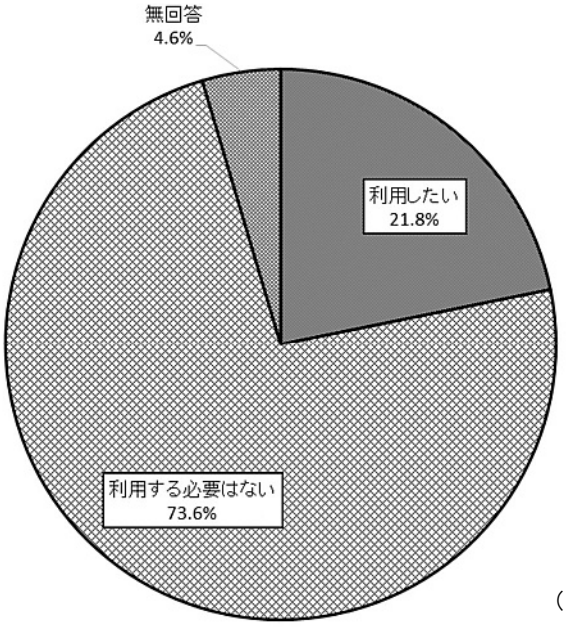
（45）で「利用していない」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「特に利用する必要がない」が 76.2%で最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」19.9%、「利用方法（手続き等）がわからない」18.0%、「他人に預けるのは不安」16.6%、「自分が利用できるのか（対象になるのか）わからない」14.1%となっている。



(４８)　現在、不定期の教育・保育等を利用していない人の利用希望（問 24-3）

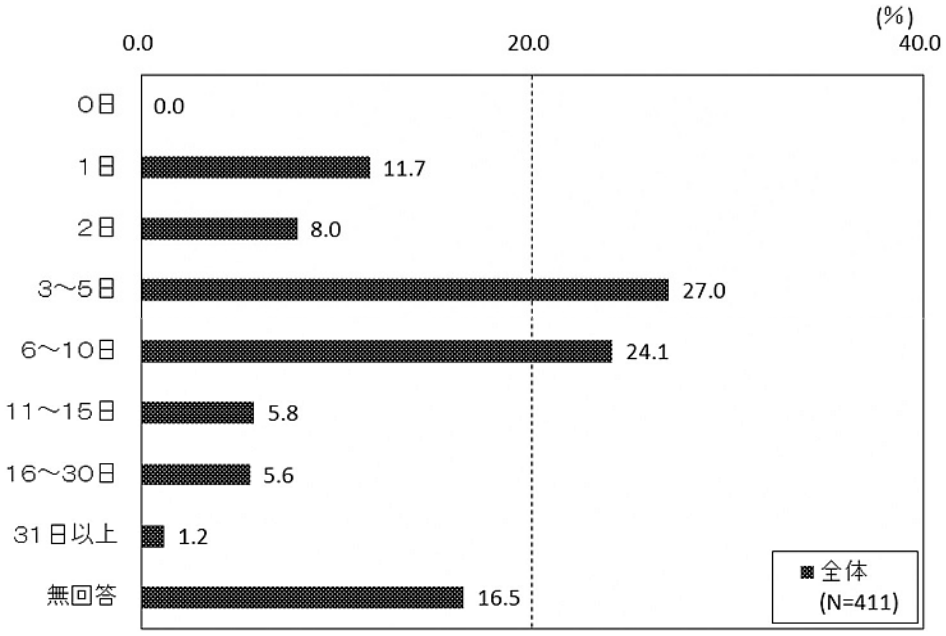
【利用希望】

（45）で「利用していない」と回答した人の今後の利用希望は、「利用したい」が 21.8%、「今後、利用する予定はない」が 73.6%である。



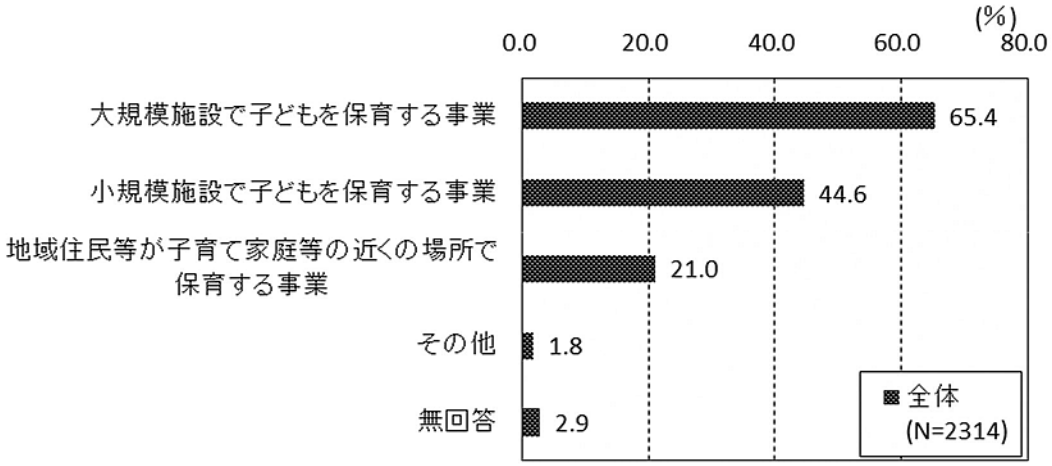
【利用希望日数】

希望する１年間の利用日数は、「３～５日」が 27.0%で最も高く、「６～１０日」24.1%、「１日」11.7%となっている。



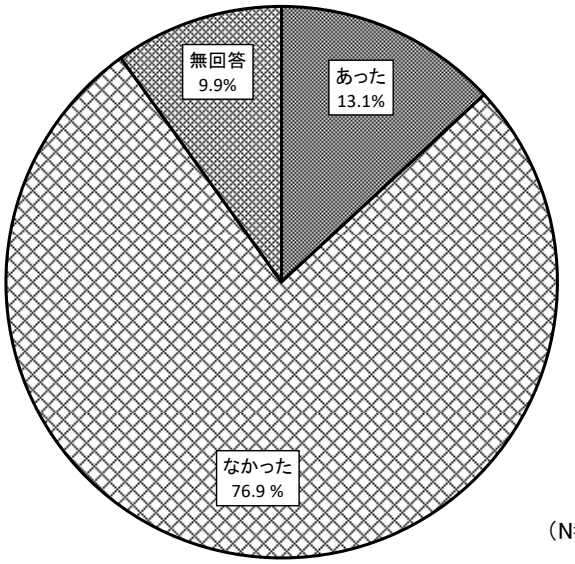
(４９)　不定期の教育・保育事業等を利用する場合の希望する事業形態（問 25）【複数回答】

私用、親の通院、不定期の就労等による不定期の教育・保育事業等として望ましい事業形態は、「大規模施設で子どもを保育する事業」が 65.4%で最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」44.6%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」21.0%となっている。



(５０)　子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった日の有無と日数（問 26）

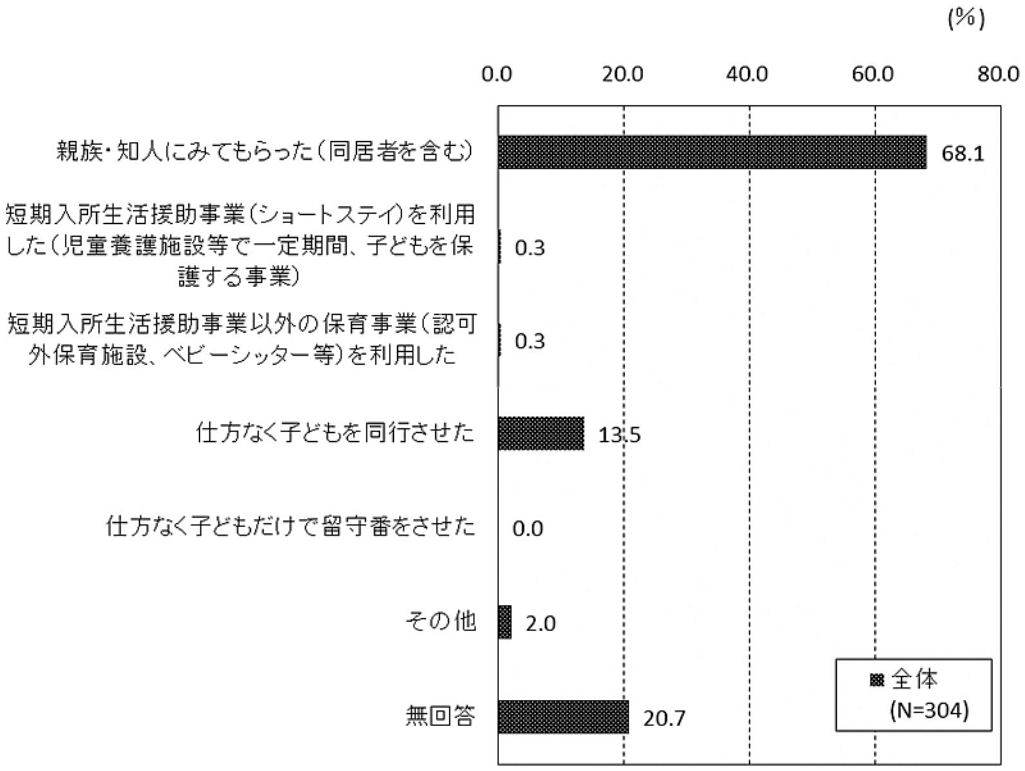
この１年間に、保護者の用事（冠婚葬祭・保護者・家族の病気など）によって、家族以外の人に子どもを泊りがけでみてもらわなければならなかった日が「あった」は 13.1%、「なかった」は 76.9%である。



（N=2,314）

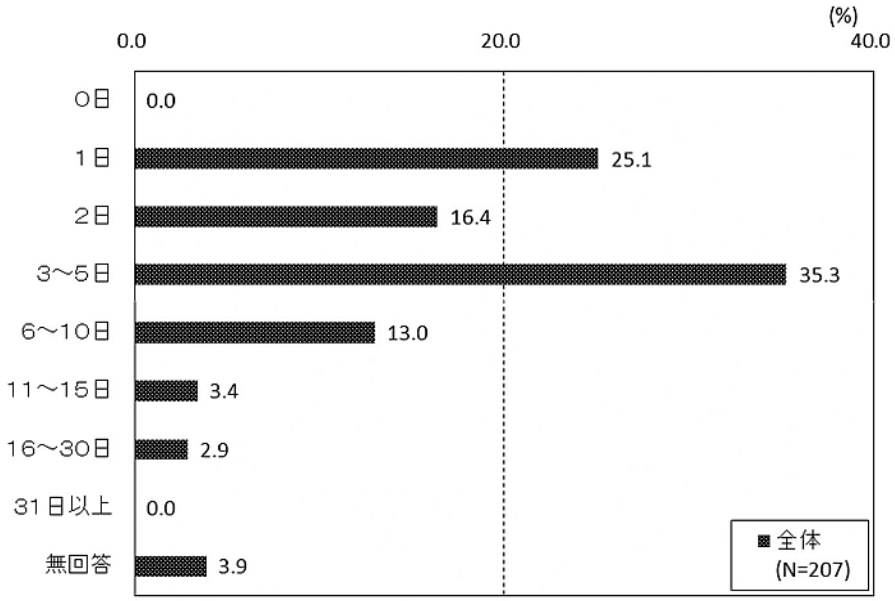
【対処法】【複数回答】

この１年間に、保護者の用事（冠婚葬祭・保護者・家族の病気など）によって、家族以外の人に子どもを泊りがけでみてもらわなければならなかった日が「あった」と回答した人に、その対処方法を尋ねたところ、「親族・知人にみてもらった（同居者を含む)」68.1%に回答が集中しており、「仕方なく子どもを同行させた」が 13.5%である。



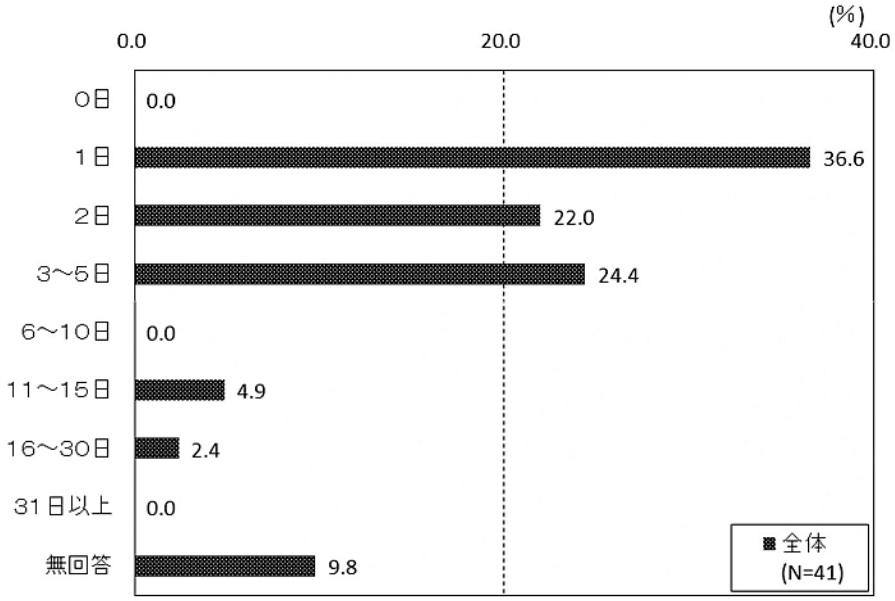
① 親族・知人にみてもらった日数

親族・知人にみてもらった（同居者を含む）日数は、「３～５日」が 35.3%で最も高く、次いで「１日」25.1%、「２日」16.4%、「６～１０日」13.0%となっている。



② 仕方なく子どもを同行させた

仕方なく子どもを同行させた日数は、「１日」が 36.6%で最も高く、次いで「３～５日」24.4%、「２日」22.0%となっている。

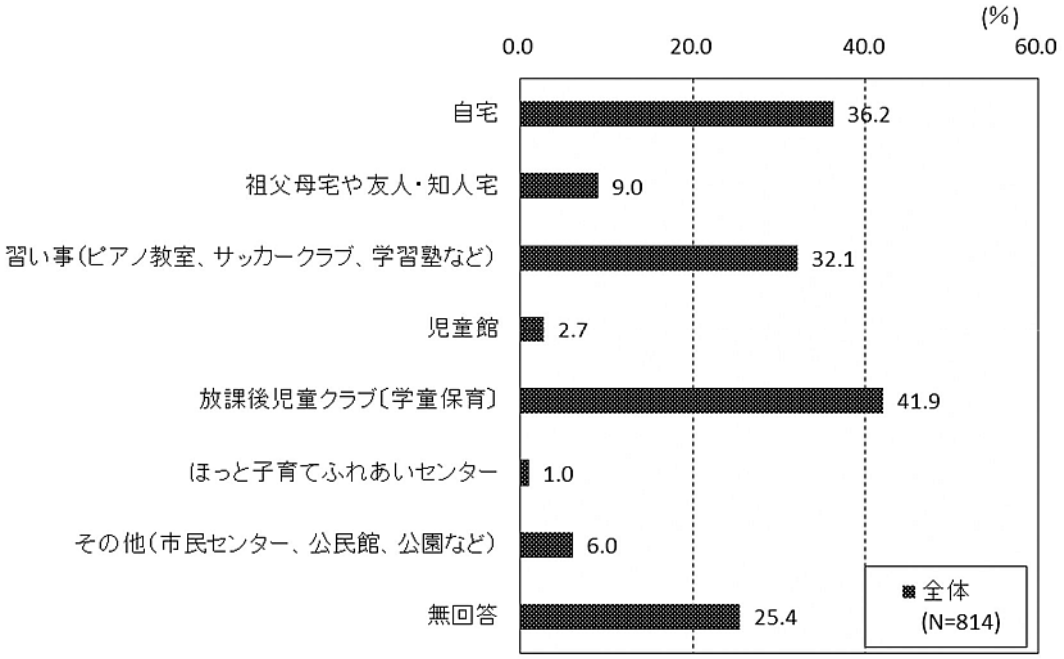


(注 1)「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」は、回答数が０件のため、図表は表記していない。
(注 2)「短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)」、「短期入所生活援助事業以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した」、「その他」は回答数が９件以下のため、図表は表記していない。

9. 小学校就学後の放課後の過ごし方

(５１)　子どもが小学校低学年（１～３年生）の間に放課後の時間を過ごさせたい場所（問 27)【複数回答】

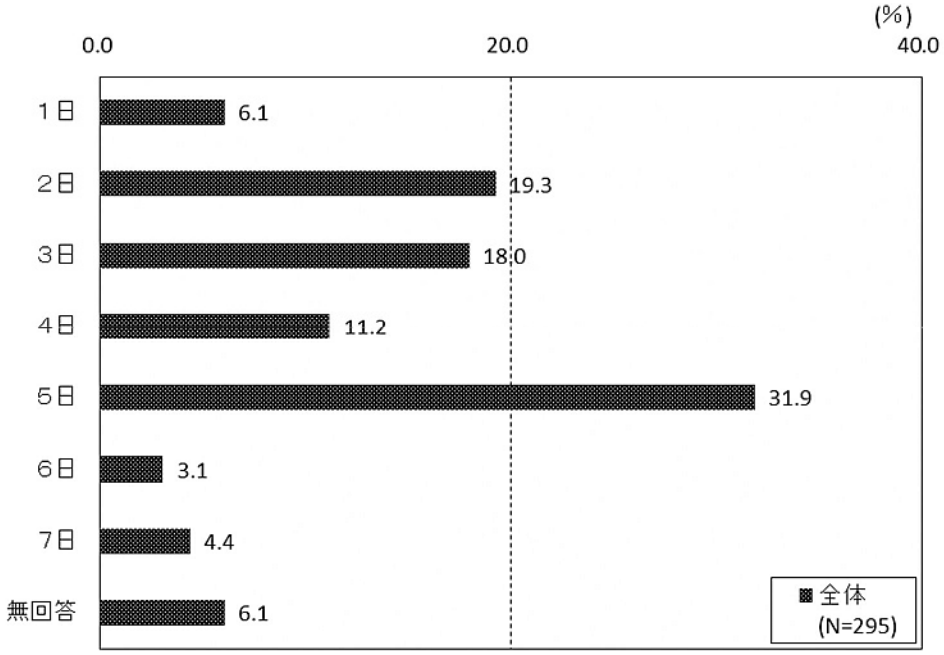
子どもが５歳または６歳の保護者に、子どもが小学校低学年（１～３年生）の間に放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごさせたい場所を尋ねたところ、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」が 41.9%で最も高く、次いで「自宅」36.2%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」32.1%となっている。



※「児童館」にある放課後児童クラブの利用を希望する場合は「放課後児童クラブ〔学童保育〕」に回答。

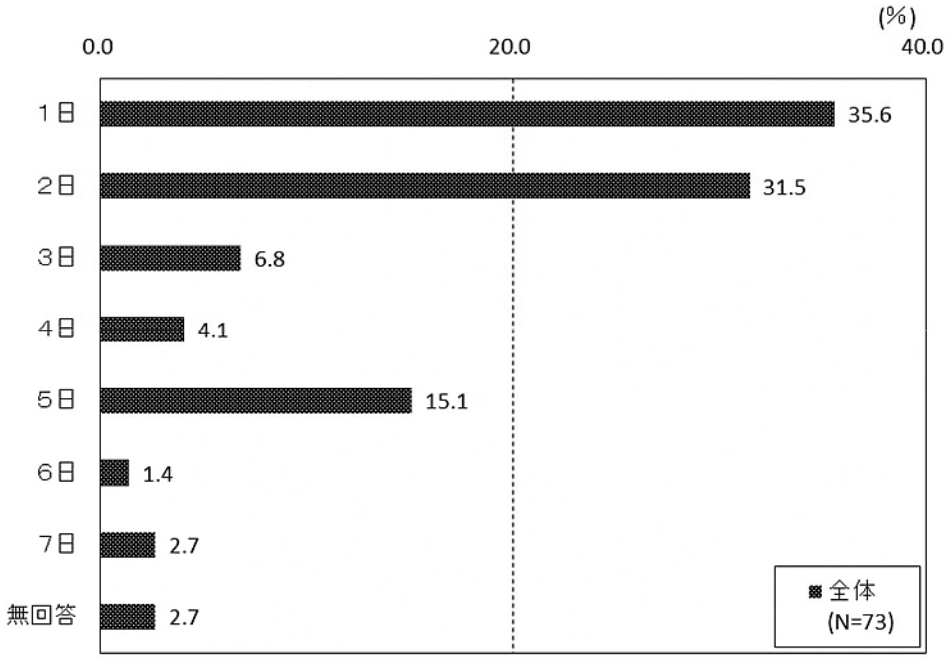
①　自宅

自宅で過ごさせたい日数は、「週５日くらい」が 31.9%で最も高く、次いで「週２日くらい」19.3%、「週３日くらい」18.0%となっている。



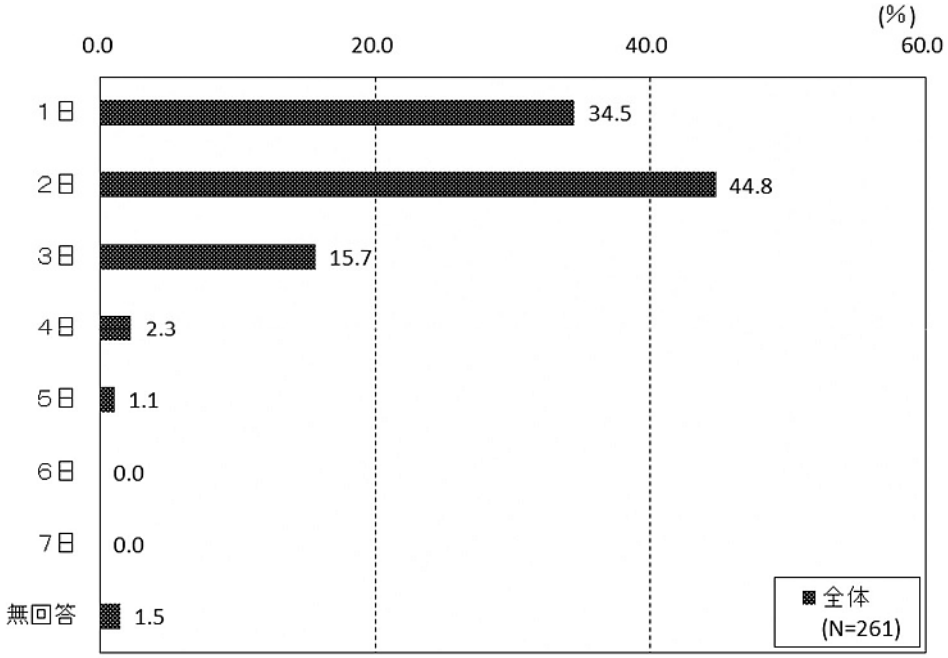
② 祖父母宅や友人・知人宅

祖父母宅や友人・知人宅で過ごさせたい日数は、「週１日くらい」が 35.6%で最も高く、次いで「週２日くらい」31.5%、「週５日くらい」15.1%となっている。



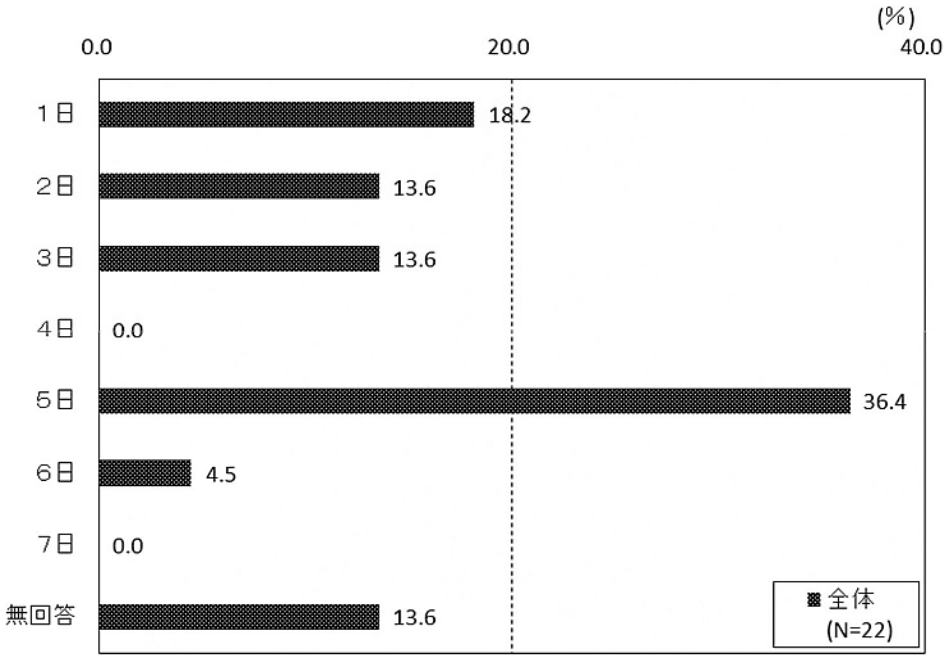
③ 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）

習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）で過ごさせたい日数は、「週２日くらい」が 44.8%で最も高く、次いで「週１日くらい」34.5%、「週３日くらい」15.7%となっている。



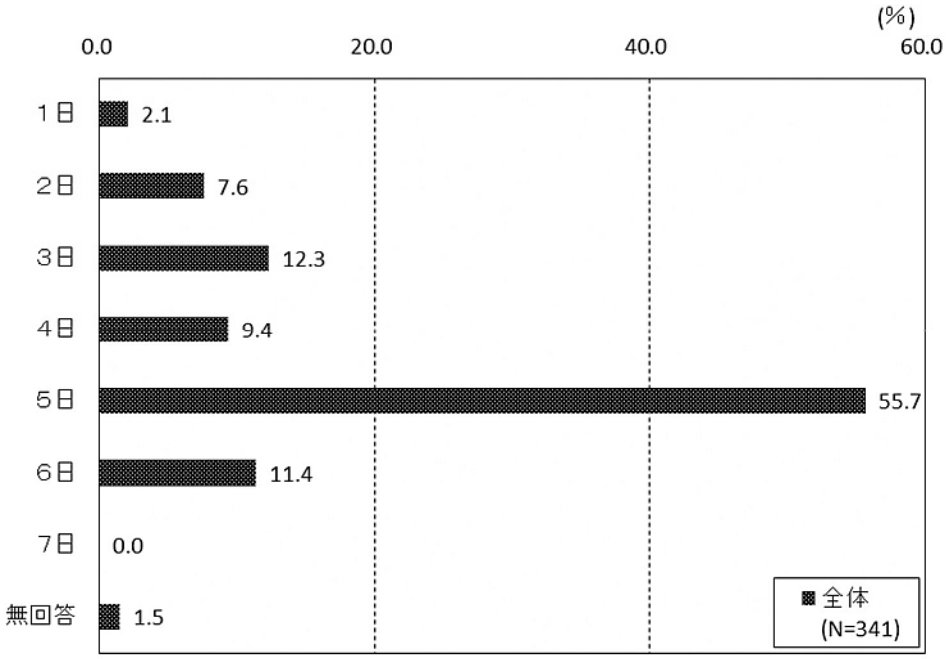
④　児童館（「児童館」の放課後児童クラブの利用を希望する場合を除く）

児童館（「児童館」の放課後児童クラブの利用を希望する場合を除く）で過ごさせたい日数は、「週５日くらい」が 36.4%で最も高く、次いで「週１日くらい」18.2%、「週２日くらい」「週３日くらい」が同率 13.6%となっている。



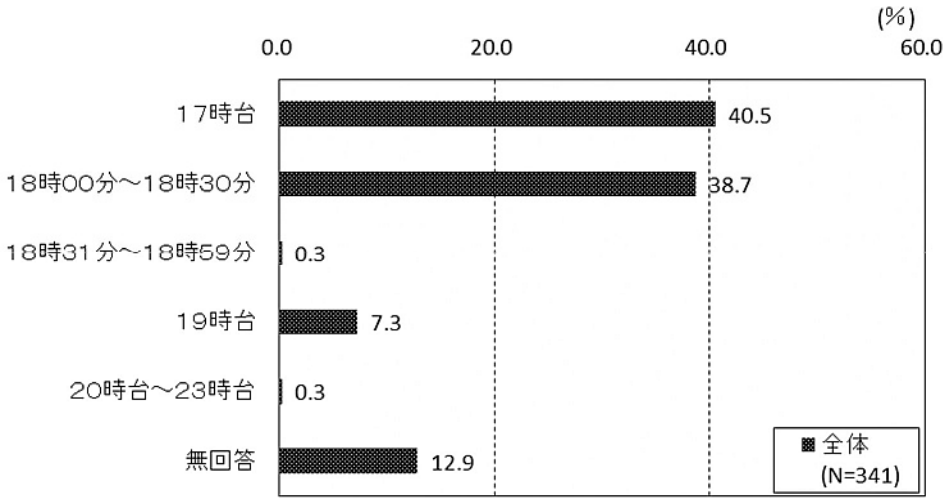
⑤　放課後児童クラブ〔学童保育〕（「児童館」にある放課後児童クラブの利用を希望する場合を含む）

放課後児童クラブ〔学童保育〕（「児童館」にある放課後児童クラブの利用を希望する場合を含む）で過ごさせたい日数は、「週５日くらい」が 55.7%で最も高く、次いで「週３日くらい」12.3%、「週６日くらい」11.4%となっている。



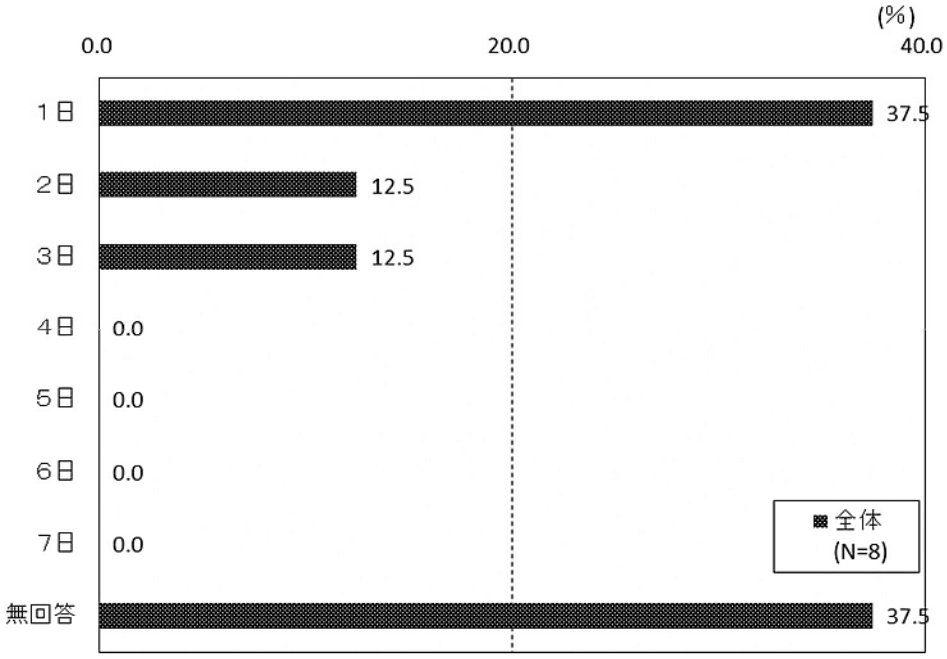
【希望利用時間】

放課後児童クラブ〔学童保育〕(「児童館」にある放課後児童クラブの利用を希望する場合を含む）で過ごさせたいと回答した人が希望する利用時間帯は、下校時から「１７時台」が 40.5%で最も高く、次いで「１８時００分～１８時３０分」38.7%、「１９時台」7.3%となっている。



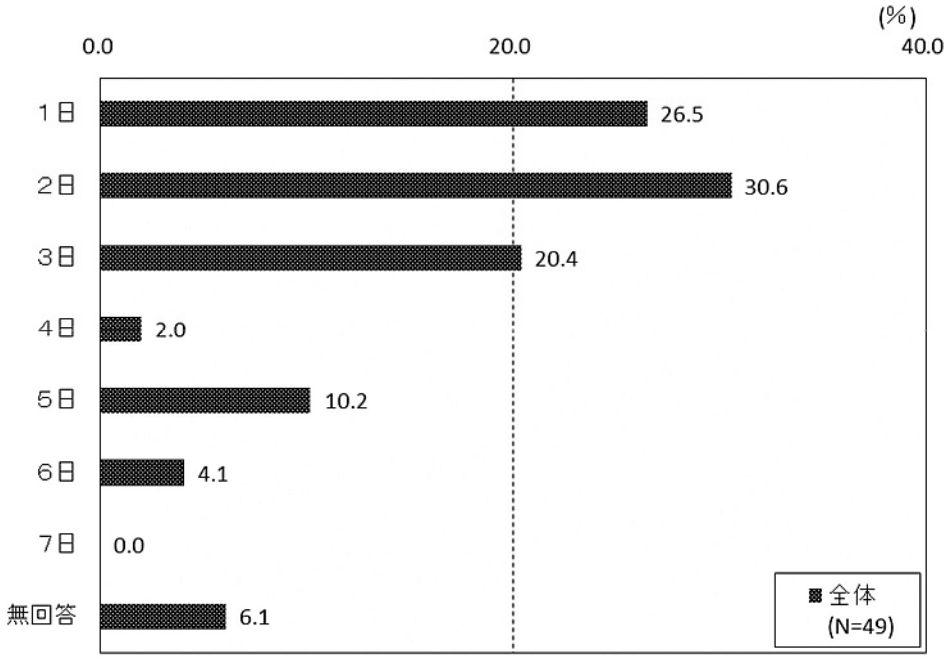
⑥　ほっと子育てふれあいセンター

ほっと子育てふれあいセンターで過ごさせたい日数は、「週１日くらい」が 37.5%で最も高く、「週２日くらい」「週３日くらい」が同率 12.5%となっている。



⑦　その他（市民センター、公民館、公園など）

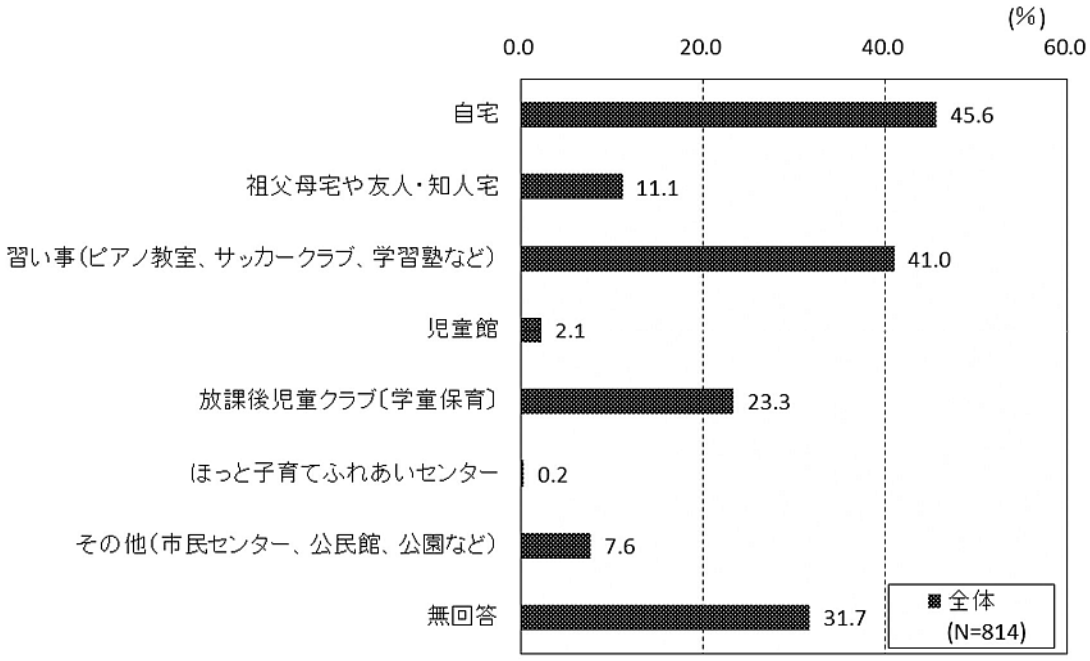
その他（市民センター、公民館、公園など）で過ごさせたい日数は、「週２日くらい」が 30.6%で最も高く、次いで「週１日くらい」26.5%、「週３日くらい」20.4%となっている。



(５２)　子どもが小学校高学年（４～６年生）になった時に、放課後の時間を過ごさせたい場所（問 28）

【複数回答】

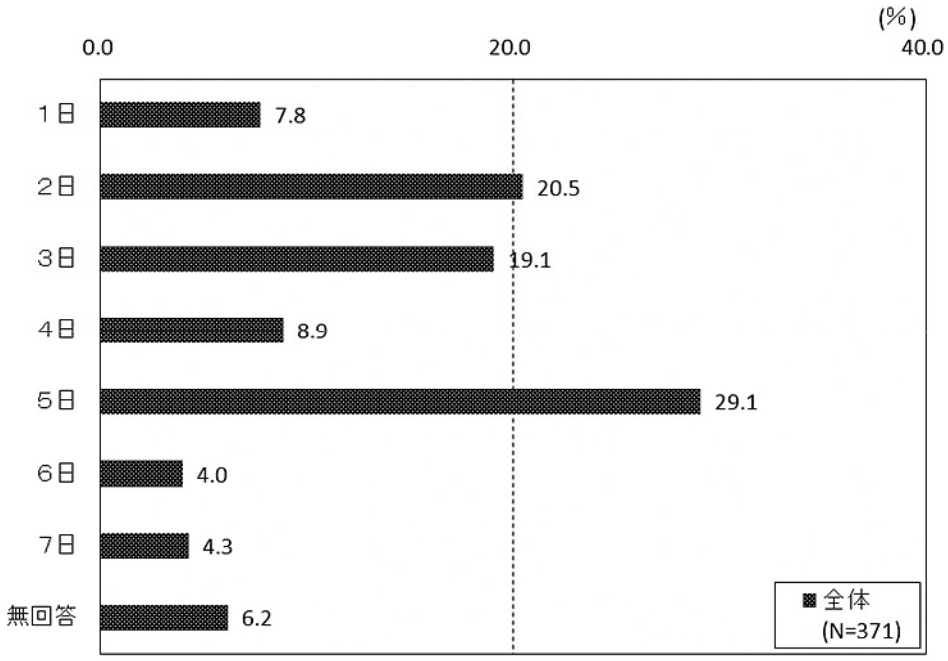
子どもが５歳または６歳の保護者に、子どもが小学校高学年（４～６年生）になった時に、放課後の時間を過ごさせたい場所を尋ねたところ、「自宅」が 45.6%で最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」41.0%、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」23.3%となっている。



※「児童館」にある放課後児童クラブの利用を希望する場合は「放課後児童クラブ〔学童保育〕」に回答。

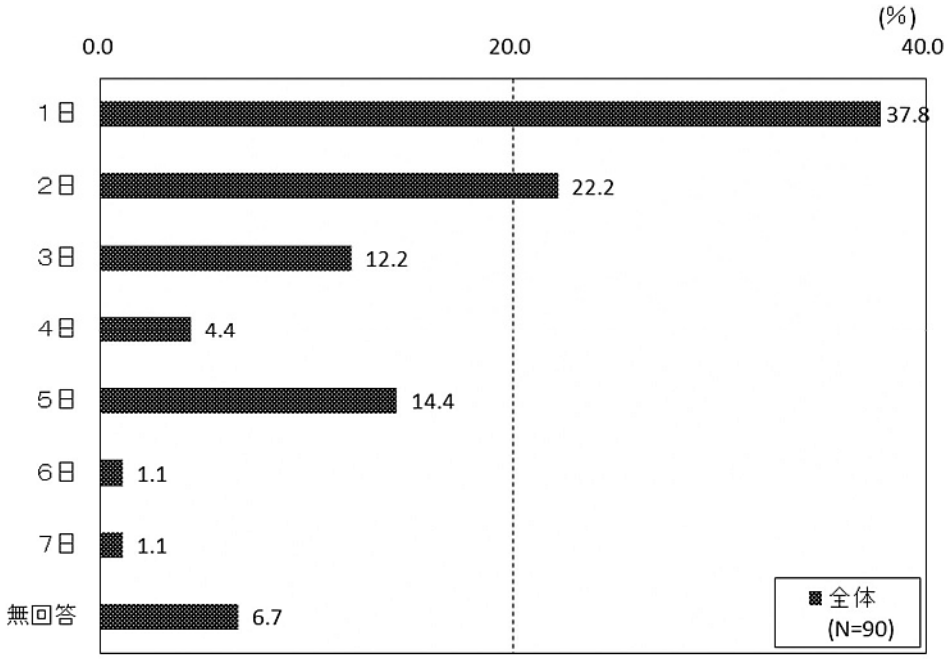
①　自宅

自宅で過ごさせたい日数は、「週５日くらい」が 29.1%で最も高く、次いで「週２日くらい」20.5%、「週３日くらい」19.1%となっている。



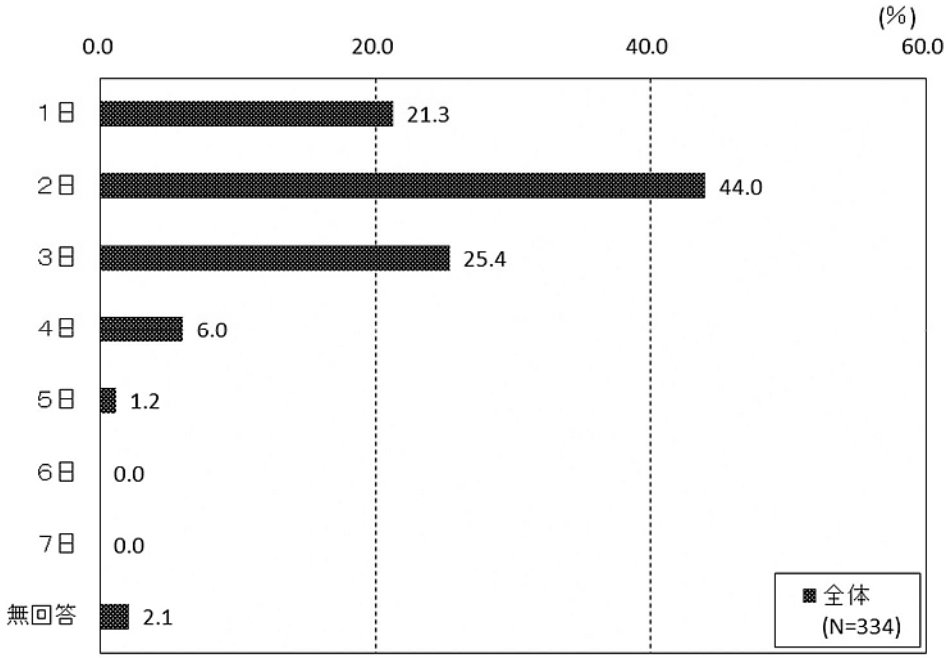
② 祖父母宅や友人・知人宅

祖父母宅や友人・知人宅で過ごさせたい日数は、「週１日くらい」が 37.8%で最も高く、次いで「週２日くらい」22.2%、「週５日くらい」14.4%となっている。



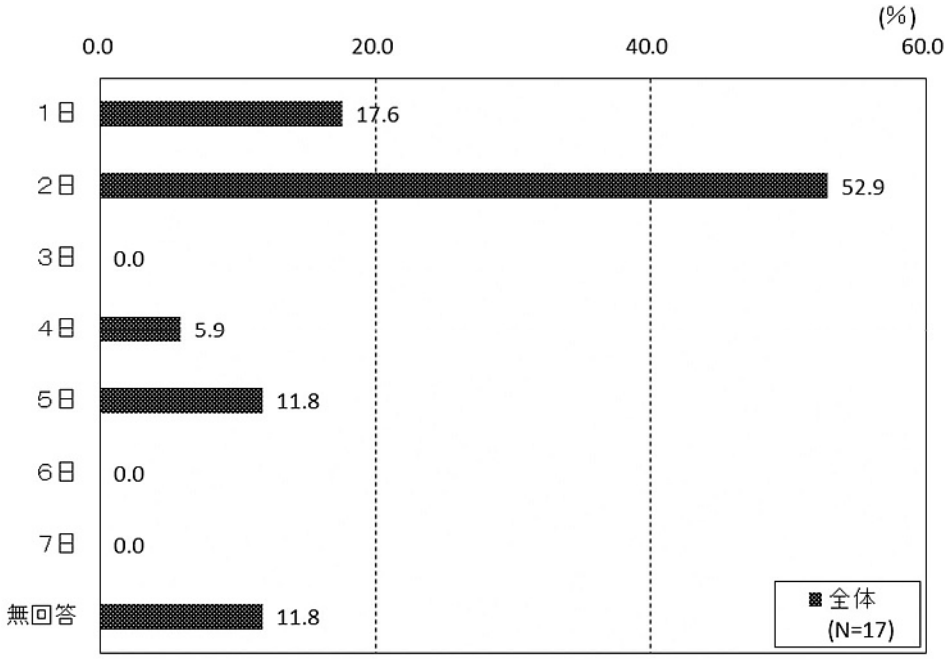
③ 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）

習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）で過ごさせたい日数は、「週２日くらい」が 44.0%で最も高く、次いで「週３日くらい」25.4%、「週１日くらい」21.3%となっている。



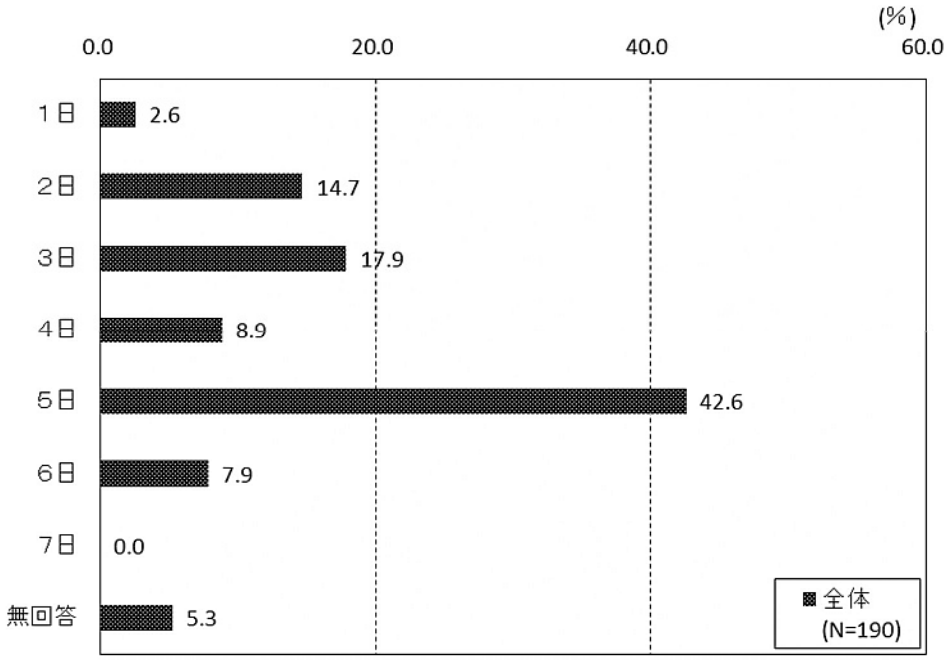
④　児童館（「児童館」にある放課後児童クラブの利用を希望する場合を除く）

児童館（「児童館」にある放課後児童クラブの利用を希望する場合を除く）で過ごさせたい日数は、「週２日くらい」が 52.9%で最も高く、次いで「週１日くらい」17.6%、「週５日くらい」11.8%となっている。



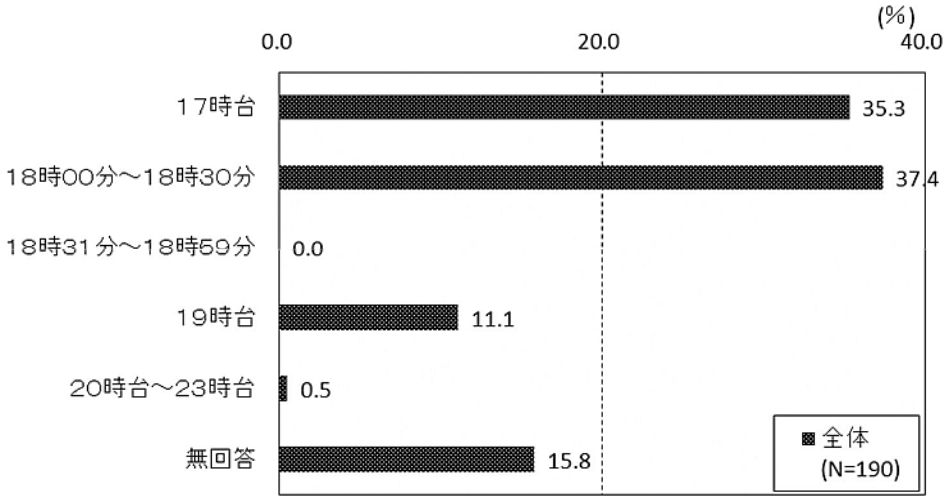
⑤　放課後児童クラブ〔学童保育〕（「児童館」にある放課後児童クラブの利用を希望する場合を含む）

放課後児童クラブ〔学童保育〕（「児童館」にある放課後児童クラブの利用を希望する場合を含む）で過ごさせたい日数は、「週５日くらい」が 42.6%で最も高く、次いで「週３日くらい」17.9%、「週２日くらい」14.7%となっている。



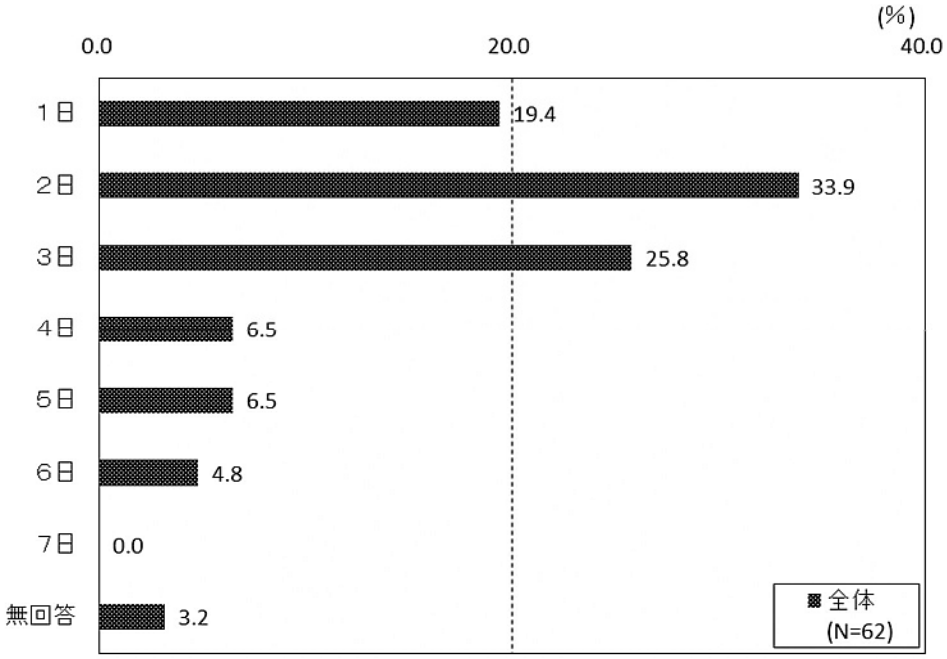
【希望利用時間】

放課後児童クラブ〔学童保育〕(「児童館」にある放課後児童クラブの利用を希望する場合を含む）で過ごさせたいと回答した人が希望する利用時間帯は、下校時から「１８時００分～１８時３０分」が37.4%で最も高く、次いで「１７時台」が 35.3%、「１９時台」11.1%となっている。



⑥　その他（市民センター、公民館、公園など）

その他（市民センター、公民館、公園など）で過ごさせたい日数は、「週２日くらい」が 33.9%で最も高く、次いで「週３日くらい」25.8%、「週１日くらい」19.4%となっている。

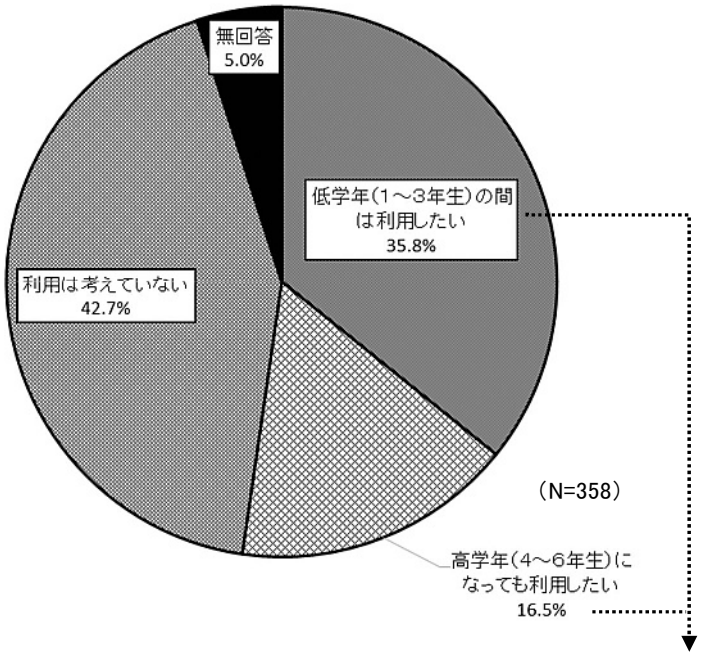


（注）「ほっと子育てふれあいセンター」は回答数が９件以下のため、図表は表記していない。

(５３)　土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブ〔学童保育〕の利用希望（問 29）

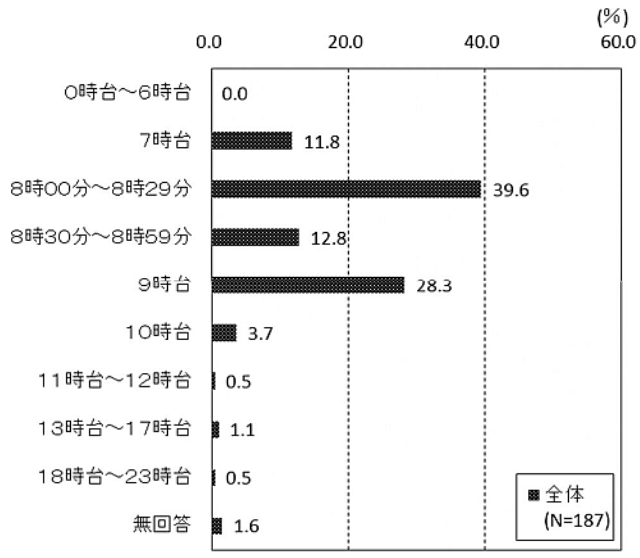
①　土曜日

「(51) 子どもが小学校低学年（１～３年生）の間に放課後の時間を過ごさせたい場所」または「(52) 子どもが小学校高学年（４～６年生）になった時に、放課後の時間を過ごさせたい場所」で「放課後児童クラブ〔学童保育〕」(「児童館」にある放課後児童クラブの利用を希望する場合を含む）と回答した人に、土曜日の利用希望を尋ねたところ、「利用は考えていない」が 42.7%で最も高く、次いで「低学年（１～３年生）の間は利用したい」35.8%、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」16.5%となっている。

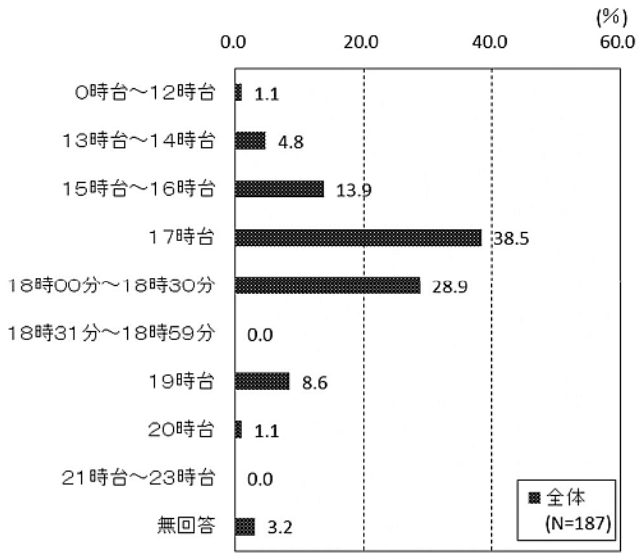


希望する利用開始時刻では、「８時００分～８時２９分」が 39.6%で最も高く、次いで「９時台」28.3%となっている。希望する利用終了時刻では、「１７時台」が 38.5%で最も高く、次いで「１８時００～１８時３０分」28.9%となっている。

【希望する利用開始時刻】

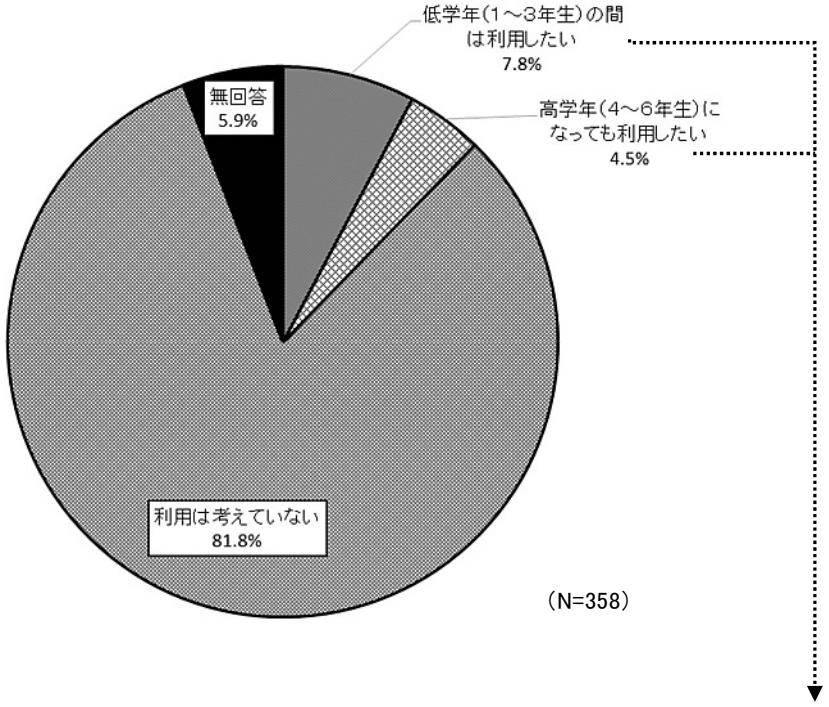


【希望する利用終了時刻】



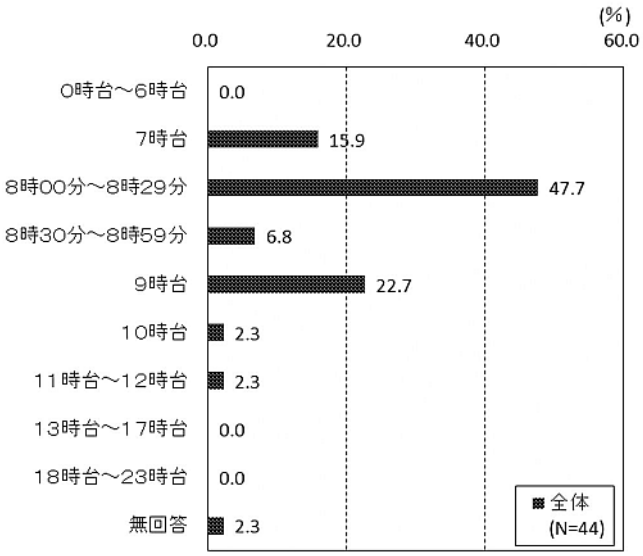
② 日曜日・祝日

「(51) 子どもが小学校低学年（１～３年生）の間に放課後の時間を過ごさせたい場所」または「(52) 子どもが小学校高学年（４～６年生）になった時に、放課後の時間を過ごさせたい場所」で「放課後児童クラブ〔学童保育〕」(「児童館」にある放課後児童クラブの利用を希望する場合を含む）と回答した人に、日曜日・祝日の利用希望を尋ねたところ、「利用は考えていない」が 81.8%で、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」7.8%、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」4.5%となっている。

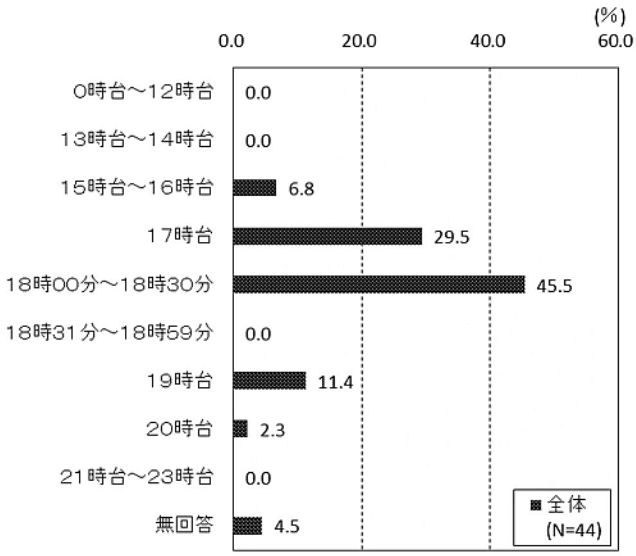


希望する利用開始時刻では、「８時００分～８時２９分」が 47.7%で最も高く、次いで「９時台」22.7%となっている。希望する利用終了時刻では、「１８時００～１８時３０分」が 45.5%で最も高く、次いで「１７時台」29.5%となっている。

【希望する利用開始時刻】

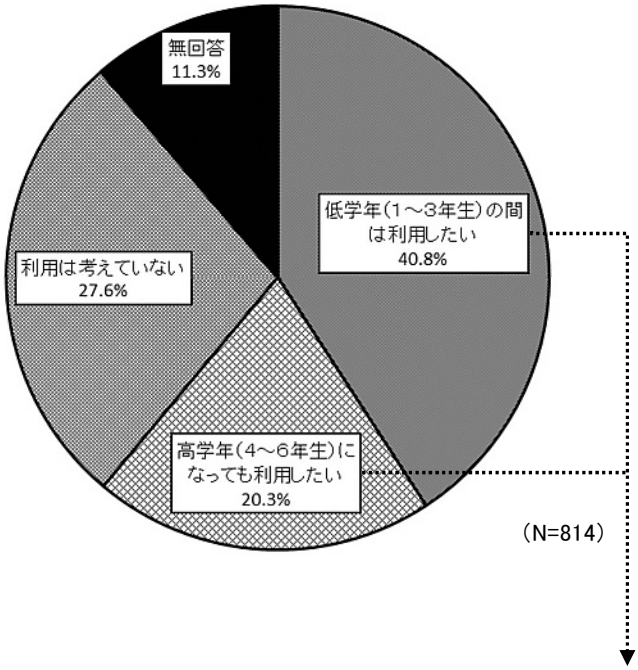


【希望する利用終了時刻】



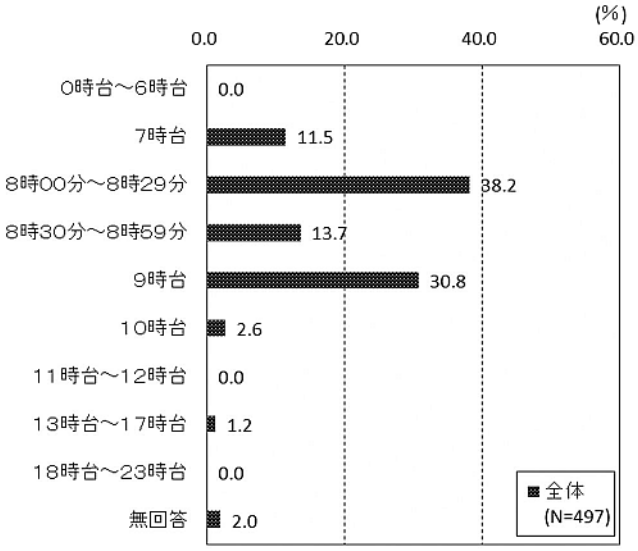
(５４)　長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望（問 30）

子どもが５歳または６歳の保護者に、夏休み・冬休みなど長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望を尋ねたところ、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 40.8%で最も高く、次いで「利用は考えていない」27.6%、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」20.3%となっている。

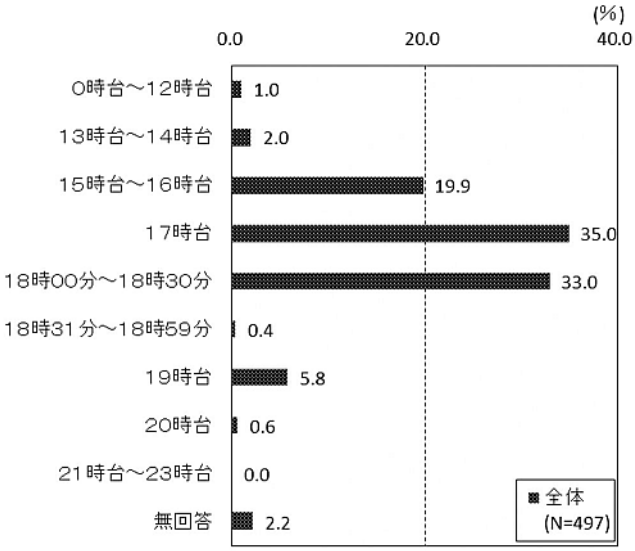


希望する利用開始時刻では、「８時００分～８時２９分」が 38.2%で最も高く、次いで「９時台」30.8%となっている。希望する利用終了時刻では、「１７時台」が 35.0%で最も高く、次いで「１８時００～１８時３０分」33.0%、「１５時台～１６時台」19.9%となっている。

【希望する利用開始時刻】



【希望する利用終了時刻】

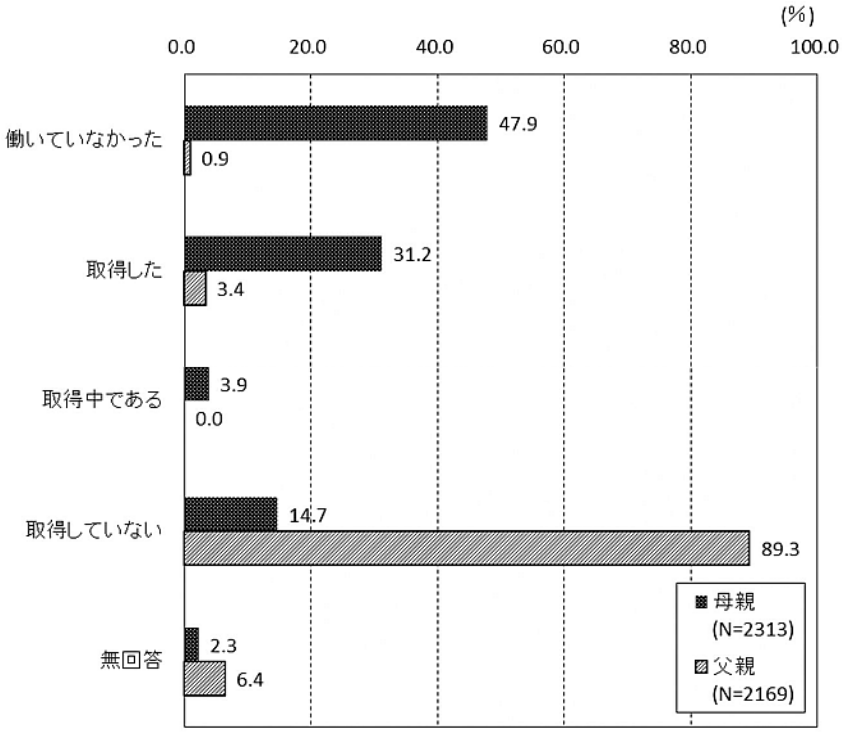


10. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度

(５５)　育児休業の取得状況（問 31）

母親の育児休業の取得状況は、「働いていなかった」が 47.9%で最も多く、次いで「(育児休業を）取得した」31.2%、「(育児休業を）取得していない」14.7%となっている。

これに対して、父親は、「(育児休業を）取得していない」が 89.3%と高い割合を占め、「(育児休業を）取得した」は 3.4%、「働いていなかった」は 0.9%にとどまった。

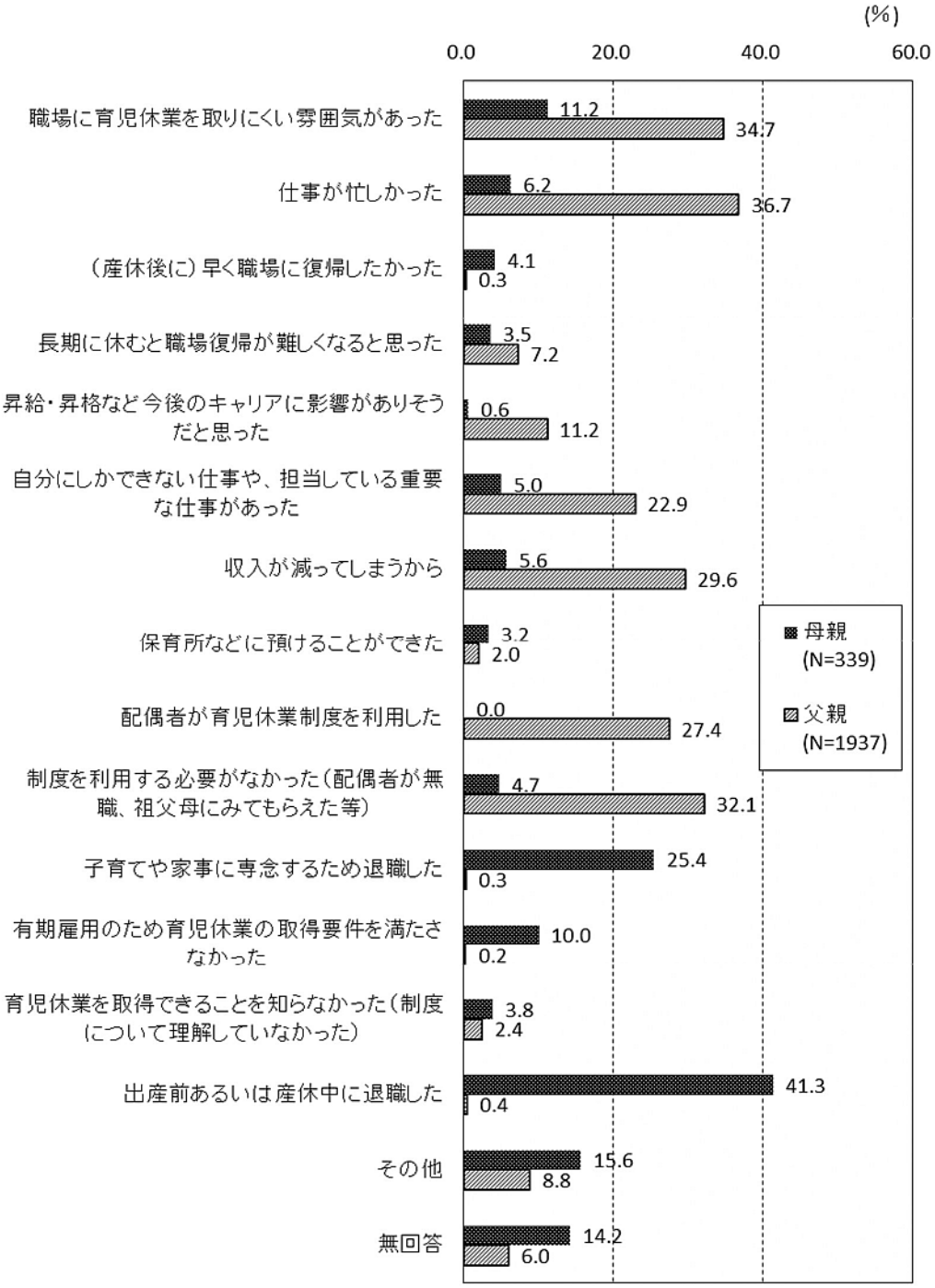


(５６)　育児休業を取得していない理由（問 31）【複数回答】

育児休業を取得していない理由は、母親は「出産前あるいは産休中に退職した」が 41.3%で最も高く、次いで「子育てや家事に専念するため退職した」25.4%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」11.2%、「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」10.0%などとなっている。

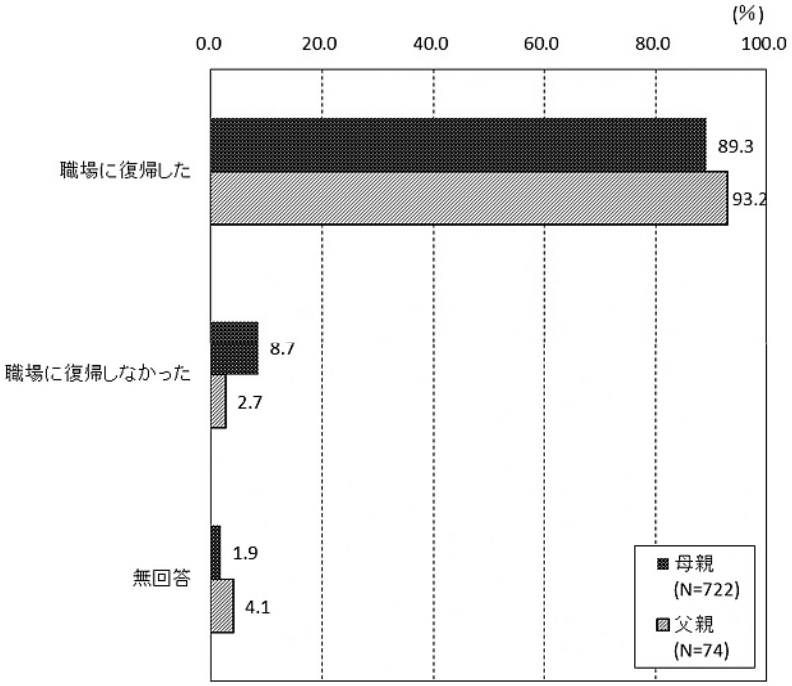
父親は、「仕事が忙しかった」が 36.7%で最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」34.7%、「制度を利用する必要がなかった（配偶者が無職、祖父母にみてもらえた等）」32.1%、「収入が減ってしまうから」29.6%、「配偶者が育児休業制度を利用した」27.4%となっている。

父親の 27.4%が「配偶者が育児休業制度を利用した」のに対し、母親では 0%となっていることから、育児休業制度の利用が母親に偏っている状況がうかがえる。



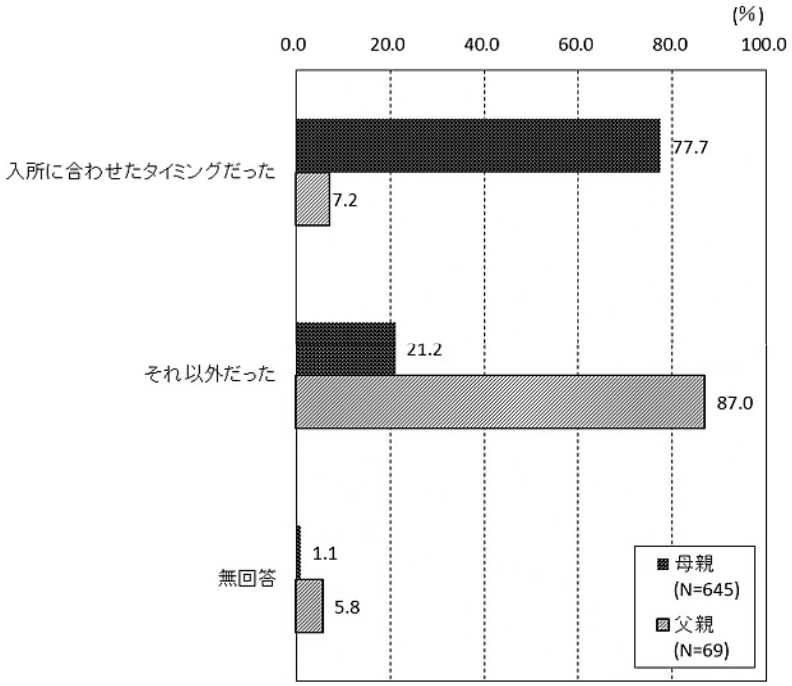
(５７)　育児休業後の職場への復帰状況（問 31-1（1)、問 31-1（2))

(55)で「(育児休業を）取得した」と回答した人の職場への復帰状況では、「(育児休業取得後）職場に復帰した」が母親で 89.3%、父親で 93.2%となっており、大多数の人が職場への復帰を果たしている。



(５８)　育児休業後に職場への復帰したタイミング（問 31-2(1)、問 31-2(2))

(57)で「(育児休業取得後）職場に復帰した」と回答した人に、職場への復帰タイミングを尋ねたところ、母親は「(保育所）入所に合わせたタイミングだった」が 77.7%、父親は「それ以外だった」が 87.0%となっている。

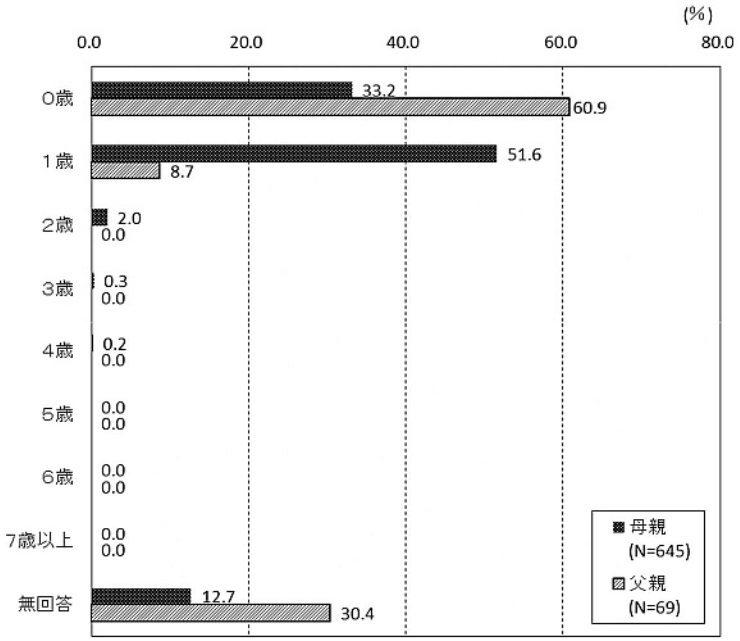


(５９)　育児休業後に職場復帰した時期（子どもの年齢）（問 31-3(1)、問 31-3(2)）

①　実際の職場復帰時期（子どもの年齢）

実際に職場復帰した時期（子どもの年齢）は、母親は「１歳」が 51.6%で最も高く、次いで「０歳」33.2%、「２歳」2.0%となっている。

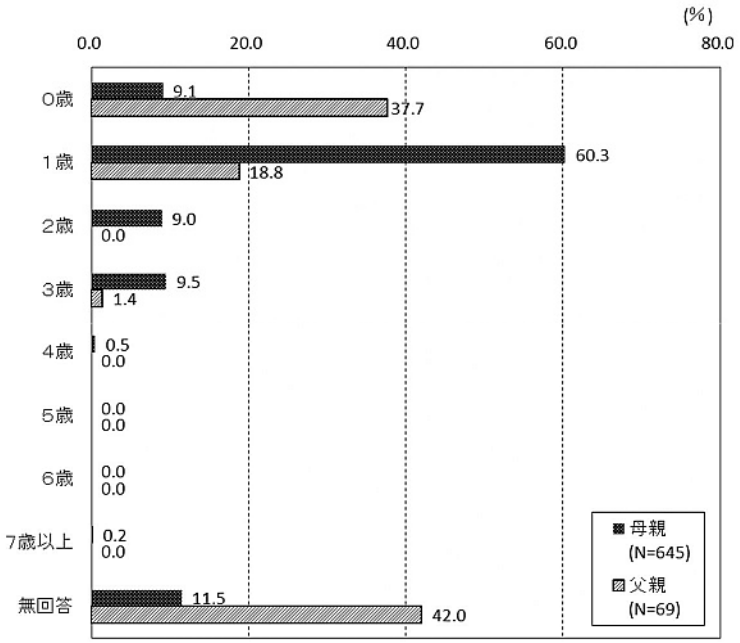
父親は「０歳」が 60.9%で最も高く、次いで「１歳」8.7%となっている。



②　職場復帰したかった時期（子どもの年齢）

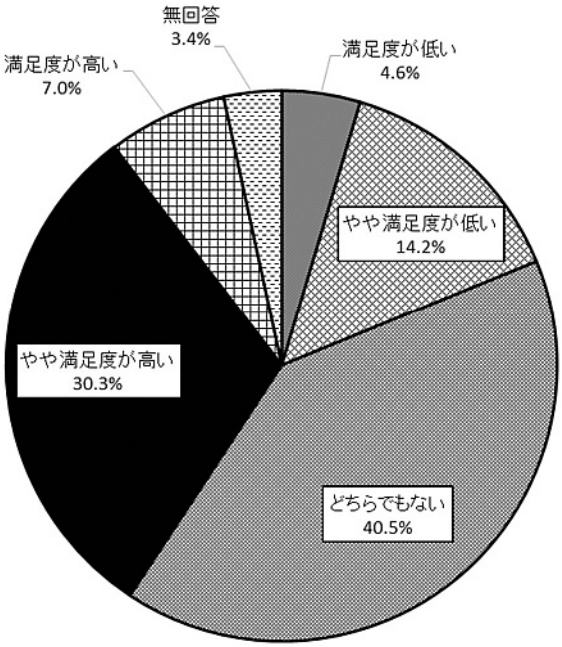
職場復帰したかった時期（子どもの年齢）は、母親は「１歳」が 60.3%で最も高く、次いで「３歳」9.5%、「０歳」9.1%、「２歳」9.0%となっている。

父親は「０歳」が 37.7%で最も高く、次いで「１歳」18.8%となっている。



(６０)　北九州市の子育ての環境や支援への満足度（問 32）

北九州市の子育ての環境や支援についての満足度を、１を「満足度が低い」、２を「やや満足度が低い」、３を「どちらでもない」、４を「やや満足度が高い」、５を「満足度が高い」として、５段階評価してもらったところ、『どちらでもない』が 40.5%で最も高く、『満足度が高い』(「満足度が高い」＋「やや満足度が高い」) が 37.3%、『満足度は低い』(「満足度が低い」＋「やや満足度が低い」) が 18.8%となっている。



（N=2,314）